

# 平成26年度 戸塚区区民意識調査

## 調査結果報告書

－ 詳細版 －

平成26年12月

横浜市 戸塚区役所



## 平成26年度 戸塚区区民意識調査

### 目 次

調査概要.....	3
I. 回答者の属性.....	4
II. 調査結果.....	10
1. 自助・共助による減災行動について.....	10
2. 広報について.....	14
3. まちづくりについて.....	15
4. 区内の商店街について.....	19
5. 健康について.....	24
6. とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）について.....	29
7. 認知症について.....	34
8. 児童虐待について.....	38
9. 地域活動について.....	44
10. 生活環境全般に対する重要度・満足度について.....	52
11. 戸塚区政について（自由記入）.....	73
調査票.....	75



## 平成26年度 戸塚区区民意識調査

### 調査概要

- ◆調査対象：住民基本台帳を基に 16 歳以上の男女無作為抽出 3,000 人
- ◆調査方法：郵送によるアンケート形式
- ◆調査期間：平成 26 年 6 月～7 月
- ◆回収数 : 1,607 通 (53.6%)

### ◆集計結果の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットNは、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

### ※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている（N=1,607）。

### ※クロス集計表の見方

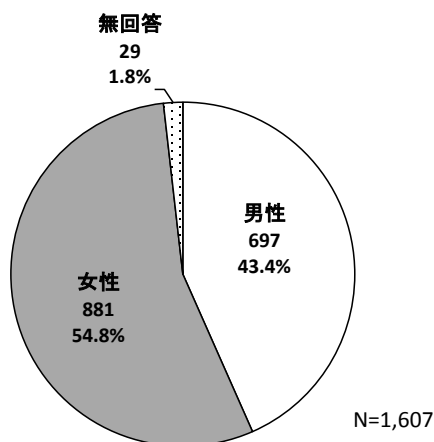
濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、白抜き文字にしている。

薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、区全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

## I. 回答者の属性

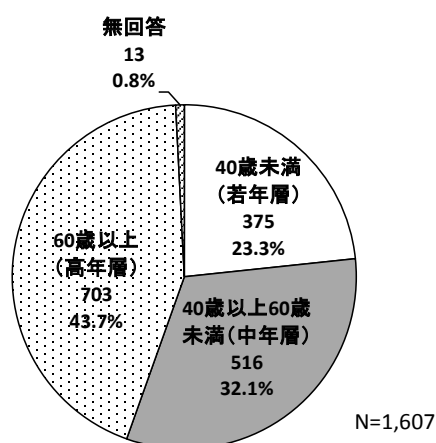
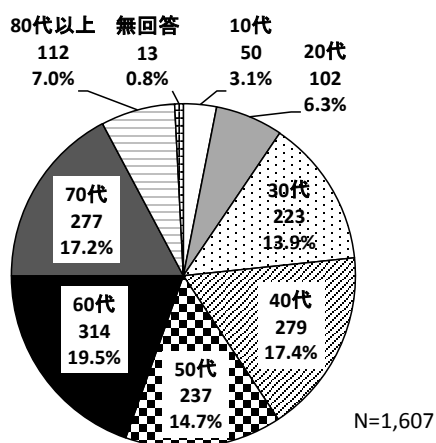
### 性別（問 27）

- ・女性 54.8%、男性 43.4%で、女性が 11.4 ポイント多い。



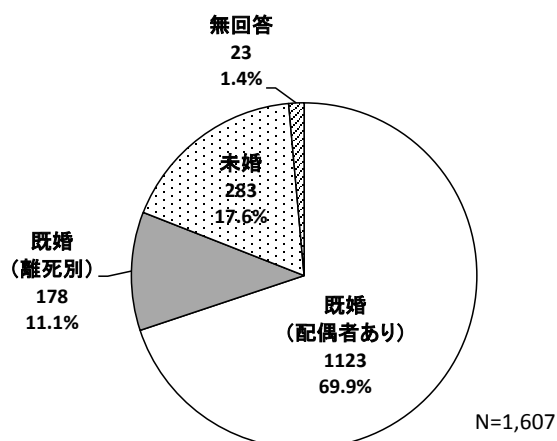
### 年齢（問 28）

- ・最も多いのは 60 代の 19.5%、少ないのは 10 代の 3.1%である。20 代(6.3%)と 80 代以上(7.0%)は 1 割未満だが、30 代～50 代はほぼ均等に分散している。
- ・年齢層別にみると、60 歳以上の高年層が 43.7%で最も多く、次いで 40 歳以上 60 歳未満の中年層（32.1%）、40 歳未満の若年層（23.3%）の順となっている。



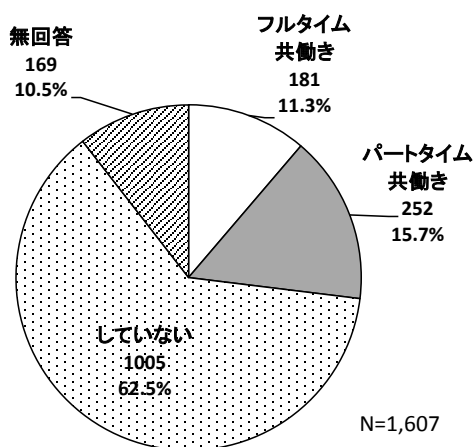
### 配偶者の有無（問 29）

- ・「既婚（配偶者あり）」が最も多く 69.9%で、全体の 7 割を占める。次いで「未婚」（17.6%）、「既婚（離死別）」（11.1%）と続く。



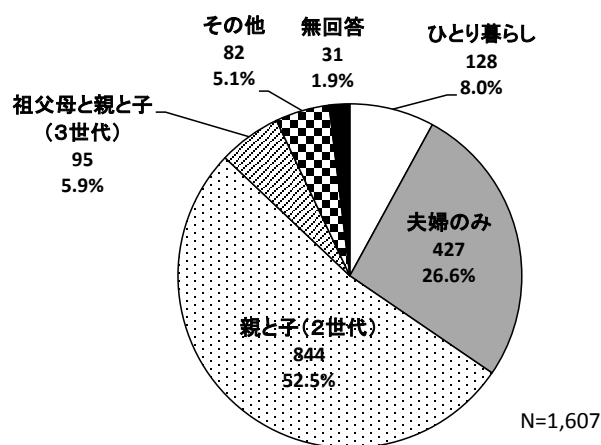
### 共働きの有無（問 30）

- ・有配偶者の共働きは「していない」が 62.5%で過半数を占める。次いで「パートタイム共働き」は 15.7%、「フルタイム共働き」は 11.3%となっており、共働きをしているのは有配偶者世帯の 3 割弱である。



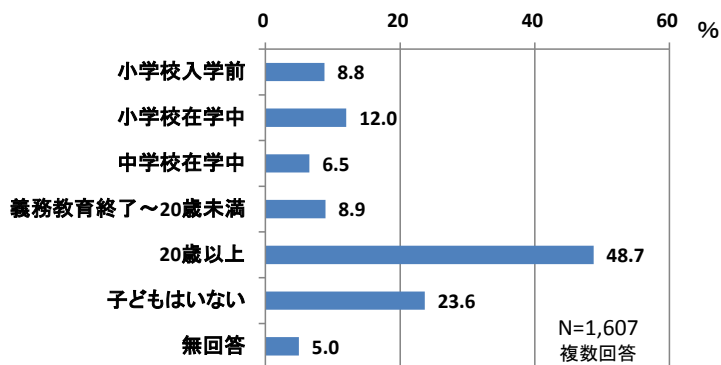
### 家族構成（問 31）

- ・最も多いのは「親と子（2世代）」の 52.5%で、全体の半数強を占める。次いで「夫婦のみ」が 26.6%で、全体の 4 分の 1 強である。以下「ひとり暮らし」（8.0%）、「祖父母と親と子（3世代）」（5.9%）、「その他」（5.1%）と続く。



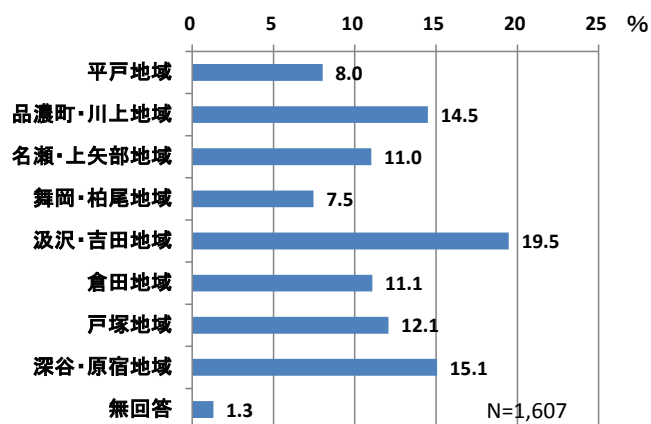
### 子どもの有無と段階（問 32）

- ・「20 歳以上」が 48.7%で最も多く、次いで「子どもはいない」が 23.6%となっている。



### 居住地域（問 33）

- ・最も多いのは「汲沢・吉田地域」の19.5%、次いで「深谷・原宿地域」（15.1%）、「品濃町・川上地域」（14.5%）、「戸塚地域」（12.1%）、「倉田地域」（11.1%）、「名瀬・上矢部地域」（11.0%）、「平戸地域」の8.0%と続く。最も少ないのは「舞岡・柏尾地域」（7.5%）であった。



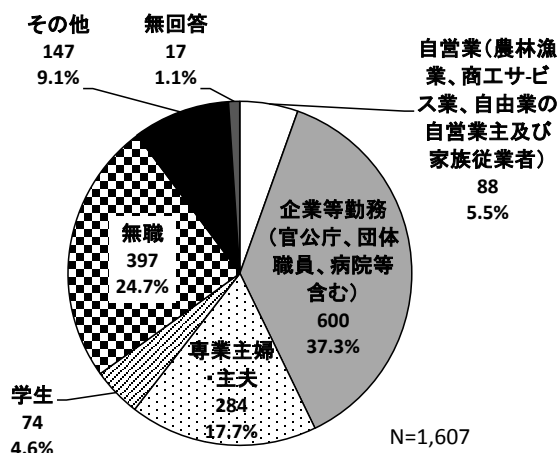
### ※ 地域区分について

地域名	該当町丁目
平戸地域	平戸町、平戸一～五丁目
品濃町・川上地域	品濃町、上品濃、川上町、前田町、秋葉町
名瀬・上矢部地域	名瀬町、上矢部町
舞岡・柏尾地域	舞岡町、南舞岡一～四丁目、柏尾町、上柏尾町
汲沢・吉田地域	汲沢町、汲沢一～八丁目、矢部町、鳥が丘、吉田町
倉田地域	上倉田町、下倉田町
戸塚地域	戸塚町
深谷・原宿地域	深谷町、俣野町、原宿一～五丁目、小雀町、東俣野町、影取町



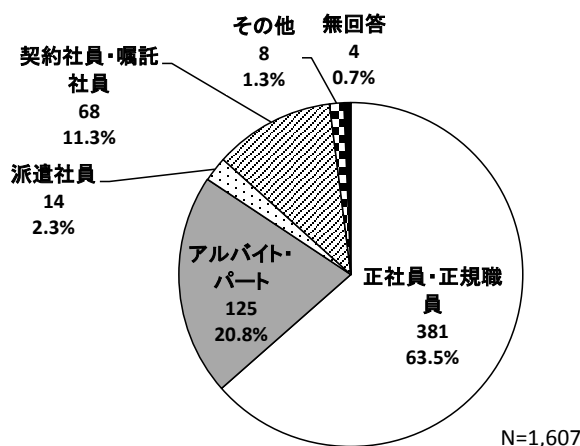
### 職業（問 34）

- ・最も多いのは「企業等勤務（官公庁、団体職員、病院等含む）」の 37.3% で全体の 4 割弱である。次いで「無職」（24.7%）が全体の約 4 分の 1 である。以下「専業主婦・主夫」（17.7%）、「その他」（9.1%）、「自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主及び家族従業者）」（5.5%）、「学生」（4.6%）、の順である。



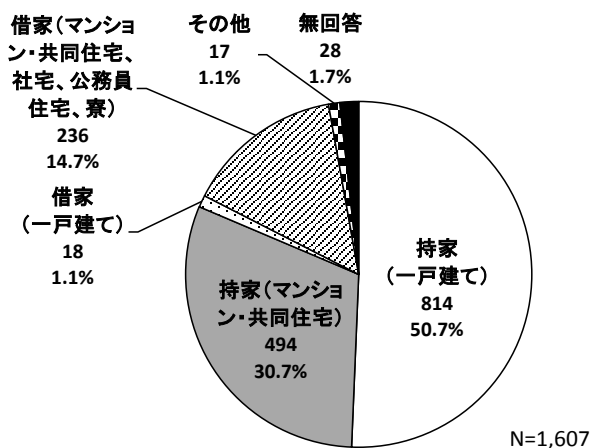
### 雇用形態（問 35）

- ・「正社員・正規職員」が 63.5% で最も多く、6 割以上を占める。次いで「アルバイト・パート」が 20.8% で、約 2 割である。以下「契約社員・嘱託社員」（11.3%）、「派遣社員」（2.3%）、「その他」（1.3%）の順である。



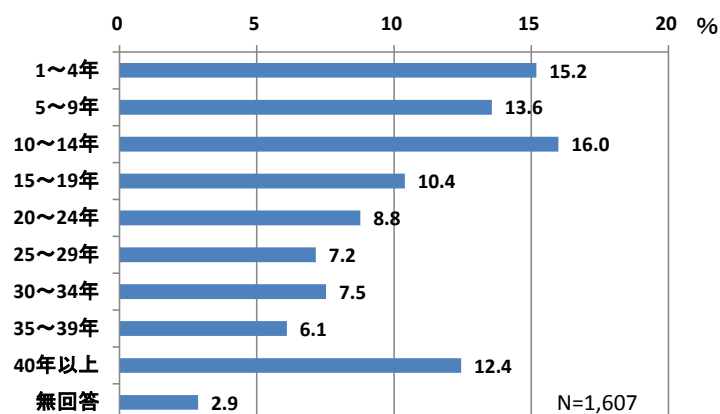
### 居住形態（問 36）

- ・「持家（一戸建て）」が最も多く 50.7% で、全体の半数を占める。次いで「持家（マンション・共同住宅）」が 30.7% で、これらを合わせると 81.4% と、持ち家率は 8 割を超えている。以下「借家（マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」（14.7%）、「借家（一戸建て）」（1.1%）、「その他」（1.1%）となっている。



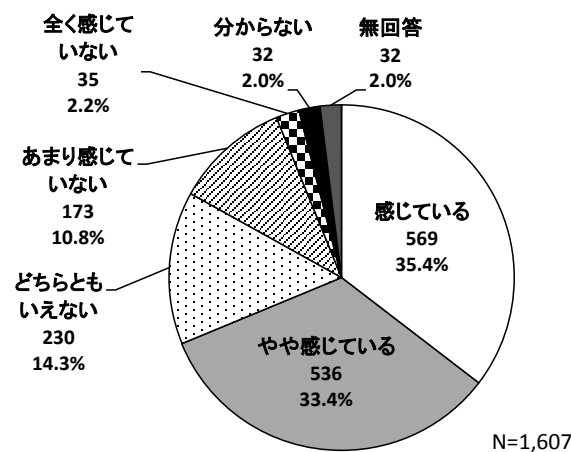
## 居住年数（問 37）

- ・「10～14 年」が最も多く 16.0%、次いで「1～4 年」（15.2%）、「5～9 年」（13.6%）と、居住年数 15 年未満が全体の半数弱を占め、居住年数は浅い傾向にあるが、「40 年以上」も 12.4%と 1 割強存在している

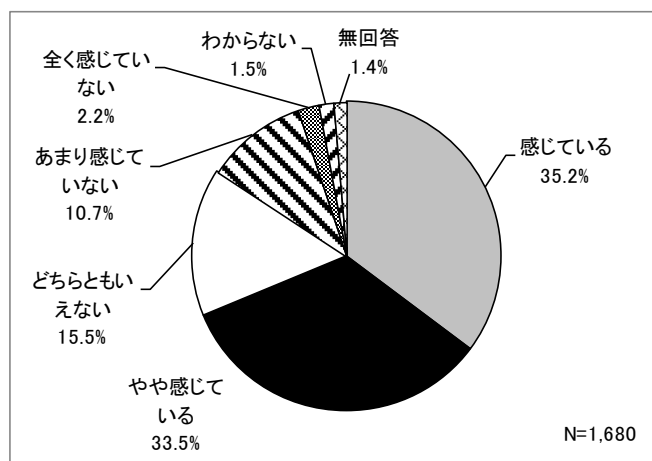


## 戸塚への愛着度（問 38）

- ・「感じている」が 35.4%、「やや感じている」が 33.4%で、これらを合わせると 68.8%と、7 割近くが愛着を感じるとしている。次いで「どちらともいえない」（14.3%）、「あまり感じていない」（10.8%）、「全く感じていない」（2.2%）、「分からない」（2.0%）と続く。「あまり感じていない」「全く感じていない」を合わせると 13.0%で、戸塚区に愛着を感じていないのは 1 割強となっている
- ・平成 23 年度調査と比較しても、「感じている」35.2%、「やや感じている」が 33.5%と傾向に変化は見られない。

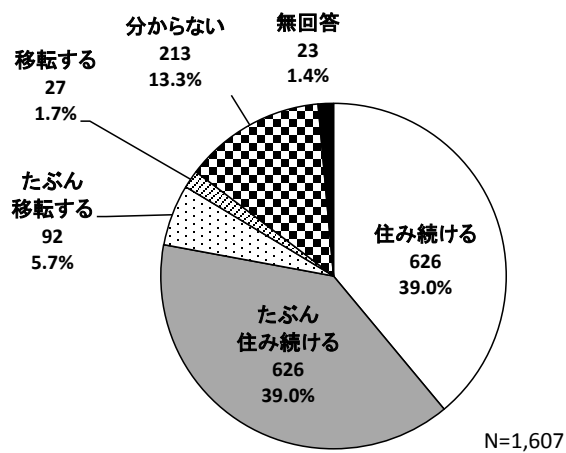


## 参考）平成 23 年度調査結果

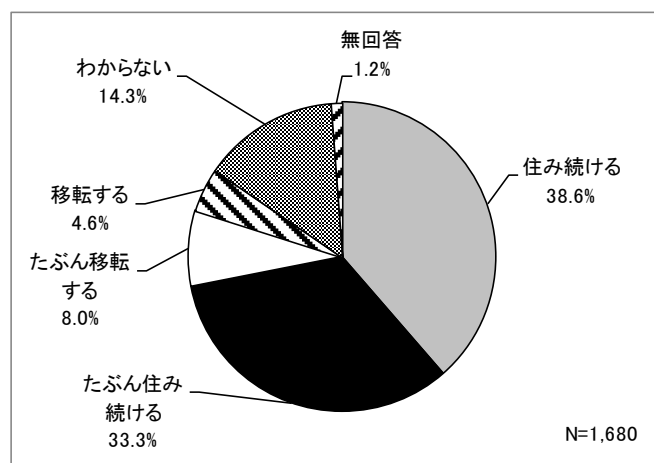


## 居留意向（問 39）

- ・「住み続ける」「たぶん住み続ける」が 39.0%で並んでおり、これらを合わせると 8 割近くの人  
が今後も戸塚区に住み続けるとしている。一方「たぶん移転する」は 5.7%、「移転する」は 1.7%  
で、移転希望のある人は 1 割弱である。
- ・平成 23 年度調査と比較すると、「住み続ける」が 0.4 ポイント、「たぶん住み続ける」が 5.7  
ポイント増加しており、居留意向は向上している。



## 参考）平成 23 年度調査結果

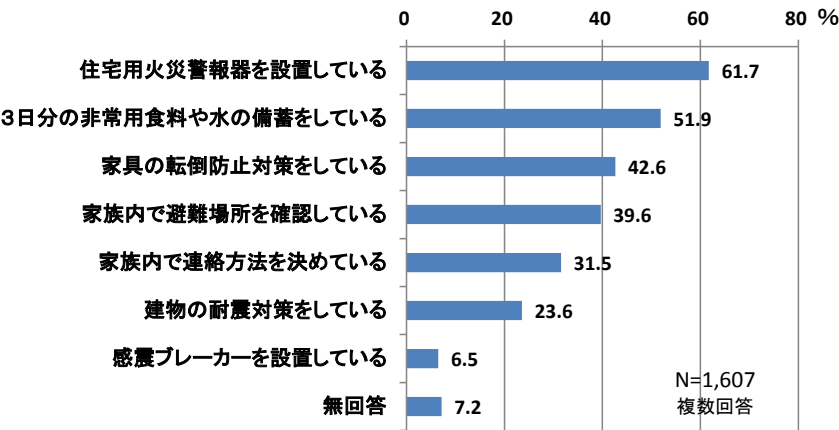


## Ⅱ. 調査結果

### 1. 自助・共助による減災行動について

#### 問1 地震などの大規模災害に備えて、次の対策について取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

- ・「住宅用火災警報器を設置している」が61.7%で最も多く、6割以上が挙げている。次いで「3日分の非常用食料や水の備蓄をしている」が51.9%で、半数以上が挙げている。以下「家具の転倒防止対策をしている」(42.6%)、「家族内で避難場所を確認している」(39.6%)、「家族内で連絡方法を決めている」(31.5%)、「建物の耐震対策をしている」(23.6%)、「感震ブレーカーを設置している」(6.5%)と続く。



#### ■ 年齢別 地震などの大規模災害に備えて取り組んでいる対策 (問1 × 問28)

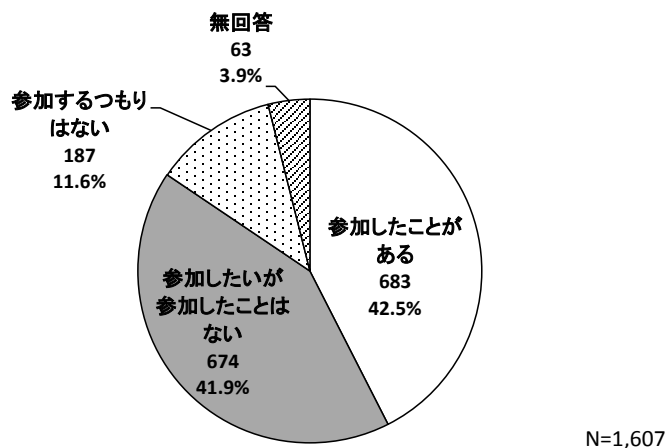
- ・いずれも「住宅用火災警報器を設置している」が最も多い。また70代以上の高齢世代で「3日分の非常用食料や水の備蓄をしている」の数値が全体値と比べて高くなっている。

図 年齢別 地震などの大規模災害に備えて取り組んでいる対策

		合計	問 1 地震などの大規模災害に備えて取り組んでいる対策							
			3日分の非常用食料や水の備蓄をしている	建物の耐震対策をしている	感震ブレーカーを設置している	住宅用火災警報器を設置している	家族内で連絡方法を決めている	家族内で避難場所を確認している	家具の転倒防止対策をしている	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	51.9	23.6	6.5	61.7	31.5	39.6	42.6	7.2
	10代	50	42.0	30.0	6.0	60.0	28.0	44.0	44.0	6.0
	20代	102	34.3	20.6	3.9	50.0	24.5	39.2	47.1	15.7
	30代	223	43.0	16.6	3.6	52.5	27.8	33.6	34.5	6.7
	40代	279	43.4	23.3	5.0	58.4	25.1	36.2	42.3	7.9
	50代	237	52.7	23.6	5.5	63.3	30.4	40.9	38.8	6.3
	60代	314	54.8	23.6	6.1	65.3	35.4	40.4	44.6	3.8
	70代	277	65.7	27.1	9.4	68.6	41.5	45.5	50.5	6.5
	80代以上	112	67.0	27.7	13.4	70.5	31.3	40.2	38.4	8.9

**問2 地域の防災訓練、地域防災拠点訓練に参加したことがありますか。(〇は1つ)**

- ・「参加したことがある」が42.5%で4割を超え、「参加したいが参加したことはない」が僅差で41.9%となっており、これらを合わせると8割以上が参加意向を示している。「参加するつもりはない」は11.6%で1割程度である。



**■ 年齢別 地域の防災訓練、地域防災拠点訓練への参加（問2×問28）**

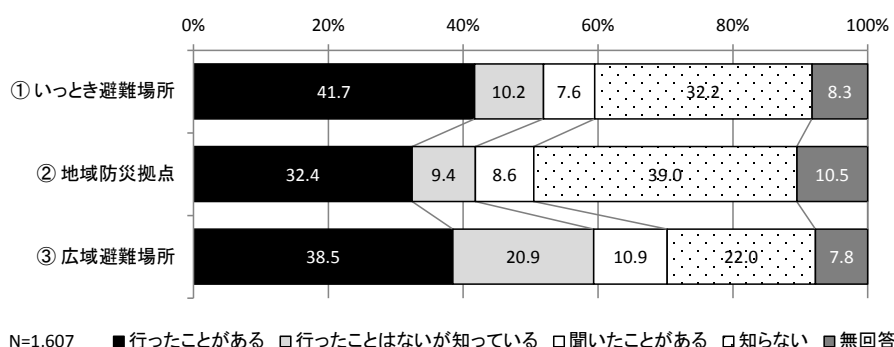
- ・40代までの若い世代では「参加したいが参加したことはない」、50代以上の世代では「参加したことがある」が最も多くなっており、50代を境に傾向が分かれた。また20代では「参加するつもりはない」の数値が全体値と比べて高くなっている。

**図 年齢別 地域の防災訓練、地域防災拠点訓練への参加**

		合計	問 2 地域の防災訓練、地域防災拠点訓練 に参加の有無			
			参加した ことがある	参加した いが参加 したことは ない	参加する つもりは ない	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	42.5	41.9	11.6 <sup>1</sup>	3.9
	10代	50	32.0	46.0	20.0	2.0
	20代	102	12.7	52.0	33.3 <sup>1</sup>	2.0
	30代	223	20.6	60.1	16.1	3.1
	40代	279	34.1	47.7	16.1 <sup>1</sup>	2.2
	50代	237	46.4	41.8	9.3	2.5
	60代	314	55.1	37.6	5.1 <sup>1</sup>	2.2
	70代	277	63.5	26.7	3.6	6.1
	80代以上	112	43.8	33.9	11.6 <sup>1</sup>	10.7

**問3 あなたは自分の住んでいる地域の次の避難場所を知っていますか。(①～③でそれぞれに○は1つ)**

- ・いっとき避難場所については、「行ったことがある」が41.7%で最も多く、次いで「知らない」が32.2%となっている。「行ったことはないが知っている」は10.2%、「聞いたことがある」が7.6%である。
- ・地域防災拠点については、「知らない」が最も多く39.0%で、①～③の中では最も認知度が低い。次いで「行ったことがある」が32.4%、「行ったことはないが知っている」は9.4%、「聞いたことがある」が8.6%である。
- ・広域避難場所については、「行ったことがある」が38.5%で最も多く、次いで「知らない」が22.0%となっている。「行ったことはないが知っている」は20.9%、「聞いたことがある」が10.9%で、①～③の中で認知度は最も高い。



**■ 年齢別 ①いっとき避難場所の認知度 (問3①×問28)**

- ・40代までの世代では「知らない」、50代以上の世代では「行ったことがある」が最も多くなっており、50代を境に傾向が分かれた。

**図 年齢別 ①いっとき避難場所の認知度**

		合計	問3① いっとき避難場所				
			行ったことがある	行ったことはないが知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
問28 年齢(統合)	全体	1607	41.7	10.2	7.6	32.2	8.3
	10代	50	36.0	8.0	4.0	46.0	6.0
	20代	102	36.3	4.9	4.9	53.9	0.0
	30代	223	24.2	12.1	9.4	52.9	1.3
	40代	279	35.5	9.3	11.8	39.4	3.9
	50代	237	49.4	11.0	5.9	30.0	3.8
	60代	314	46.2	9.6	7.0	27.7	9.6
	70代	277	54.2	12.3	3.6	14.1	15.9
	80代以上	112	42.0	10.7	13.4	10.7	23.2

## ■ 年齢別 ②地域防災拠点の認知度（問3②×問28）

- ・40代までの世代では「知らない」、50代以上の世代では「行ったことがある」が最も多くなっており、50代を境に傾向が分かれた。また、20代、30代では「知らない」が6割近くに達している。

図 年齢別 ②地域防災拠点の認知度

		合計	問3② 地域防災拠点				
			行ったことがある	行ったことはないが知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	32.4	9.4	8.6	39.0	10.5
	10代	50	32.0	8.0	8.0	44.0	8.0
	20代	102	25.5	3.9	10.8	59.8	0.0
	30代	223	21.1	8.5	9.9	58.7	1.8
	40代	279	26.9	8.6	11.1	48.7	4.7
	50代	237	40.9	8.4	6.8	39.7	4.2
	60代	314	37.3	10.2	8.0	33.1	11.5
	70代	277	40.8	13.4	8.7	17.7	19.5
	80代以上	112	25.0	9.8	4.5	24.1	36.6

## ■ 年齢別 ③広域避難場所の認知度（問3③×問28）

- ・30代までの若い世代では「知らない」、40代以上の世代では「行ったことがある」が最も多くなっており、40代を境に傾向が分かれた。

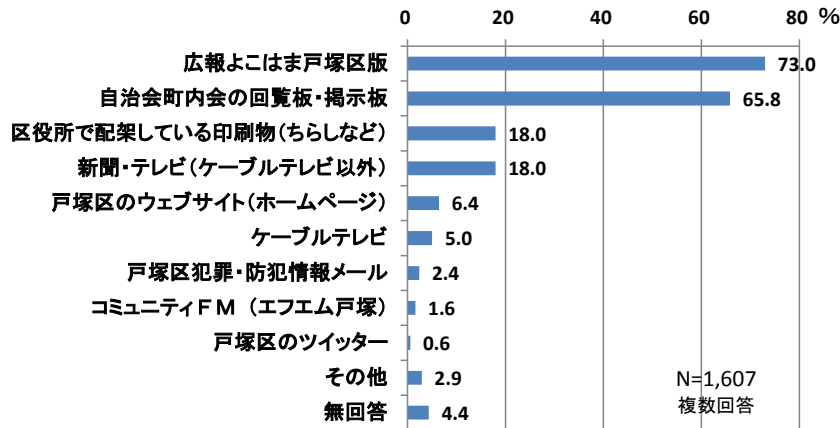
図 年齢別 ③広域避難場所の認知度

		合計	問3③ 広域避難場所				
			行ったことがある	行ったことはないが知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体		1607	38.5	20.9	10.9	22.0	7.8
問28 年齢（統合）	10代	50	28.0	20.0	14.0	30.0	8.0
	20代	102	39.2	8.8	9.8	42.2	0.0
	30代	223	32.7	18.4	11.7	35.9	1.3
	40代	279	31.9	21.9	16.1	26.2	3.9
	50代	237	46.0	23.6	9.7	17.7	3.0
	60代	314	42.7	23.2	9.2	16.9	8.0
	70代	277	42.6	23.1	9.0	10.8	14.4
	80代以上	112	33.0	18.8	8.9	13.4	25.9

## 2. 広報について

### 問4 戸塚区の情報（事業、行事、防災、防犯など）をどのようなものから得ていますか。（〇はいくつでも）

- ・「広報よこはま戸塚区版」が最も多く 73.0%で、7割以上が挙げている。次いで「自治会町内会の回覧板・掲示板」が 65.8%で、回答はこの2つに集中している。



### ■ 年齢別 戸塚区の情報入手先（問4 × 問28）

- ・10代、20代の若い世代と80代以上で「自治会町内会の回覧板・掲示板」、30代から70代までの世代では「広報よこはま戸塚区版」が最も多くなっている。70代では「自治会町内会の回覧板・掲示板」の数値も高いほか、70代、80代以上の高齢者世代では「区役所で配架している印刷物（ちらしなど）」「新聞・テレビ（ケーブルテレビ以外）」についても全体値と比べて高い数値となっている。

図 年齢別 戸塚区の情報入手先

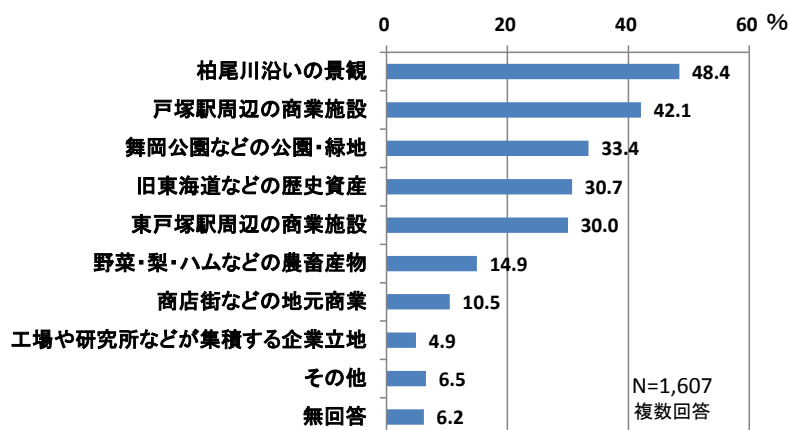
		合計	問 4 戸塚区の情報の入手先													
			区版 報よこ はま戸 塚	ジ イト （ホー ムペー サ	戸塚区 のウェブ サイ ツ	戸塚区 のツイ ッ ト	情報 メール	戸塚区 犯罪・防 犯	ケー ブル テレビ	（エフ エム戸 塚） FM	コ ミ ュ ニ テ ィ F M	覧 板・掲 示板	自治会 町内会 の回	しな ど） いる 印刷 物（ち ら	区役所 で配 架して いる （以 外）	（ケー ブル テレビ 以外）
問28 年齢（統 合）	全体	1607	73.0	6.4	0.6	2.4	5.0	1.6	65.8	18.0	18.0	2.9	4.4			
	10代	50	24.0	14.0	2.0	0.0	4.0	6.0	32.0	8.0	26.0	4.0	20.0			
	20代	102	35.3	6.9	1.0	0.0	2.9	2.0	41.2	15.7	17.6	7.8	15.7			
	30代	223	61.0	11.7	1.3	0.0	3.6	0.4	50.2	8.5	11.2	4.9	5.8			
	40代	279	74.9	9.3	0.7	4.3	3.2	1.8	60.2	8.6	12.5	2.2	3.2			
	50代	237	77.6	7.6	0.0	3.8	5.9	0.8	67.9	14.3	12.2	2.5	1.3			
	60代	314	86.3	4.1	0.3	2.2	7.6	1.6	75.8	19.7	18.5	1.9	1.0			
	70代	277	83.8	1.1	0.0	2.5	5.8	1.8	80.1	31.0	28.2	1.8	3.2			
	80代以上	112	75.9	2.7	0.9	3.6	3.6	1.8	82.1	35.7	28.6	1.8	3.6			



### 3. まちづくりについて

#### 問5 戸塚区の魅力と感ずるものは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「柏尾川沿いの景観」が48.4%で最も多く、5割近い人が挙げている。次いで「戸塚駅周辺の商業施設」が42.1%と、4割強で続く。以下「舞岡公園などの公園・緑地」(33.4%)、「旧東海道などの歴史資産」(30.7%)、「東戸塚駅周辺の商業施設」(30.0%)を3割以上の人が挙げている。



#### ■ 年齢別 戸塚区の魅力 (問5 × 問28)

- ・40代までの世代では「戸塚駅周辺の商業施設」が最も多く、年齢が若いほど数値も高くなっている。50代以上では「柏尾川沿いの景観」が最も多い。

図 年齢別 戸塚区の魅力

		合計	問 5 戸塚区の魅力									
			戸塚駅周辺の商業施設	東戸塚駅周辺の商業施設	旧東海道の歴史資産	柏尾川沿いの景観	野菜・梨・ハムなどの農畜産物	商店街などの地元商業	舞岡公園などの園・緑地	工場や研究所などが集積する企業立地	その他	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	42.1	30.0	30.7	48.4	14.9	10.5	33.4	4.9	6.5	6.2
	10代	50	56.0	36.0	32.0	38.0	10.0	20.0	36.0	0.0	8.0	2.0
	20代	102	48.0	39.2	25.5	43.1	15.7	13.7	21.6	2.9	4.9	4.9
	30代	223	47.5	35.9	18.4	43.9	9.0	11.2	30.5	5.4	7.2	4.0
	40代	279	47.3	33.7	26.5	46.2	15.8	9.3	31.2	5.7	6.1	6.1
	50代	237	38.0	32.9	34.6	47.7	16.0	8.4	30.8	4.2	8.9	3.8
	60代	314	32.8	22.3	38.5	52.9	19.7	7.3	37.6	5.1	7.0	5.4
	70代	277	42.6	26.7	34.7	54.9	14.4	11.2	39.4	6.5	5.8	8.3
	80代以上	112	41.1	22.3	31.3	47.3	11.6	15.2	35.7	1.8	2.7	11.6

## ■ 愛着度別 戸塚区の魅力（問5×問38）

- ・戸塚区への愛着度別にみると、「分からない」で「戸塚駅周辺の商業施設」が最も多くなっているのを除き、いずれも「柏尾川沿いの景観」が最も多くなっており、愛着度が高いほど数値も高くなっている。

図 愛着度別 戸塚区の魅力

		合計	問5 戸塚区の魅力										
			施設 戸塚 駅周 辺の 商業	業施 東戸 塚駅 周 辺の 商	史旧 資東 産海 道な どの 歴	柏尾 川沿 いの 景観	ど野 菜・ 梨・ ハム な	商業 商店 街な どの 地元	園舞 岡公 園な どの 公	地集 積す る企 業立	工場 や研 究所 など	その他	無回 答
問38 戸塚区への愛着度	全体	1607	42.1	30.0	30.7	48.4	14.9	10.5	33.4	4.9	6.5	6.2	
	感じている	569	51.5	31.1	37.3	60.6	19.9	16.7	39.2	6.9	5.4	4.2	
	やや感じている	536	44.6	35.8	32.8	48.7	14.4	8.4	34.7	5.4	4.5	2.6	
	どちらともいえない	230	30.0	23.9	23.5	35.2	11.7	5.2	25.2	2.6	8.3	7.8	
	あまり感じていない	173	26.0	22.0	19.1	33.5	9.2	5.8	27.7	2.3	11.6	12.1	
	全く感じていない	35	22.9	17.1	17.1	28.6	5.7	0.0	20.0	0.0	25.7	20.0	
	分からない	32	40.6	15.6	9.4	25.0	12.5	6.3	15.6	0.0	3.1	25.0	

## ■ 居住意向別 戸塚区の魅力（問5×問39）

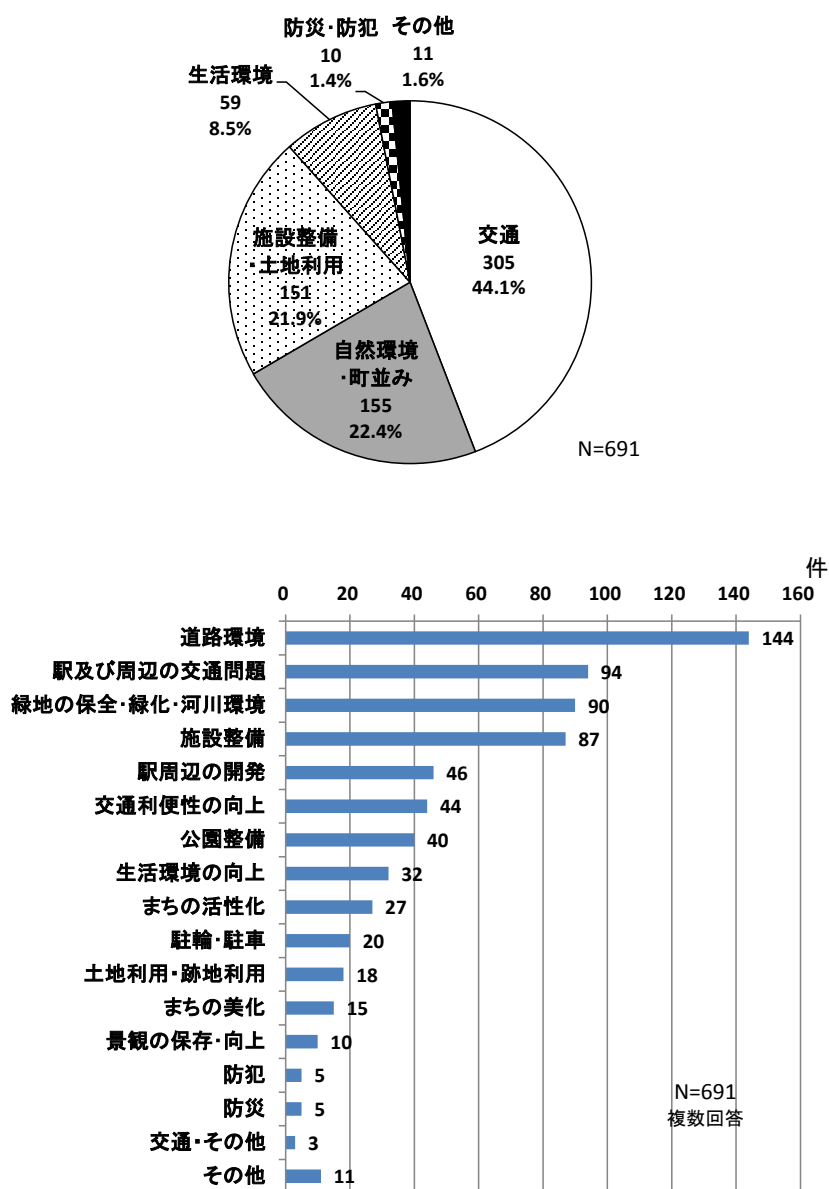
- ・戸塚区への居住意向（問39）別にみると、「分からない」で「戸塚駅周辺の商業施設」「柏尾川沿いの景観」が同率となっているのを除き、いずれも「柏尾川沿いの景観」が最も多くなっており、居住意向が高いほど数値も高くなっている。

図 居住意向別 戸塚区の魅力

		合計	問5 戸塚区の魅力											
			施設 戸塚 駅周 辺の 商業	業施 東戸 塚駅 周 辺の 商	史資 旧東 海 道な どの 歴	柏尾 川沿 いの 景観	ど野 菜・ 農畜 産物 ・ハム な	商商店 店街 など の地 元	園舞 岡公 園な どの 公	地が 集積 する 企業 立	工場 や研 究所 など	その他	無回 答	
問39 居住意向	全体	1607	42.1	30.0	30.7	48.4	14.9	10.5	33.4	4.9	6.5	6.2		
	住み続ける	626	44.6	28.9	33.1	54.6	18.1	13.9	35.6	5.9	4.2	5.1		
	たぶん住み続ける	626	42.3	31.5	29.2	46.6	13.1	8.9	34.7	4.6	8.1	5.8		
	たぶん移転する	92	32.6	33.7	27.2	37.0	10.9	5.4	28.3	4.3	8.7	8.7		
	移転する	27	33.3	14.8	29.6	44.4	3.7	7.4	14.8	7.4	7.4	18.5		
	分からない	213	40.8	28.6	29.6	40.8	16.0	7.5	28.6	2.8	8.0	6.6		

**問6 これからの区のまちづくり（交通、自然環境、土地活用など）に関して、ご意見を自由にお書きください。**

- ・戸塚区のまちづくりについての意見や提案として、538 件の具体的な記述があり、計 691 件の意見が出された。
- ・大分類別の内訳としては、「交通」305 件、「自然環境・町並み」155 件、「施設整備・土地利用」151 件、「生活環境」59 件、「防災・防犯」10 件、「その他」11 件で、「交通」に対する意見が最も多かった。
- ・中分類を見ると、「交通」の「道路環境」144 件が最も多かった。同じく「交通」の「駅及び周辺の交通問題」94 件、「自然環境・町並み」の「緑地の保全・緑化・河川環境」90 件、「施設整備・土地利用」の「施設整備」87 件なども多くなっている。
- ・さらに個別に小分類の内容を見ると、最も多く出されていたのは「道路整備」51 件（「交通－道路環境」）、「緑地保全・緑化」（「自然環境・町並み－緑地の保全・緑化・河川環境」）42 件、「戸塚駅及び周辺」（「施設整備・土地利用－駅周辺の開発」）42 件などとなっている（次ページ表を参照）。



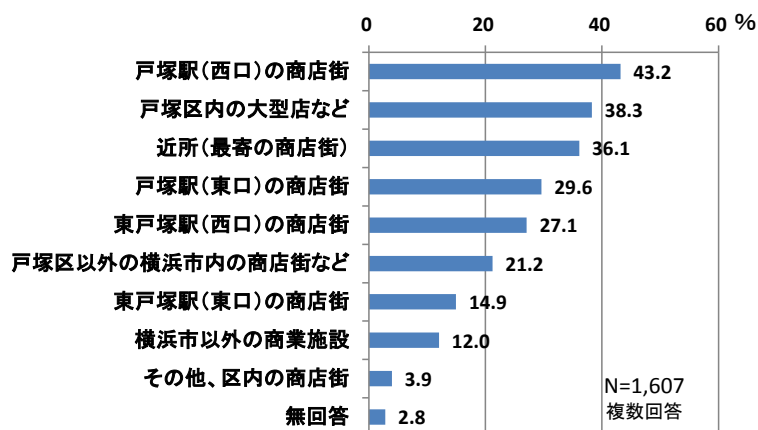
戸塚区のまちづくりについての意見・提案（一覧）

大分類		中分類		小分類	
交通	305	道路環境	144	道路整備	51
				渋滞緩和	38
				歩道整備	35
				自転車道路	14
				交通安全設備	6
		駅及び周辺の交通問題	94	東戸塚駅他の問題	34
				戸塚駅	33
		交通利便性の向上	44	東戸塚駅の混雑解消	27
バス便・バス停	28				
交通利便性の向上	11				
駐輪・駐車	20	地下鉄・モノレールの整備	5		
		駐輪場・駐車場	14		
その他	3	その他	3		
自然環境・町並み	155	緑地の保全・緑化・河川環境	90	緑地保全・緑化	42
				自然環境保全	33
				河川環境整備	12
				桜並木	3
		公園整備	40	公園整備	40
		まちの美化	15	まちの美化	8
				路上喫煙	4
				犬のふん処理	2
景観の保存・向上	10	ごみ収集	1		
		景観	6		
町並み	4				
施設整備・土地利用	151	施設整備	87	商店・商店街・商業施設	24
				図書館	10
				子どもの遊び場	8
				運動公園・グラウンド・スポーツ施設	8
				文化施設	4
				電線の地中化	4
				映画館	4
				バリアフリー化	3
				プール	3
				高齢者施設	3
				保育関連施設	2
				既存施設の活用	2
				学校・学童保育	2
				道の駅	2
		その他の施設	8		
		駅周辺の開発	46	戸塚駅及び周辺	42
				東戸塚駅及び周辺	4
		土地利用・跡地利用	18	通信所跡地の利用	5
遊休地の有効利用	4				
土地細分化しない	3				
マンションが多すぎる	3				
その他の跡地利用	3				
生活環境	59	生活環境の向上	32	情報提供・情報発信	8
				子育てしやすい環境	5
				高齢者にやさしい環境	5
				生活環境	3
				地域コミュニティ	3
				ソフトの充実	2
				行政の分散	1
				その他	5
		まちの活性化	27	歴史・宿場町	5
				企業・区民の参画	3
				祭り・イベント	3
				まちの活性化	2
				地域コミュニティ	2
				迅速な対応	2
商業地域の発展	2				
生活環境	1				
その他	7				
防災・防犯	10	防災	5	防災対策	5
		防犯	5	外灯	4
その他	11	その他	11	交番	1
				財政	4
総計					691

## 4. 区内の商店街について

### 問7 よく利用する商店街はどこですか。(〇はいくつでも)

- ・「戸塚駅(西口)の商店街」が最も多く 43.2%で、4割強の人が挙げている。次いで「戸塚区内の大型店など」(38.3%)、「近所(最寄の商店街)」(36.1%)を3割以上の人が、「戸塚駅(東口)の商店街」(29.6%)、「東戸塚駅(西口)の商店街」(27.1%)を3割弱の人が挙げている。



### ■ 年齢別 よく利用する商店街 (問7×問28)

- ・10代から30代までの世代と50代、80代以上では「戸塚駅(西口)の商店街」、40代では「戸塚区内の大型店など」、60代、70代では「近所(最寄の商店街)」が最も多くなっている。

図 年齢別 よく利用する商店街

		合計	問 7 よく利用する商店街									
			近所 (最寄の商店街)	戸塚駅 (東口)の商店街	戸塚駅 (西口)の商店街	東戸塚駅 (西口)の商店街	東戸塚駅 (東口)の商店街	その他、区内の商店街	戸塚区内の大型店など	戸塚区以外の横浜市内の商店街など	横浜市以外の商業施設	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	36.1	29.6	43.2	27.1	14.9	3.9	38.3	21.2	12.0	2.8
	10代	50	16.0	38.0	46.0	28.0	8.0	8.0	36.0	14.0	10.0	8.0
	20代	102	20.6	25.5	44.1	28.4	19.6	0.0	35.3	19.6	13.7	4.9
	30代	223	26.0	23.8	42.2	26.5	14.8	2.2	35.4	17.9	15.2	0.9
	40代	279	32.6	29.4	39.1	27.6	13.3	3.2	39.8	19.4	14.0	3.6
	50代	237	32.5	27.0	40.5	32.5	17.7	3.8	36.7	29.5	13.9	1.3
	60代	314	46.8	33.1	42.7	28.3	14.3	3.8	40.1	20.7	11.5	1.6
	70代	277	50.9	33.9	47.7	23.5	15.9	5.8	40.8	21.7	8.7	1.8
	80代以上	112	31.3	29.5	50.9	20.5	11.6	5.4	38.4	19.6	4.5	6.3

## ■ 愛着度別 よく利用する商店街（問 7 × 問 38）

- ・「どちらともいえない」「あまり感じていない」で「戸塚区内の大型店など」、それ以外はいずれも「戸塚駅（西口）の商店街」が最も多くなっている。「あまり感じていない」では「横浜市以外の商業施設」の数値が全体値に比べて高い。また「近所（最寄の商店街）」の数値は愛着度が高いほど高くなっている。

図 愛着度別 よく利用する商店街

		合計	問 7 よく利用する商店街									
			街近 所 （最寄の商店街）	商店街 （東口）	商店街 （西口）	の東戸塚 駅（西口）	の東戸塚 駅（東口）	店その他、 区内の商店街	など戸塚 区内の大型店	市内戸塚 区以外の商店街など	施設横浜 市以外の商業	無回答
全体		1607	36.1	29.6	43.2	27.1	14.9	3.9	38.3	21.2	12.0	2.8
問38 戸塚区への愛着度	感じている	569	39.2	35.0	53.8	25.5	14.4	3.9	42.2	19.7	9.0	2.8
	やや感じている	536	38.2	27.4	41.0	32.5	17.7	3.7	39.6	21.3	10.1	1.5
	どちらともいえない	230	33.9	28.3	34.3	22.2	12.2	2.2	36.1	25.7	15.7	2.2
	あまり感じていない	173	27.7	21.4	29.5	23.7	11.0	5.2	34.1	24.3	22.5	2.9
	全く感じていない	35	20.0	20.0	40.0	22.9	8.6	2.9	25.7	22.9	20.0	8.6
	分からない	32	28.1	25.0	34.4	25.0	18.8	9.4	21.9	12.5	6.3	12.5

## ■ 居住意向別 よく利用する商店街（問 7 × 問 39）

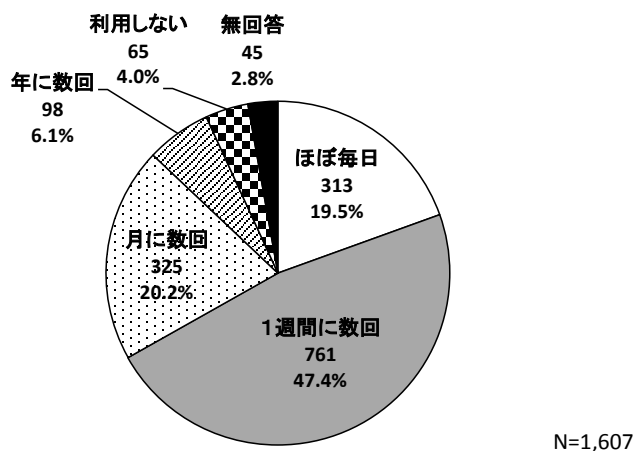
- ・いずれも「戸塚駅（西口）の商店街」が最も多くなっている。また「移転する」では「横浜市以外の商業施設」の数値が全体値に比べて高い。

図 居住意向別 よく利用する商店街

		合計	問 7 よく利用する商店街									
			街近 所 （最寄の商店街）	商店街 （東口）	商店街 （西口）	の東戸塚 駅（西口）	の東戸塚 駅（東口）	店その他、 区内の商店街	など戸塚 区内の大型店	市内戸塚 区以外の商店街など	施設横浜 市以外の商業	無回答
全体		1607	36.1	29.6	43.2	27.1	14.9	3.9	38.3	21.2	12.0	2.8
問39 居住意向	住み続ける	626	41.7	29.9	46.2	25.4	14.4	5.0	41.4	19.0	10.1	2.2
	たぶん住み続ける	626	35.5	32.1	41.1	29.1	15.0	3.2	39.3	23.2	12.1	1.9
	たぶん移転する	92	19.6	22.8	34.8	27.2	20.7	1.1	32.6	21.7	15.2	4.3
	移転する	27	29.6	18.5	40.7	25.9	11.1	0.0	14.8	18.5	22.2	7.4
	分からない	213	29.6	25.8	44.6	25.8	13.1	3.8	34.3	23.5	15.0	4.7

**問8 区内の商店街を利用する頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)**

- ・「1週間に数回」が47.4%で最も多く、半数近くを占める。次いで「月に数回」が20.2%、「ほぼ毎日」が19.5%と、1週間に数回以上商店街を利用する人が7割近くとなっている。「利用しない」は4.0%にとどまっている。



**■ 年齢別 区内の商店街を利用する頻度（問8×問28）**

- ・いずれの世代でも「1週間に数回」が最も多くなっている。20代では「月に数回」の数値が全体値に比べて高いほか、10代でも数値が高くなっている。また、「利用しない」の数値は年齢が若いほど高く、「ほぼ毎日」の数値は50代以上で2割に達している。

**図 年齢別 区内の商店街を利用する頻度**

		合計	問 8 区内の商店街を利用する頻度					
			ほぼ毎日	1 週間に 数回	月に数回	年に数回	利用しな い	無回答
問28 年齢（統 合）	全体	1607	19.5	47.4	20.2	6.1	4.0	2.8
	10代	50	6.0	34.0	30.0	16.0	10.0	4.0
	20代	102	12.7	37.3	32.4	7.8	7.8	2.0
	30代	223	12.6	45.7	27.4	6.7	6.7	0.9
	40代	279	19.0	49.1	17.2	7.2	5.7	1.8
	50代	237	20.3	46.4	21.5	8.0	2.1	1.7
	60代	314	25.8	48.1	16.6	4.8	2.5	2.2
	70代	277	22.7	53.4	15.2	3.6	1.1	4.0
	80代以上	112	20.5	48.2	18.8	1.8	2.7	8.0

# ■ 愛着度別 区内の商店街を利用する頻度（問8×問38）

- ・いずれも「1週間に数回」が最も多くなっている。「全く感じていない」では「利用しない」の数値が全体値に比べて高い。

図 愛着度別 区内の商店街を利用する頻度

		合計	問 8 区内の商店街を利用する頻度					
			ほぼ毎日	1 週間に 数回	月に数回	年に数回	利用しな い	無回答
問38 戸塚区への愛着度	全体	1607	19.5	47.4	20.2	6.1	4.0	2.8
	感じている	569	22.1	49.9	18.1	5.4	1.4	3.0
	やや感じている	536	19.4	49.6	21.1	4.9	3.2	1.9
	どちらともいえない	230	17.4	44.3	23.0	6.1	7.0	2.2
	あまり感じていない	173	15.6	38.7	22.5	14.5	5.2	3.5
	全く感じていない	35	17.1	40.0	14.3	5.7	22.9	0.0
	分からない	32	15.6	46.9	18.8	0.0	12.5	6.3

# ■ 居住意向別 区内の商店街を利用する頻度（問8×問39）

- ・いずれも「1週間に数回」が最も多くなっている。また「移転する」では「利用しない」の数値が全体値に比べて高い。居住意向が高いほど「ほぼ毎日」の数値が高くなっている。

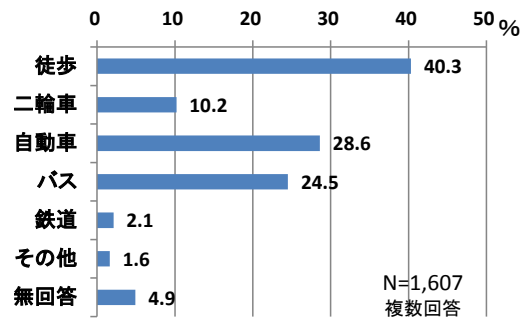
図 居住意向別 区内の商店街を利用する頻度

		合計	問 8 区内の商店街を利用する頻度					
			ほぼ毎日	1 週間に 数回	月に数回	年に数回	利用しな い	無回答
問39 居住意向	全体	1607	19.5	47.4	20.2	6.1	4.0	2.8
	住み続ける	626	23.8	50.5	15.7	4.5	2.6	3.0
	たぶん住み続ける	626	18.4	47.1	22.8	5.6	3.8	2.2
	たぶん移転する	92	15.2	39.1	27.2	7.6	9.8	1.1
	移転する	27	14.8	37.0	18.5	7.4	22.2	0.0
	分からない	213	12.7	44.6	23.5	11.7	4.2	3.3



**問9 区内の商店街への主な移動手段はどれですか。(〇は1つ)**

- ・「徒歩」が最も多く 40.3%で、全体の約4割である。次いで「自動車」が 28.6%で3割弱、以下「バス」(24.5%)、「二輪車」(10.2%)などとなっている。



**■ 年齢別 区内の商店街への主な移動手段 (問9 × 問28)**

- ・10代から60代までの世代では「徒歩」、70代以上の世代では「バス」が最も多くなっている。また若い世代ほど「二輪車」の数値が高く、40代から60代では「自動車」が3割を超える。

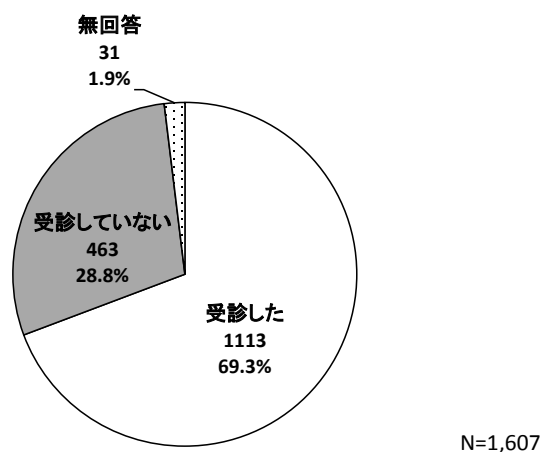
**図 年齢別 区内の商店街への主な移動手段**

		問9 区内の商店街への主な移動手段							
		合計	徒歩	二輪車	自動車	バス	鉄道	その他	無回答
問28 年齢 (統合)	全体	1607	40.3	10.2	28.6	24.5	2.1	1.6	4.9
	10代	50	36.0	20.0	8.0	28.0	4.0	0.0	10.0
	20代	102	43.1	16.7	12.7	22.5	2.9	2.0	5.9
	30代	223	43.9	13.5	26.5	17.5	1.8	1.8	5.4
	40代	279	42.3	12.5	35.1	13.3	1.4	2.2	3.9
	50代	237	40.9	5.9	38.0	16.9	3.0	1.3	2.5
	60代	314	39.2	11.8	35.0	21.7	1.3	0.3	3.5
	70代	277	39.7	5.8	22.4	43.0	2.5	1.4	4.3
	80代以上	112	33.0	3.6	19.6	44.6	2.7	4.5	10.7

## 5. 健康について

### 問 10 あなたは過去 1 年間に一般的な健康診断を受診されましたか。(○は 1 つ)

- ・「受診した」が 69.3%で 7 割弱を占め、「受診していない」の 28.8%を 40.5 ポイント上回っている。



### ■ 男女別 健康診断の受診の有無 (問 10×問 27)

- ・男女とも「受診した」が 6 割以上となっており、男性は女性より 9.1 ポイント高くなっている。

図 男女別 健康診断の受診の有無

		合計	問10 一般的な健康診断の受診の有無(過去1年間)		
			受診した	受診していない	無回答
全体		1607	69.3	28.8	1.9
問27 性別	男性	697	74.7	24.0	1.3
	女性	881	65.6	32.7	1.7

### ■ 年齢別 健康診断の受診の有無 (問 10×問 28)

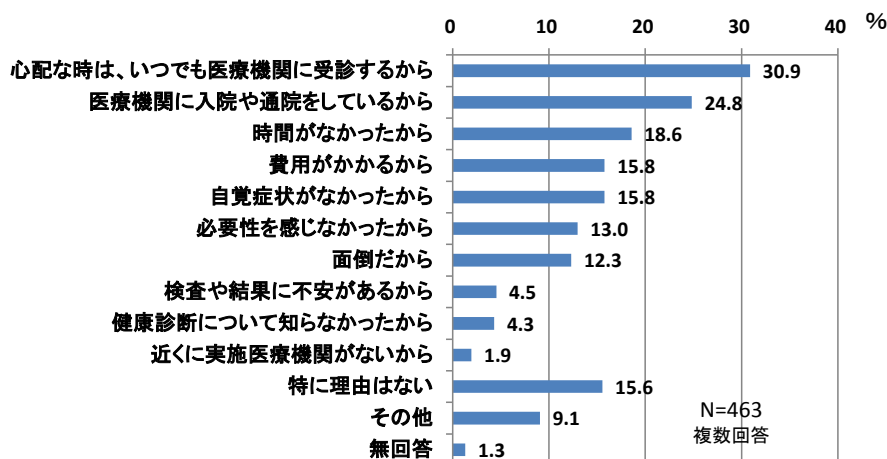
- ・10 代では「受診していない」の方が多いが、20 代以上の世代では「受診した」の方が多くなっている。20 代、40 代、50 代で受診率が 7 割を超え、最も受診率が高いのは 50 代である。

図 年齢別 健康診断の受診の有無

		合計	問10 一般的な健康診断の受診の有無(過去1年間)		
			受診した	受診していない	無回答
全体		1607	69.3	28.8	1.9
問28 年齢(総合)	10代	50	44.0	52.0	4.0
	20代	102	72.5	23.5	3.9
	30代	223	67.3	32.7	0.0
	40代	279	73.8	24.7	1.4
	50代	237	75.9	23.6	0.4
	60代	314	69.7	29.0	1.3
	70代	277	69.0	29.6	1.4
	80代以上	112	59.8	33.9	6.3

# 問 11 健康診断を受診されなかった場合、その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「心配な時は、いつでも医療機関を受診するから」が 30.9%で最も多く、次いで「医療機関に入院や通院をしているから」が 24.8%となっており、すでに医療機関に接点があるとの回答が上位となっているが、「時間がなかったから」(18.6%)、「費用がかかるから」(15.8%)、「自覚症状がなかったから」(15.8%)、「必要性を感じなかったから」(13.0%)、「面倒だから」(12.3%)との回答もそれぞれ1割以上見られる。



## ■ 年齢別 健康診断を受診しなかった理由 (問 11×問 28)

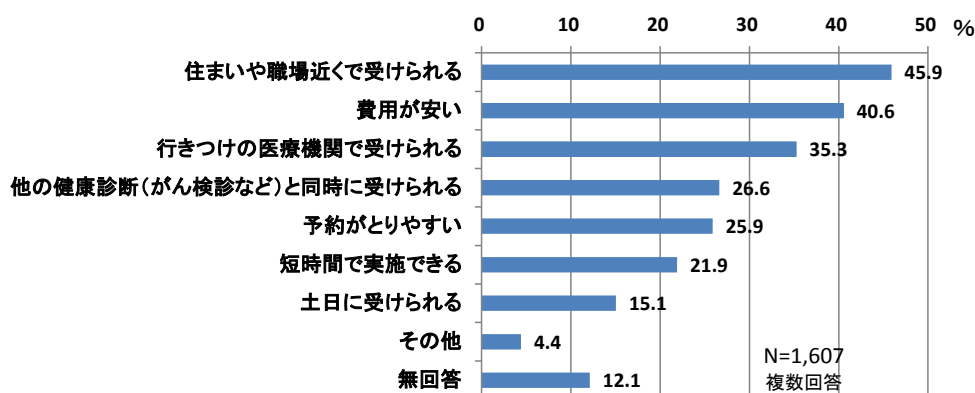
- ・10代、20代では「特に理由はない」、30代では「費用がかかるから」、40代、50代では「時間がなかったから」、60代と80代以上では「心配な時は、いつでも医療機関を受診するから」、70代では「医療機関に入院や通院をしているから」が最も多く、世代によって回答が分散した。また、20代、30代では「時間がなかったから」、70代で「心配な時は、いつでも医療機関を受診するから」、80代以上で「医療機関に入院や通院をしているから」が、それぞれ全体値に比べて高い数値となっている。

図 年齢別 健康診断を受診しなかった理由

		合計	問11 健康診断を受診しなかった理由												
			診す る か ら	でも 心 配 な い 時 は 、 機 関 に い つ	費 用 が か か る か ら	か つ た か ら 必 要 性 を 感 じ な い	面 倒 だ か ら	が あ る か ら 検 査 や 結 果 に 不 安	た か ら 自 覚 症 状 が な か つ た	知 ら な か つ た か ら 健 康 診 断 に つ い て	ら 時 間 が な か つ た か	ら 通 院 を し て い る か ら 医 療 機 関 に 入 院 や	関 が な い か ら 近 く に 実 施 医 療 機	特 に 理 由 は な い	そ の 他
問28 年齢（統 合）	全体	463	30.9	15.8	13.0	12.3	4.5	15.8	4.3	18.6	24.8	1.9	15.6	9.1	1.3
	10代	26	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	11.5	3.8	0.0	0.0	0.0	50.0	19.2	0.0
	20代	24	33.3	20.8	12.5	8.3	4.2	4.2	4.2	29.2	8.3	0.0	37.5	8.3	4.2
	30代	73	16.4	41.1	15.1	9.6	1.4	12.3	6.8	35.6	5.5	2.7	12.3	12.3	0.0
	40代	69	17.4	24.6	13.0	18.8	5.8	14.5	7.2	33.3	11.6	0.0	17.4	8.7	1.4
	50代	56	23.2	16.1	12.5	19.6	7.1	25.0	5.4	33.9	23.2	0.0	8.9	7.1	0.0
	60代	91	38.5	12.1	16.5	16.5	7.7	24.2	2.2	8.8	31.9	5.5	13.2	8.8	1.1
	70代	82	43.9	0.0	7.3	8.5	2.4	12.2	1.2	3.7	47.6	2.4	11.0	8.5	1.2
	80代以上	38	55.3	2.6	13.2	5.3	5.3	10.5	2.6	0.0	44.7	0.0	7.9	2.6	5.3

## 問 12 健康診断を受ける上で必要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「住まいや職場近くで受けられる」が 45.9%で最も多く、次いで「費用が安い」が 40.6%で 4 割を超えている。以下「行きつけの医療機関で受けられる」(35.3%)、「他の健康診断(がん検診など)と同時に受けられる」(26.6%)、「予約がとりやすい」(25.9%)などの順である。



## ■ 年齢別 健康診断を受ける上で必要なこと (問 12×問 28)

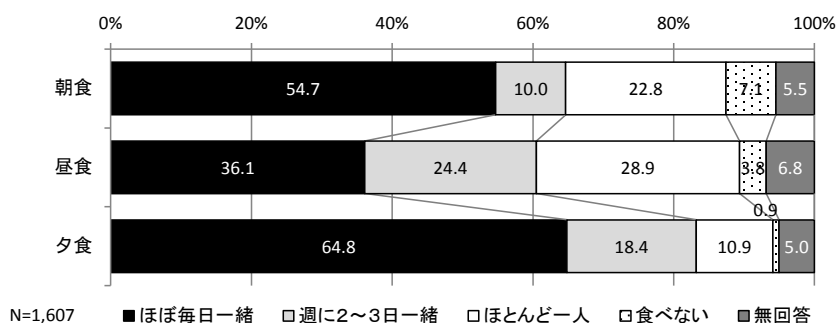
- ・10代から60代までの世代では「住まいや職場近くで受けられる」、70代と80代以上の高齢者世代では「行きつけの医療機関で受けられる」が最も多くなっている。また、20代では「土日に受けられる」「短時間で実施できる」「費用が安い」、40代で「他の健康診断(がん検診など)と同時に受けられる」が、それぞれ全体値に比べて高い数値となっている。

図 年齢別 健康診断を受ける上で必要なこと

		合計	問12 健康診断を受ける上で必要なこと								
			で住 受ま けら れ職 場 近 く	関 行 で 受 け ら れ る 医 療 機 関	土 日 に 受 け ら れ る	時 に 他 の 健 康 診 断 （ が ん 検 診 な ど ） と 同 じ	短 時 間 で 実 施 で き る	費 用 が 安 い	予 約 が と り や す い	そ の 他	無 回 答
問28 年齢（統 合）	全体	1607	45.9	35.3	15.1	26.6	21.9	40.6	25.9	4.4	12.1
	10代	50	36.0	10.0	10.0	2.0	22.0	28.0	10.0	6.0	40.0
	20代	102	53.9	13.7	31.4	14.7	32.4	51.0	31.4	2.9	11.8
	30代	223	65.5	14.3	23.3	26.0	24.7	48.4	24.2	4.5	6.7
	40代	279	55.9	20.4	22.9	36.9	25.1	49.1	31.5	6.5	7.5
	50代	237	58.6	24.5	17.7	33.8	28.3	48.5	27.8	5.5	7.2
	60代	314	41.7	41.4	9.9	29.9	21.7	40.4	26.8	3.8	14.6
	70代	277	27.1	68.6	4.3	23.5	13.4	30.3	21.3	2.2	13.0
	80代以上	112	14.3	67.9	2.7	8.9	8.0	12.5	23.2	4.5	19.6

**問 13 同居の家族や友人、知人と一緒に食事をすることは、どれくらいありますか。(朝食・昼食・夕食ごとに○は1つ)**

- ・朝食は「ほぼ毎日一緒」が最も多く 54.7%で、半数強である。以下「ほとんど一人」(22.8%)、「週に2～3日一緒」(10.0%)、「食べない」(7.1%)の順である。
- ・昼食は「ほぼ毎日一緒」(36.1%)が最も多く、以下「ほとんど一人」(28.9%)、「週に2～3日一緒」(24.4%)、「食べない」(3.8%)の順である。
- ・夕食は「ほぼ毎日一緒」が最も多く 64.8%を占め、次いで「週に2～3日一緒」が 18.4%となっており、週2～3日以上誰かと夕食をとる人が8割以上となっている。「ほとんど一人」は 10.9%、「食べない」は 0.9%のみである。



**■ 男女・年齢別 同居の家族や友人、知人と一緒に食事をする頻度 (問 13×問 27, 28)**

**<朝食>**

- ・男女とも「ほぼ毎日一緒」が5割を超えており、女性は男性より 7.7 ポイント高くなっている。
- ・いずれの世代も「ほぼ毎日一緒」が最も多いが、20代では数値が低く、「ほとんど一人」が全体値に比べて高くなっている。

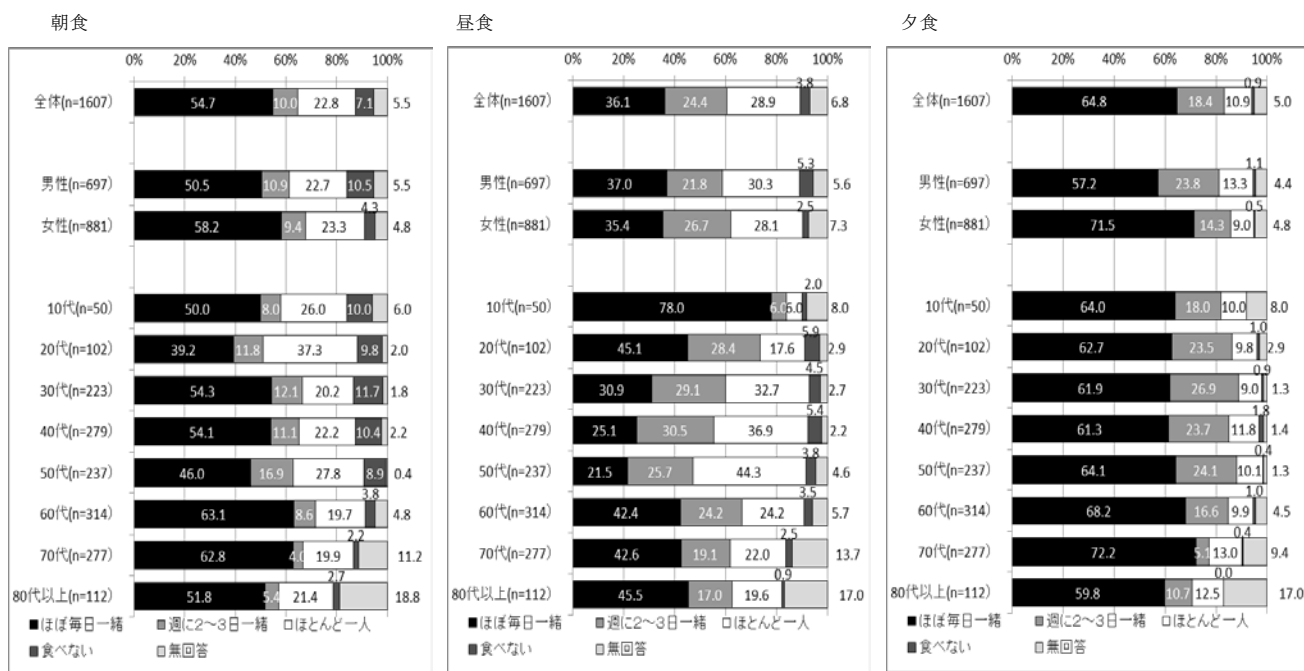
**<昼食>**

- ・男女とも「ほぼ毎日一緒」が最も多く、顕著な男女差は見られない。
- ・30代から50代では「ほとんど一人」が最も多い。それ以外は「ほぼ毎日一緒」が最も多く、特に10代では8割近い数値となっている。

**<夕食>**

- ・男女とも「ほぼ毎日一緒」が5割を超え、特に女性は7割超となっている。
- ・いずれの世代も「ほぼ毎日一緒」が最も多く、6割前後から7割を占める。特に70代では7割を超えている。

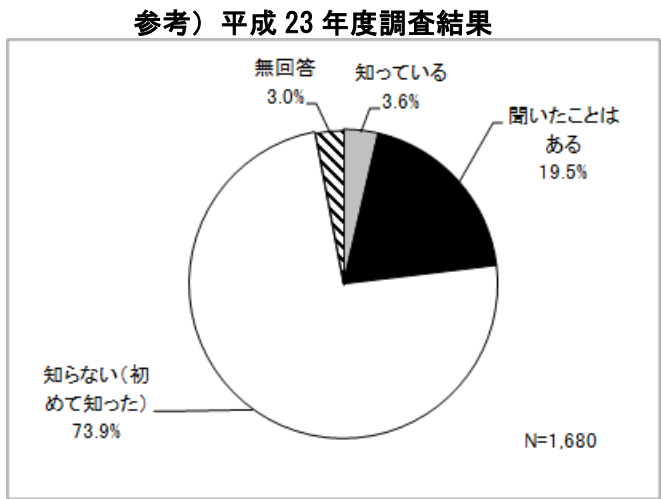
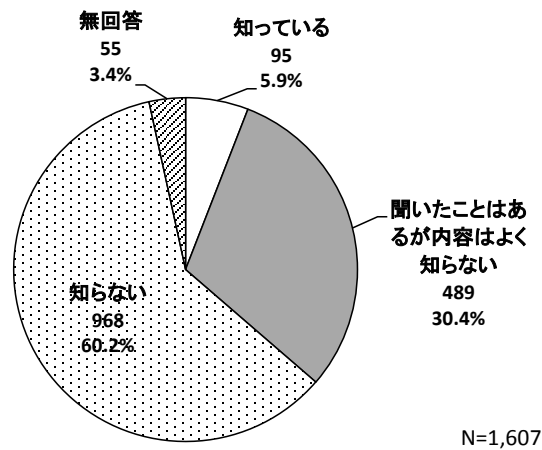
図 男女・年齢別 同居の家族や友人、知人と一緒に食事をする頻度



# 6. とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）について

問 14 あなたは、とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）を知っていますか。（○は1つ）

- ・「知らない」が最も多く 60.2%で、全体の約 6 割である。次いで「聞いたことはあるが内容はよく知らない」が 30.4%で約 3 割、「知っている」は 5.9%にとどまっている。
- ・平成 23 年度調査では、「知っている」3.6%、「聞いたことはある」19.5%、「知らない（初めて知った）」73.9%で、今年度は前回より「聞いたことはあるが内容はよく知らない（前回調査では「聞いたことはある」）」が 10.9 ポイント増加、「知らない」が 13.7 ポイント減少しており、とつかハートプランの存在については認知度の上昇がみられる。



## ■ 年齢別 とつかハートプランの認知度（問 14×問 28）

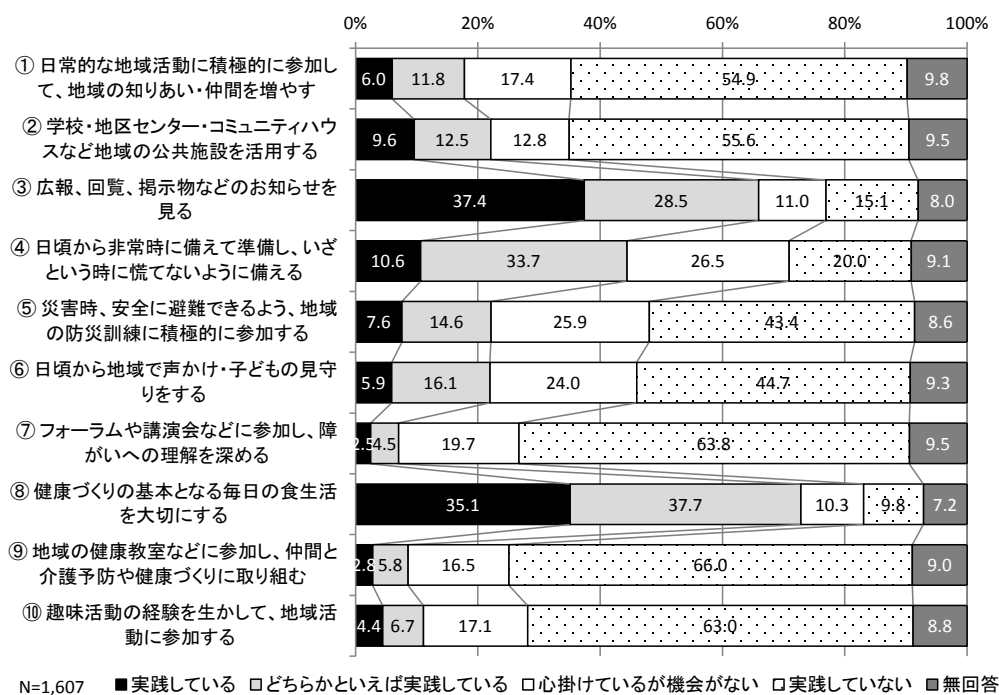
- ・いずれの世代でも「知らない」が最も多く、特に 10 代、20 代では「知らない」が 8 割を超えている。「知っている」の数値が最も高いのは 70 代である。

図 年齢別 とつかハートプランの認知度

		合計	問14 とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）の認知度			
			知っている	聞いたことはあるが内容はよく知らない	知らない	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	5.9	30.4	60.2	3.4
	10代	50	2.0	16.0	80.0	2.0
	20代	102	2.0	9.8	86.3	2.0
	30代	223	1.8	26.5	70.0	1.8
	40代	279	3.6	33.7	60.9	1.8
	50代	237	5.1	28.7	64.1	2.1
	60代	314	8.6	33.8	56.1	1.6
	70代	277	11.6	39.0	44.4	5.1
	80代以上	112	3.6	30.4	51.8	14.3

問 15 あなたは、次の各取組についてどの程度実践していますか。(①～⑩でそれぞれに○は1つ)

- ・「実践している」が最も多いのは「③ 広報、回覧、掲示物などのお知らせを見る」の1項目である。「どちらかといえば実践している」が最も多いのは「④ 日頃から非常時に備えて準備し、いざという時に慌てないように備える」「⑧ 健康づくりの基本となる毎日の食生活を大切にする」の2項目で、それ以外の項目については「実践していない」が最も多くなっている。
- ・「実践している」「どちらかといえば実践している」を合わせると「③ 広報、回覧、掲示物などのお知らせを見る」では65.9%、「⑧ 健康づくりの基本となる毎日の食生活を大切にする」で72.8%となっており、この2項目が突出している。





## ■ 男女・年齢別 とつかハートプランの取組について（問 15×問 27, 28）

### ① 日常的な地域活動に積極的に参加して、地域の知りあい・仲間を増やす

- ・男女とも「実践していない」が過半数に達し、顕著な男女差は見られない。
- ・年齢別では、いずれも「実践していない」が最も多く、特に年齢が低いほどその割合も高くなっている。10代から20代では「実践している」との回答はなかった。

### ② 学校・地区センター・コミュニティハウスなど地域の公共施設を活用する

- ・男女とも「実践していない」が最も多く、男性では6割を超える。
- ・年齢別では、いずれも「実践していない」が最も多く、特に20代で8割を超えている。

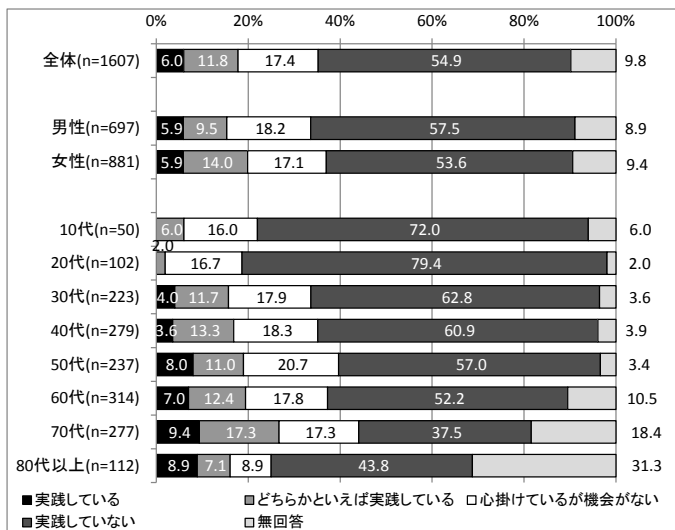
### ③ 広報、回覧、掲示物などのお知らせを見る

- ・男性は「どちらかといえば実践している」、女性は「実践している」が最も多い。
- ・年齢別では、10代から20代では「実践していない」、30代では「どちらかといえば実践している」、40代以上の世代では「実践している」が最も多く、年齢が高いほど実践割合も高くなっている。

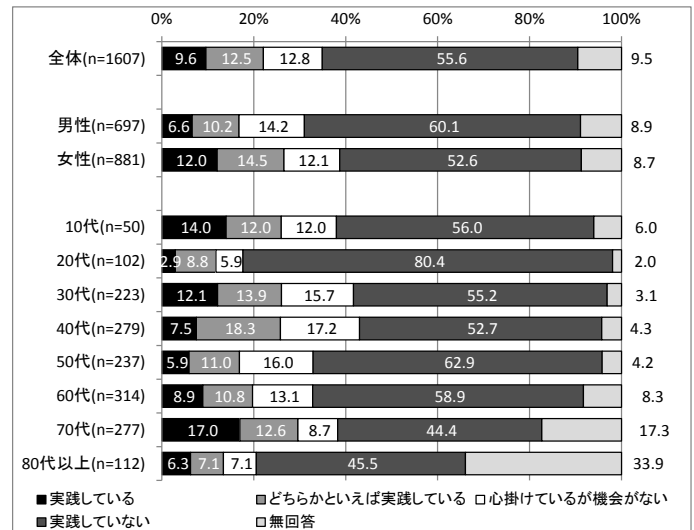
### ④ 日頃から非常時に備えて準備し、いざという時に慌てないように備える

- ・男女とも「どちらかといえば実践している」が3割台で最も多い。
- ・年齢別では、10代から20代では「実践していない」、30代では「心掛けているが機会がない」、40代以上の世代では「どちらかといえば実践している」が最も多い。

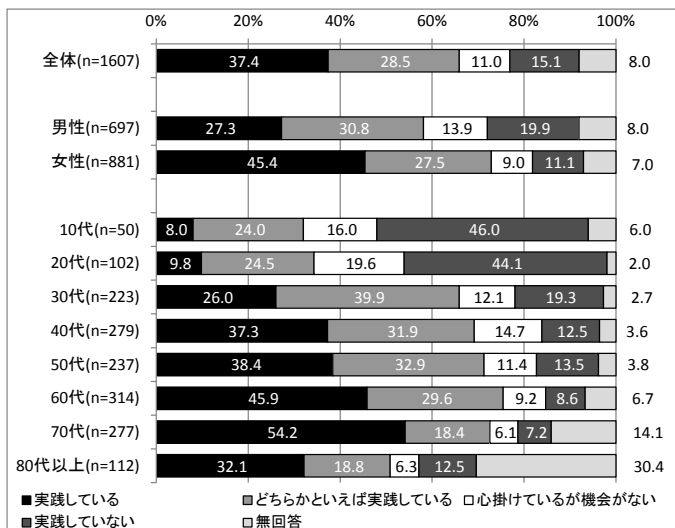
#### ① 日常的な地域活動に積極的に参加して、地域の知りあい・仲間を増やす



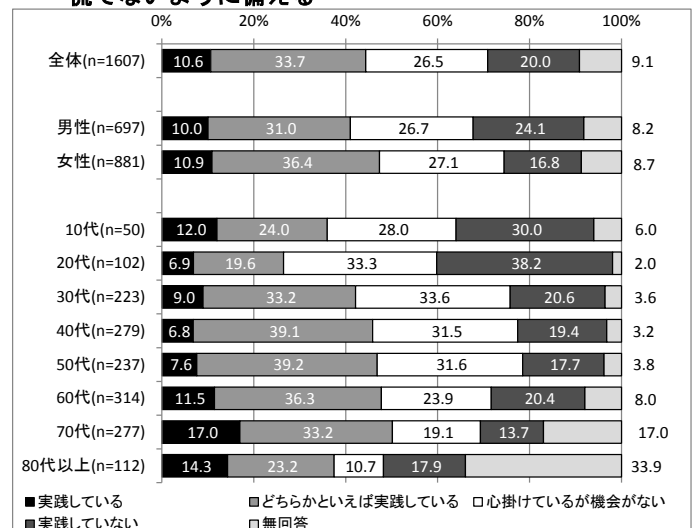
#### ② 学校・地区センター・コミュニティハウスなど地域の公共施設を活用する



#### ③ 広報、回覧、掲示物などのお知らせを見る



#### ④ 日頃から非常時に備えて準備し、いざという時に慌てないように備える



## ⑤ 災害時、安全に避難できるよう、地域の防災訓練に積極的に参加する

- ・男女とも「実践していない」が4割台で最も多い。
- ・年齢別では、いずれも「実践していない」が最も多い。特に年齢が低いほどその割合も高く、10代から20代では「実践している」との回答はなかった。一方高齢者層で「実践している」の割合が高く、70代では「実践している」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い。

## ⑥ 日頃から地域で声かけ・子どもの見守りをする

- ・男女とも「実践していない」が最も多く、男性は女性より9.8ポイント高い。
- ・年齢別では、いずれも「実践していない」が最も多く、10代、20代では8割近い。50代では「心掛けているが機会がない」が全体値に比べて高い。

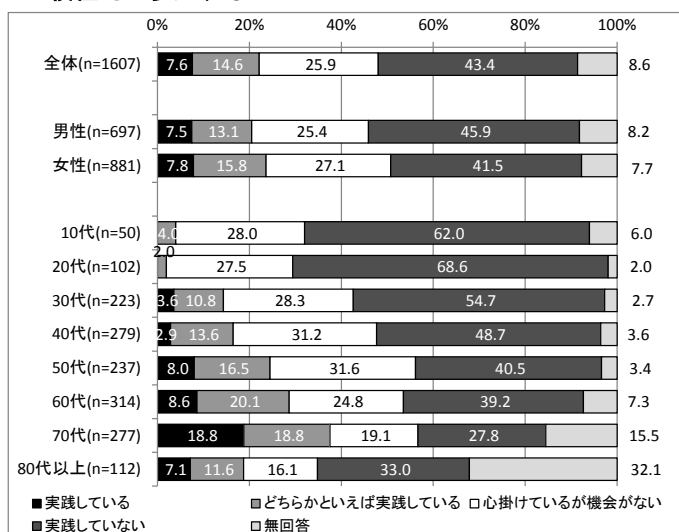
## ⑦ フォーラムや講演会などに参加し、障がいへの理解を深める

- ・男女とも「実践していない」が6割台となっている。
- ・年齢別では、いずれも「実践していない」が最も多く、10代から20代では8割を超える。

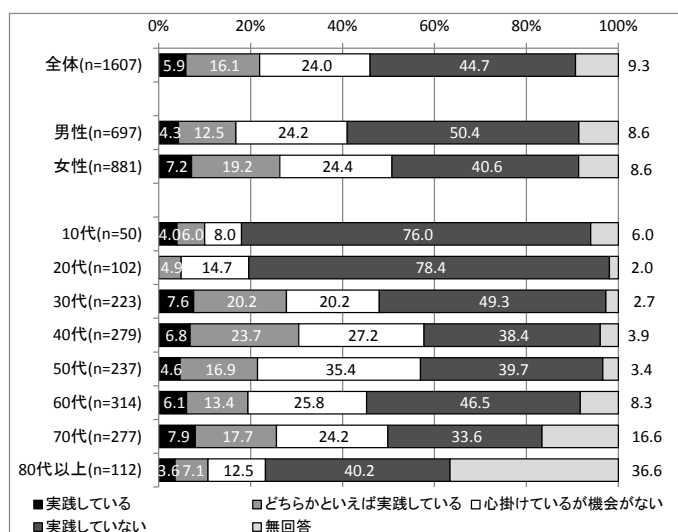
## ⑧ 健康づくりの基本となる毎日の食生活を大切にする

- ・男女とも「どちらかといえば実践している」が最も多い。女性は男性より「実践している」が9ポイント高い。
- ・年齢別では、10代と60代以上の世代で「実践している」、20代から50代で「どちらかといえば実践している」が最も多い。20代で「実践していない」の数値が全体値に比べて高い。

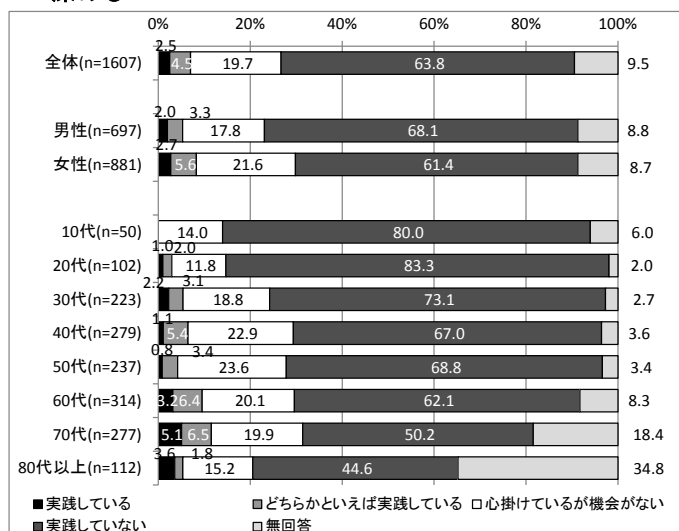
⑤ 災害時、安全に避難できるよう、地域の防災訓練に積極的に参加する



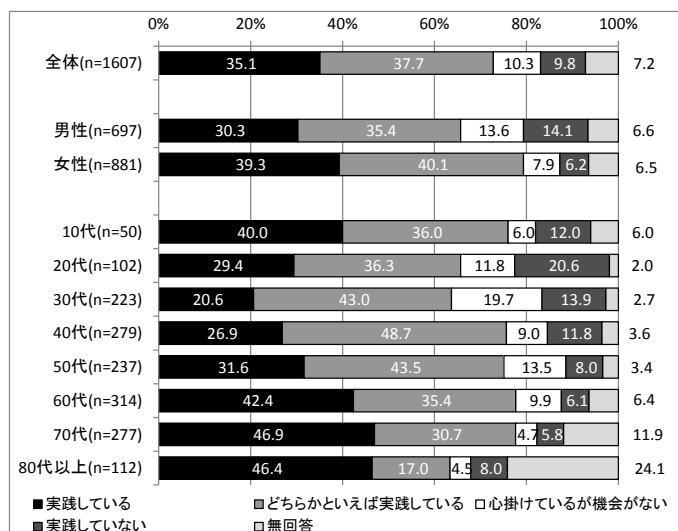
⑥ 日頃から地域で声かけ・子どもの見守りをする



⑦ フォーラムや講演会などに参加し、障がいへの理解を深める



⑧ 健康づくりの基本となる毎日の食生活を大切にする



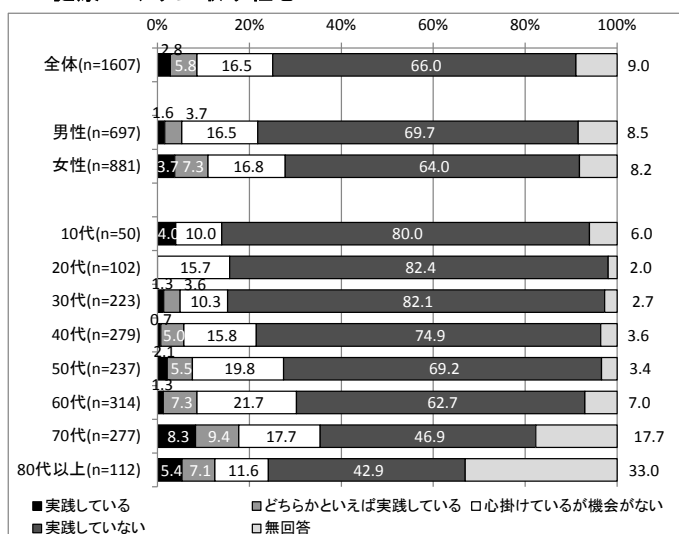
### ⑨ 地域の健康教室などに参加し、仲間と介護予防や健康づくりに取り組む

- ・男女とも「実践していない」が6割台となっている。
- ・年齢別では、いずれも「実践していない」が最も多く、10代から30代では8割以上を占める。

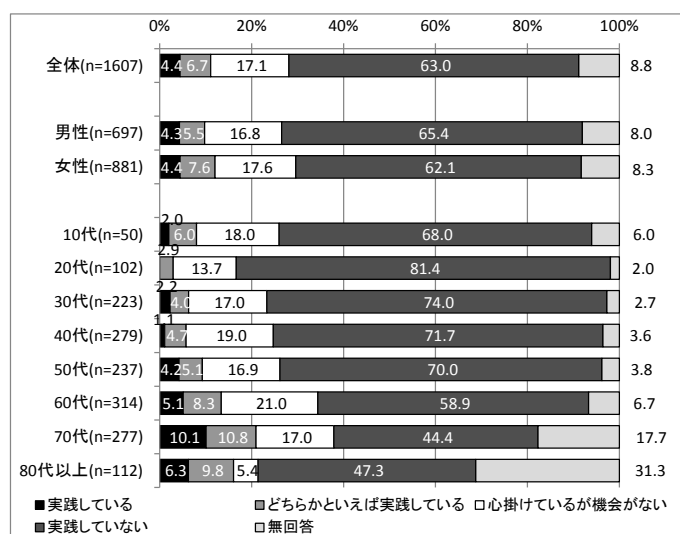
### ⑩ 趣味活動の経験を生かして、地域活動に参加する

- ・男女とも「実践していない」が6割台で、顕著な男女差は見られない。
- ・年齢別では、いずれも「実践していない」が最も多く、20代では8割以上を占める。70代のみ「実践している」「どちらかといえば実践している」が1割を超えている。

#### ⑨ 地域の健康教室などに参加し、仲間と介護予防や健康づくりに取り組む



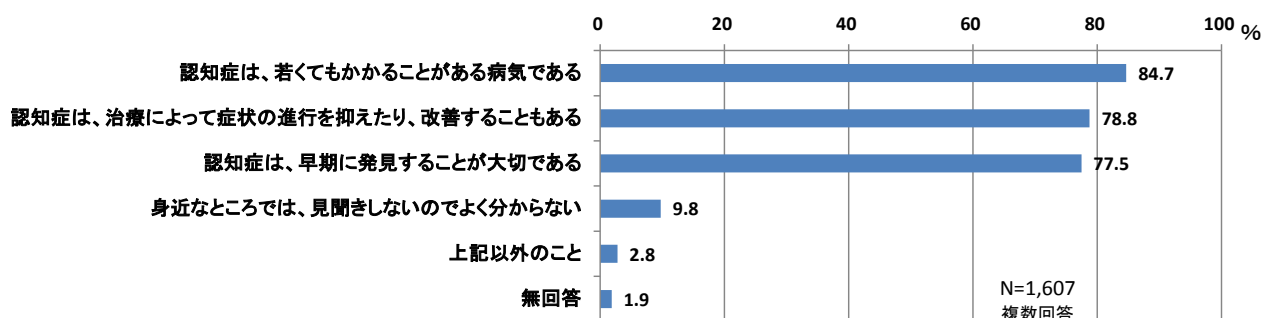
#### ⑩ 趣味活動の経験を生かして、地域活動に参加する



## 7. 認知症について

### 問 16 あなたは、認知症について次のことを知っていますか。（〇はいくつでも）

- ・「認知症は、若くてもかかることがある病気である」が 84.7%で最も多く、次いで「認知症は、治療によって症状の進行を抑えたり、改善することもある」が 78.8%、「認知症は、早期に発見することが大切である」が 77.5%と、いずれも 8 割前後の人が挙げており、「身近なところでは、聞きしないのでよく分からない」の 9.8%を大きく上回っている。



### ■ 年齢別 認知症についての知識（問 16×問 28）

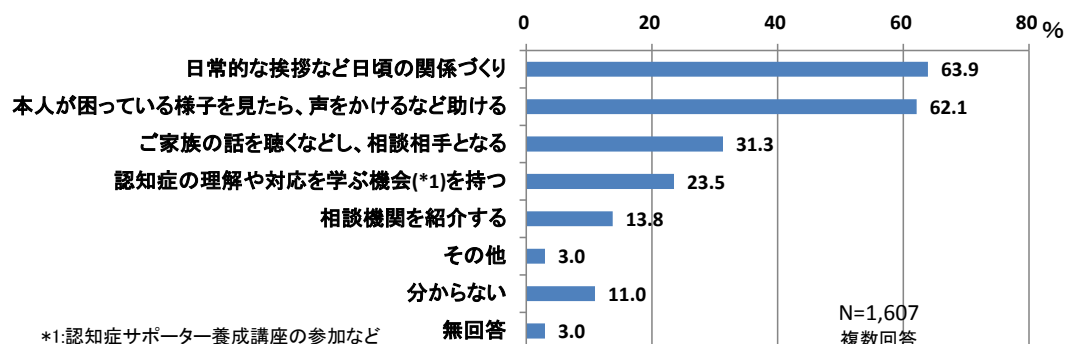
- ・10 代では「認知症は、早期に発見することが大切である」、20 代以上の世代では「認知症は、若くてもかかることがある病気である」が最も多くなっている。また 10 代で「身近なところでは、聞きしないのでよく分からない」の数値が全体値に比べて高くなっている。50 代、60 代では「認知症は、若くてもかかることがある病気である」「認知症は、早期に発見することが大切である」「認知症は、治療によって症状の進行を抑えたり、改善することもある」がそれぞれ 8～9 割台と高い数値になっている。

図 年齢別 認知症についての知識

		合計	問16 認知症についての知識						
			気か認 でか知 ある症 るこは とが若 あく るて 病も	あ見認 るす知 る症 こは とが早 大期 切に で発	こ抑よ認 とえつ知 もたて症 あり症は る、状、 改の治 善進療 する行に るを	く見身 分聞近 かきな らしと ななこ ろでは 、よ	上記 以外 のこと	無 回 答	
全体		1607	84.7	77.5	78.8	9.8	2.8	1.9	
問28 年齢（統 合）	10代	50	56.0	64.0	54.0	20.0	0.0	6.0	
	20代	102	70.6	65.7	67.6	12.7	2.0	2.9	
	30代	223	80.7	65.9	68.2	13.5	1.8	0.9	
	40代	279	84.9	72.4	74.6	10.0	1.4	2.2	
	50代	237	92.0	84.4	88.2	5.5	3.0	0.0	
	60代	314	91.4	85.0	86.6	7.3	2.2	1.0	
	70代	277	85.2	83.8	84.8	10.1	5.8	1.4	
	80代以上	112	83.0	79.5	77.7	10.7	4.5	5.4	

**問 17 あなたは、認知症の人とそのご家族を地域で支えるために、どんな手助けができると思いますか。（〇はいくつでも）**

- ・「日常的な挨拶など日頃の関係づくり」が 63.9%で最も多く、次いで「本人が困っている様子を見たら、声をかけるなど助ける」が 62.1%となっており、この 2 項目を 6 割以上の人が挙げている。以下「ご家族の話を聴くなどし、相談相手となる」（31.3%）、「認知症の理解や対応を学ぶ機会を持つ（認知症サポーター養成講座の参加など）」（23.5%）などとなっている。



**■ 年齢別 認知症の人とそのご家族を地域で支えるためにできる手助け（問 17×問 28）**

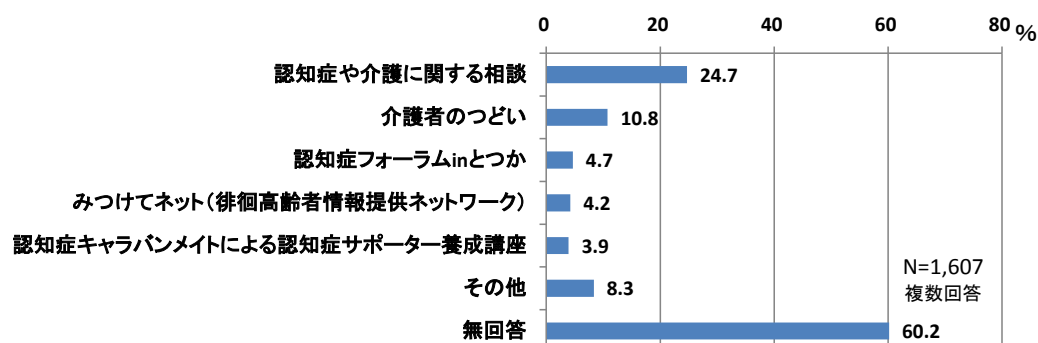
- ・60 代では「本人が困っている様子を見たら、声をかけるなど助ける」、それ以外の世代では「日常的な挨拶など日頃の関係づくり」が最も多くなっている。

**図 年齢別 認知症の人とそのご家族を地域で支えるためにできる手助け**

		合計	問17 認知症の人とご家族を地域で支えるためにできる手助け										
			日 常 的 な 関 係 づ く り	け る な ど 助 け る	本 人 が 困 つ て い る 様 子 を 見 た ら 、 声 を か け る	ど し 、 ご 家 族 の 話 を 聴 く こ と な る	相 談 機 関 を 紹 介 す る	（ ど こ ） 養 成 講 座 の 参 加 な い	（ ど こ ） を 学 ぶ 機 会 を 持 つ た い	認 知 症 の 理 解 や 対 応	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全体		1607	63.9	62.1	31.3	13.8	23.5	3.0	11.0	3.0			
問28 年齢（続合）	10代	50	68.0	56.0	22.0	12.0	24.0	0.0	10.0	2.0			
	20代	102	60.8	52.9	29.4	19.6	23.5	0.0	13.7	2.9			
	30代	223	60.5	57.0	38.6	14.8	28.3	1.8	12.6	1.3			
	40代	279	59.1	57.0	35.1	15.1	28.0	2.9	12.2	2.2			
	50代	237	68.8	65.4	30.0	19.0	30.8	0.8	11.4	0.4			
	60代	314	69.7	73.9	31.8	14.0	22.3	2.5	7.3	2.5			
	70代	277	64.3	63.2	31.0	9.7	15.9	5.4	11.2	4.7			
	80代以上	112	57.1	55.4	17.9	2.7	9.8	9.8	11.6	8.9			

**問 18 区役所や包括支援センター（地域ケアプラザ）が認知症の理解や対応のために行っている次の取組を知っていますか。（○はいくつでも）**

- ・「認知症や介護に関する相談」が最も多く 24.7%、次いで「介護者のつどい」が 10.8%だが、それ以外は 1 割に達しておらず、取組の認知度は低くなっている。



**■ 年齢別 認知症の理解や対応のために行っている取組の認知度（問 18×問 28）**

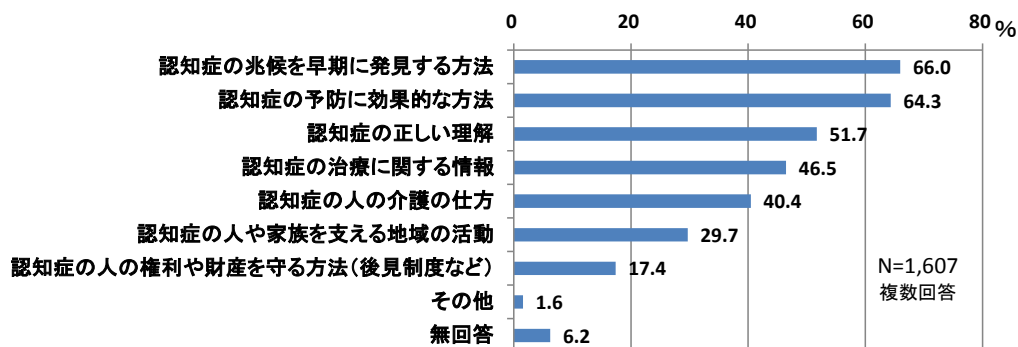
- ・いずれの世代でも「認知症や介護に関する相談」が最も多くなっている。なお、このほかでは、50 代から 70 代で「介護者のつどい」が 1 割を超えている以外、どの取組もいずれの世代においても 1 割に達していない。

**図 年齢別 認知症の理解や対応のために行っている取組の認知度**

		合計	問18 認知症の理解や対応のために行っている取組の認知度						
			ポイント認知症キャラバンメイトによる認知症サ	認知症フォーラムinとつか	介護者のつどい	徘徊高齢者情報提供ネットワーク	みつけてネットへ徘徊高齢者情報提供	認知症や介護に関する相談	その他
全体		1607	3.9	4.7	10.8	4.2	24.7	8.3	60.2
問28 年齢（統合）	10代	50	4.0	0.0	2.0	2.0	14.0	10.0	74.0
	20代	102	2.0	2.0	2.9	6.9	14.7	5.9	71.6
	30代	223	1.3	3.1	7.6	4.5	17.5	7.6	69.1
	40代	279	4.3	3.9	7.5	4.7	24.0	10.4	59.1
	50代	237	3.4	3.0	11.4	5.1	33.8	5.1	58.2
	60代	314	4.8	6.4	15.9	5.7	32.8	6.4	52.2
	70代	277	5.8	7.6	15.9	2.5	21.7	10.5	58.1
	80代以上	112	4.5	6.3	8.9	0.0	22.3	14.3	56.3

## 問 19 あなたは、認知症のどのようなことに関心がありますか。(〇はいくつでも)

- ・「認知症の兆候を早期に発見する方法」が最も多く 66.0%で、「認知症の予防に効果的な方法」が 64.3%で続いている。以下「認知症の正しい理解」(51.7%)、「認知症の治療に関する情報」(46.5%)を5割前後、「認知症の人の介護の仕方」(40.4%)を約4割の人が挙げるなど、認知症に関する関心事は広範囲にわたっている。



## ■ 年齢別 認知症に対する関心 (問 19×問 28)

- ・10代、30代、60代では「認知症の予防に効果的な方法」、それ以外の世代では「認知症の兆候を早期に発見する方法」が最も多くなっている。また、50代で「認知症の治療に関する情報」、70代で「認知症の正しい理解」が全体値に比べて高い数値となっている。

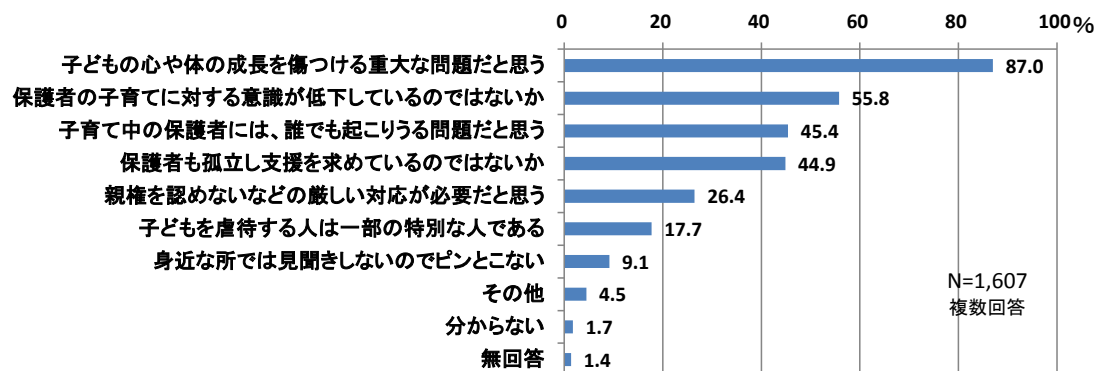
図 年齢別 認知症に対する関心

		合計	問19 認知症に対する関心								
			認知症の正しい理解	認知症の人の介護の方法	認知症の予防に効果的な方法	認知症の人や家族が地域で活動しやすい方法	認知症の兆候を早期に発見する方法	認知症の治療に関する情報	認知症の人の権利や財産を守る方法（後見制度など）	その他	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	51.7	40.4	64.3	29.7	66.0	46.5	17.4	1.6	6.2
	10代	50	48.0	22.0	56.0	22.0	46.0	26.0	4.0	2.0	4.0
	20代	102	51.0	39.2	52.0	18.6	61.8	34.3	10.8	2.9	7.8
	30代	223	47.5	45.7	62.3	31.8	60.1	38.6	19.7	1.8	6.3
	40代	279	45.9	42.3	60.9	36.2	64.2	44.4	13.6	1.8	7.5
	50代	237	50.6	43.9	70.9	36.7	71.7	59.1	23.6	1.3	4.2
	60代	314	57.3	42.7	74.2	31.5	73.6	52.9	19.4	1.3	1.9
	70代	277	61.7	39.0	65.7	22.4	69.3	46.9	16.6	1.8	6.9
	80代以上	112	42.9	26.8	51.8	22.3	58.0	45.5	16.1	0.0	10.7

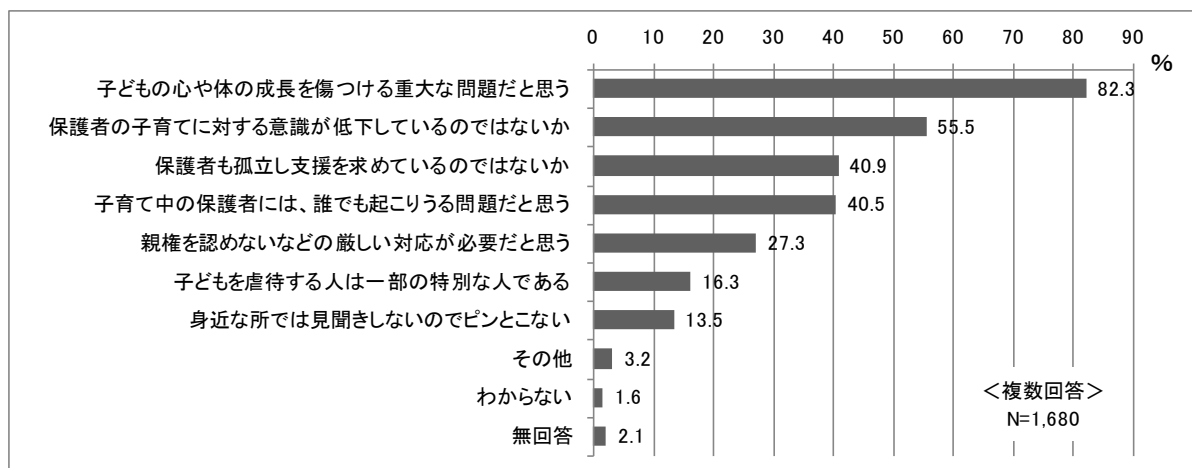
## 8. 児童虐待について

問 20 最近保護者による児童虐待が問題となっています。この事をどのように思いますか。(〇はいつでも)

- ・「子どもの心や体の成長を傷つける重大な問題だと思う」が 87.0%と、9 割近くの人が児童虐待の重大性を認識している。以下「保護者の子育てに対する意識が低下しているのではないか」(55.8%)、「子育て中の保護者には、誰でも起こりうる問題だと思う」(45.4%)、「保護者も孤立し支援を求めているのではないか」(44.9%)についても 4 割以上の人が挙げている。一方「身近な所では見聞きしないのでピンとこない」(9.1%)は 1 割に満たない。
- ・平成 23 年度調査でも、「子どもの心や体の成長を傷つける重大な問題だと思う」が最も多く、細かい順位の変動はあるものの概ね同様の傾向となっている。



### 参考) 平成 23 年度調査結果





## ■ 男女別 児童虐待について（問 20×問 27）

- ・男女とも「子どもの心や体の成長を傷つける重大な問題だと思う」が最も多くなっている。また、女性は男性より「子育て中の保護者には、誰でも起こりうる問題だと思う」の数値が 16.3 ポイント高くなっている。

図 男女別 児童虐待について

		合計	問20 保護者による児童虐待について																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			問題だと思 う	子どもの心や 体の成長を傷 つける重大な 原因	子どもの育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要	保護者の育 成に低く下 る意識が必 要

## ■ 年齢別 児童虐待について（問 20×問 28）

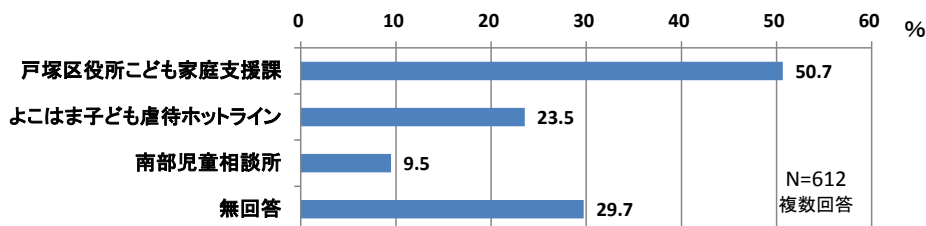
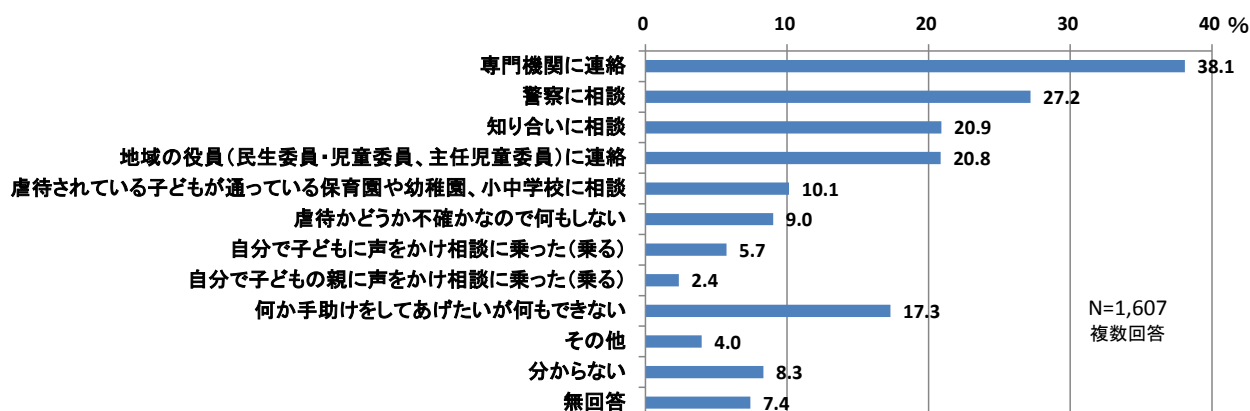
- ・いずれの世代も「子どもの心や体の成長を傷つける重大な問題だと思う」が最も多くなっている。また、30 代では「子育て中の保護者には、誰でも起こりうる問題だと思う」、60 代では「保護者の子育てに対する意識が低下しているのではないか」、80 代以上では「子どもを虐待する人は一部の特別な人である」「身近な所では見聞きしないのでピンとこない」の数値がそれぞれ全体値に比べて高くなっている。

図 年齢別 児童虐待について

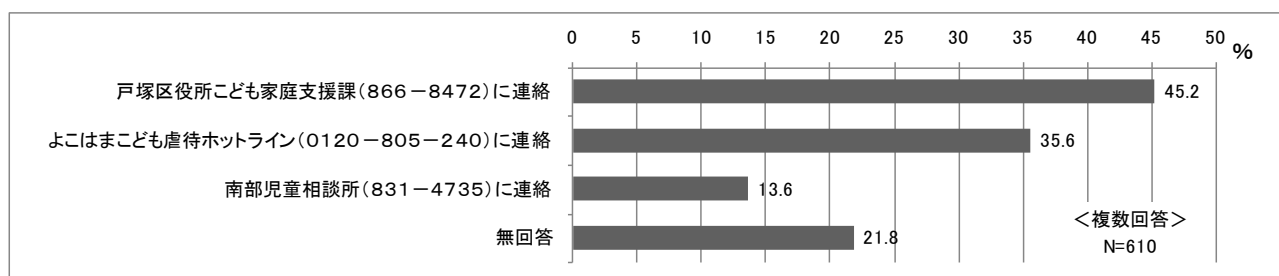
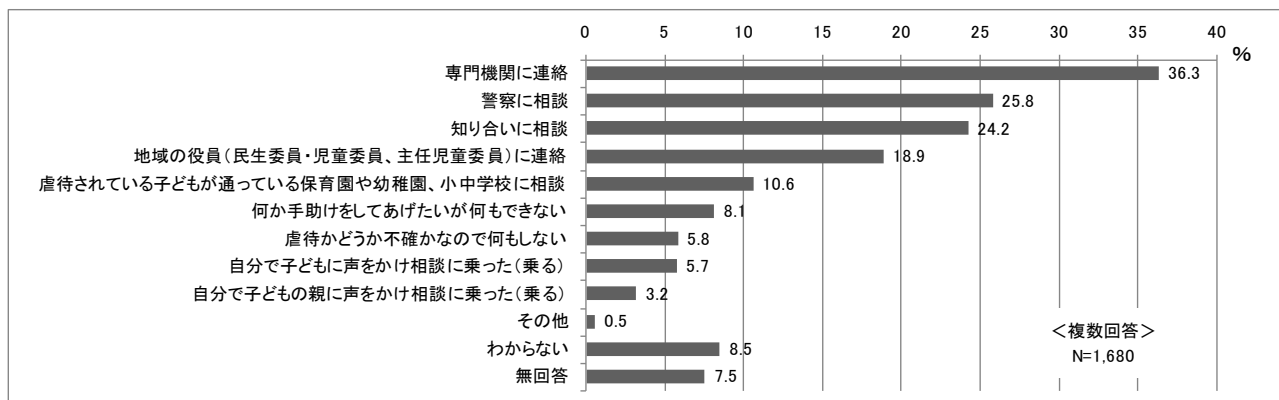
		合計	問20 保護者による児童虐待について																
			問題だ と思う	長を傷 つける 心や重 大な成	子どもの 意識は 低いか	保護者の 子育てに 対して	保護者も 孤立し ては援	ないか	を求め ている のでは	ある一 部の特 別な人	子どもの 虐待に 関する	親権を 認めな いなど	は問題 だと思 う	子育て 中の保 護者に 関する	ない近 所では 見聞き	身近な 人でも ピンと こない	その他	分から ない	無回答
問28 年齢（統 合）	全体	1607	87.0	55.8	44.9	17.7	26.4	45.4	9.1	4.5	1.7	1.4							
	10代	50	76.0	40.0	30.0	20.0	22.0	12.0	12.0	2.0	2.0	0.0							
	20代	102	86.3	48.0	41.2	12.7	18.6	39.2	7.8	3.9	2.0	0.0							
	30代	223	88.8	44.4	51.6	10.3	25.6	57.4	4.5	3.6	2.7	0.0							
	40代	279	84.6	45.9	49.5	11.5	23.7	53.0	4.7	6.1	1.1	1.1							
	50代	237	90.3	59.9	52.7	16.0	33.8	54.4	4.6	3.0	2.5	0.4							
	60代	314	90.4	70.1	49.0	18.8	30.9	46.2	8.6	3.8	1.0	0.6							
	70代	277	87.0	63.5	36.1	24.9	23.1	38.3	18.1	7.2	1.1	1.4							
	80代以上	112	82.1	50.0	26.8	33.9	25.9	24.1	19.6	2.7	2.7	7.1							

**問 21 あなたは、児童虐待を見たり感じたりした時にどのように対応しましたか。又は、どう対応しますか。(〇はいくつでも) (1と回答した場合、A～Cの中から選択して回答—複数選択可)**

- ・「専門機関に連絡」が 38.1%で最も多く、4 割近くの人が挙げている。次いで「警察に相談」(27.2%)、「知り合いに相談」(20.9%)、「地域の役員(民生委員・児童委員、主任児童委員)に連絡」(20.8%)と、適切な機関への連絡をそれぞれ 2 割以上の人が挙げている。「何か手助けをしてあげたいが何もできない」は 17.3%である。
- ・専門機関については、「戸塚区役所こども家庭支援課」(50.7%)、「よこはま子ども虐待ホットライン」(23.5%)、「南部児童相談所」(9.5%)となっている。
- ・平成 23 年度調査でも、上位 3 位は「専門機関に連絡」(36.3%)、「警察に相談」(25.8%)、「知り合いに相談」(24.2%)と同様の傾向となっているが、「何か手助けをしてあげたいが何もできない」が 9.2 ポイント増加して、前回 7 位から今回 5 位に上昇している。専門機関については、順位は変わらないが、「よこはま子ども虐待ホットライン」が 12 ポイント減少している。



**参考) 平成 23 年度調査結果**



## ■ 男女別 児童虐待を見たり感じたりした時の対応（問 21×問 27）

- ・男女とも「専門機関に連絡」が最も多くなっている。また、男性は「警察に相談」が女性より 10 ポイント高く、女性は「知り合いに相談」が男性より 11 ポイント高くなっている。

図 男女別 児童虐待を見たり感じたりした時の対応

		合計	問21 児童虐待を見たり感じたりした時の対応													
			専門機関に連絡	児童委員（民生委員）に連絡	地域の役員（民生委員）に連絡	警察に相談	知り合いに相談	校に相談	園や幼稚園、小中学校に相談	虐待されている子ども（乗る）	自分で子どもに声をかけ相談に乗った（乗る）	自分で子どもに声をかけ相談に乗った（乗る）	虐待かどうか不確か	いざという時に助けを求めない	その他	分からない
問27 性別	全体	1607	38.1	20.8	27.2	20.9	10.1	5.7	2.4	9.0	17.3	4.0	8.3	7.4		
	男性	697	38.7	18.9	32.9	14.9	9.0	5.2	2.6	8.8	14.6	4.2	9.2	7.0		
	女性	881	38.1	22.4	22.9	25.9	11.2	6.2	2.3	9.3	19.6	4.0	7.8	6.8		

## ■ 年齢別 児童虐待を見たり感じたりした時の対応（問 21×問 28）

- ・10代では「知り合いに相談」、20代では「専門機関に連絡」と「警察に相談」が同率、30代から60代までの世代では「専門機関に連絡」、70代と80代以上では「地域の役員（民生委員・児童委員、主任児童委員）に連絡」が最も多くなっている。また、30代で「知り合いに相談」、70代で「地域の役員（民生委員・児童委員、主任児童委員）に連絡」の数値が全体値に比べて高くなっている。
- ・連絡する専門機関としては、10代、20代では「よこはま子ども虐待ホットライン」、30代以上の世代では「戸塚区役所こども家庭支援課」が最も多くなっている。

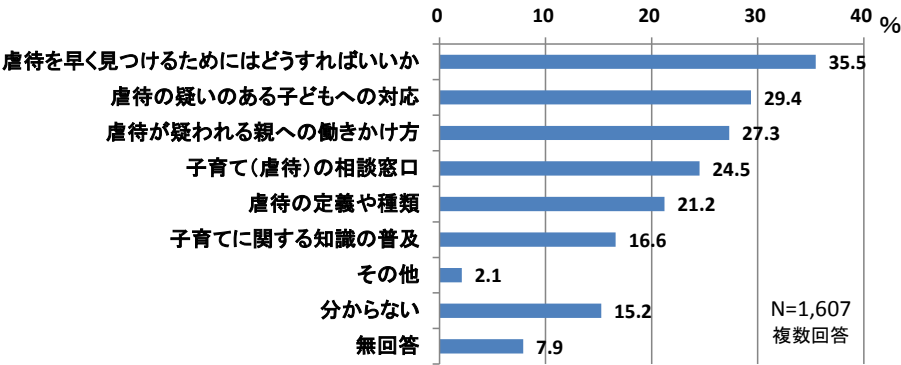
図 年齢別 児童虐待を見たり感じたりした時の対応

		合計	問21 児童虐待を見たり感じたりした時の対応														
			専門機関に連絡	児童委員（民生委員）に連絡	地域の役員（民生委員）に連絡	警察に相談	知り合いに相談	校園や幼稚園、小中学校に相談	虐待されている子ども（乗る）	自分でも声をかけた（乗る）	声をかけ相談に乗った（乗る）	自分でも親に相談に乗った（乗る）	虐待かどうか不確か	いざという時に助けを求めない	その他	分からない	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	38.1	20.8	27.2	20.9	10.1	5.7	2.4	9.0	17.3	4.0	8.3	7.4			
	10代	50	14.0	6.0	36.0	40.0	8.0	8.0	2.0	4.0	18.0	0.0	10.0	2.0			
	20代	102	33.3	7.8	33.3	30.4	10.8	4.9	2.0	15.7	16.7	2.0	8.8	2.0			
	30代	223	41.3	4.5	28.7	34.1	13.0	7.6	2.7	11.2	20.6	4.9	8.1	3.1			
	40代	279	39.8	10.0	21.9	24.7	14.0	7.9	2.5	11.8	17.6	3.6	9.7	3.9			
	50代	237	40.5	19.0	29.5	19.0	9.3	6.3	3.0	11.4	16.0	2.5	8.4	5.5			
	60代	314	42.4	30.9	27.7	15.3	8.9	3.8	2.2	6.4	17.5	4.8	7.0	8.3			
	70代	277	37.5	38.3	27.8	13.0	9.0	5.4	2.2	5.8	16.6	5.8	7.9	10.8			
	80代以上	112	28.6	32.1	22.3	8.9	3.6	1.8	1.8	5.4	15.2	3.6	8.9	19.6			

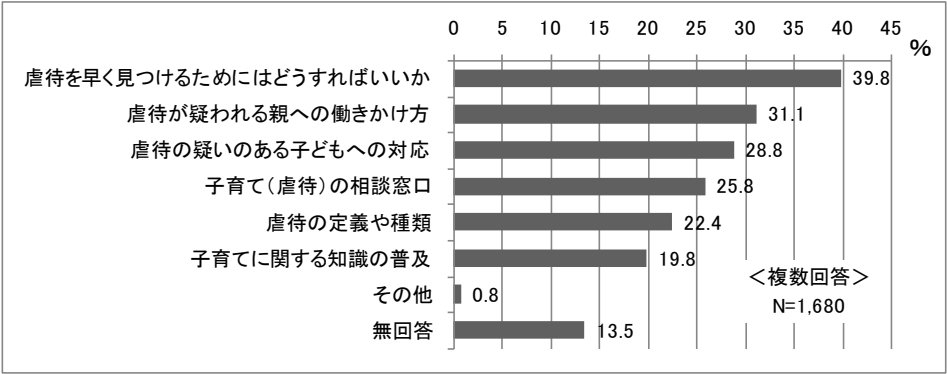
		合計	問21-1 連絡する専門機関			
			南部児童相談所	よこはま子ども虐待ホットライン	戸塚区役所こども家庭支援課	無回答
問28 年齢（統合）	全体	612	9.5	23.5	50.7	29.7
	10代	7	14.3	57.1	42.9	0.0
	20代	34	14.7	50.0	41.2	26.5
	30代	92	8.7	22.8	43.5	37.0
	40代	111	10.8	32.4	45.9	27.0
	50代	96	15.6	28.1	42.7	31.3
	60代	133	7.5	19.5	51.1	31.6
	70代	104	3.8	9.6	65.4	26.9
	80代以上	32	6.3	9.4	68.8	28.1

**問 22 あなたは、児童虐待についてどのようなことを知りたいですか。（〇はいくつでも）**

- ・「虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか」が 35.5%で最も多く、以下「虐待の疑いのある子どもへの対応」（29.4%）、「虐待が疑われる親への働きかけ方」（27.3%）、「子育て（虐待）の相談窓口」（24.5%）、「虐待の定義や種類」（21.2%）などと続き、回答は分散した。
- ・平成 23 年度調査と比較すると、「虐待が疑われる親への働きかけ方」が 3.8 ポイント減少して 2 位から 3 位に後退するなど細かい順位の入れ替わりはあるものの、「虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか」が最も多いことは変わらず、傾向は概ね同様となっている。また、今年度調査では「分からない」が選択肢に新設され、15.2%となっている。



参考) 平成 23 年度調査結果



**男女別 児童虐待について知りたいこと（問 22×問 27）**

- ・男女とも「虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか」が最も多くなっている。また女性は男性より「虐待の疑いのある子どもへの対応」が 10.1 ポイント、「虐待が疑われる親への働きかけ方」が 7.5 ポイント、「子育て（虐待）の相談窓口」が 7.1 ポイント高く、児童虐待に気づいた場合の具体的な行動への関心が高くなっている。男性は「虐待の定義や種類」が女性より 6.3 ポイント高い。

**図 男女別 児童虐待について知りたいこと**

		合計	問22 児童虐待について知りたいこと							
			虐待の定義や種類	いために早く見つけたい	虐待が疑われる親への働きかけ方	虐待の疑いのある子どもへの対応	子育て(虐待)の相談窓口	子育てに関する知識の普及	その他	分からない
全体		1607	21.2	35.5	27.3	29.4	24.5	16.6	2.1	15.2
問27 性別	男性	697	24.8	35.3	23.5	24.1	20.8	15.6	3.0	16.8
	女性	881	18.5	36.0	31.0	34.2	27.9	17.6	1.5	14.1

## ■ 年齢別 児童虐待について知りたいこと（問 22×問 28）

- ・10代では「虐待の定義や種類」、20代から50代までの世代では「虐待の疑いのある子どもへの対応」、60代より上の世代では「虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか」が最も多く、世代により関心事が異なっている。また10代では「子育てに関する知識の普及」の数値が全体値に比べて高くなっている。

図 年齢別 児童虐待について知りたいこと

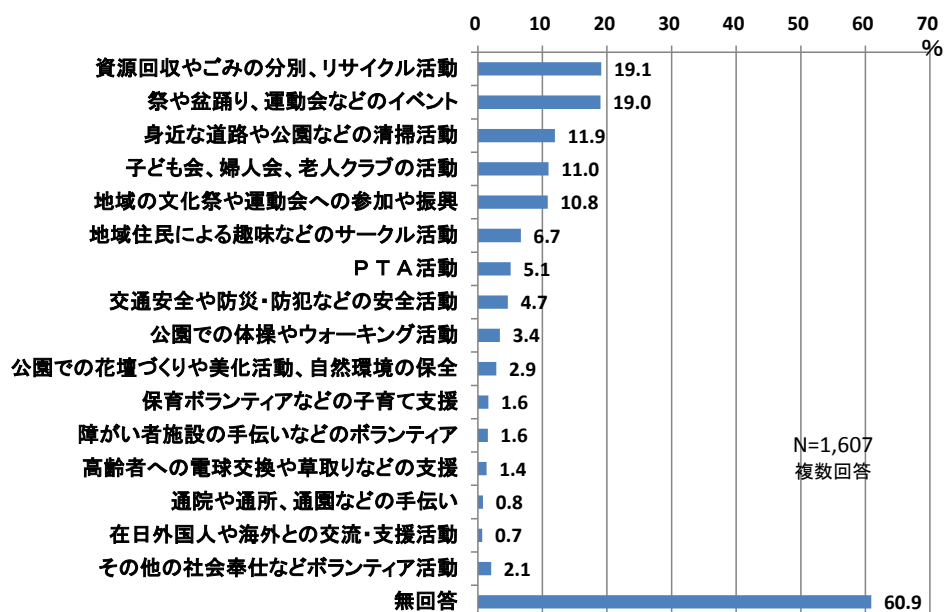
		合計	問22 児童虐待について知りたいこと									
			虐待の定義や種類	いために早く見つけられる	虐待が疑われる親への働きかけ方	虐待への疑いのある子どもへの対応	子育て（虐待）の相談窓口	子育てに関する知識の普及	その他	分からない	無回答	
問28 年齢（統合）	全体	1607	21.2	35.5 <sup>1</sup>	27.3	29.4 <sup>1</sup>	24.5	16.6 <sup>1</sup>	2.1	15.2	7.9	
	10代	50	32.0	28.0	26.0 <sup>1</sup>	30.0	20.0	28.0	2.0	20.0 <sup>1</sup>	0.0	
	20代	102	25.5	28.4 <sup>1</sup>	31.4	35.3	32.4	23.5 <sup>1</sup>	2.0	14.7	2.0	
	30代	223	22.4 <sup>1</sup>	31.4	37.2 <sup>1</sup>	45.3	27.8 <sup>1</sup>	23.3	2.7	13.5 <sup>1</sup>	0.9	
	40代	279	16.5	28.7 <sup>1</sup>	34.4	36.2	23.3	12.5 <sup>1</sup>	2.9	14.3	5.0	
	50代	237	19.0 <sup>1</sup>	34.2	32.1	35.4	25.7 <sup>1</sup>	13.5	1.3	11.4 <sup>1</sup>	7.6	
	60代	314	24.2	45.5	26.4	24.8 <sup>1</sup>	27.7	16.2 <sup>1</sup>	2.2	13.7	7.6	
	70代	277	21.7	39.7	15.9 <sup>1</sup>	16.6	20.2	15.2	1.4	20.2	14.4	
	80代以上	112	17.9	36.6	10.7	8.9 <sup>1</sup>	16.1	14.3 <sup>1</sup>	2.7	19.6	17.9	

## 9. 地域活動について

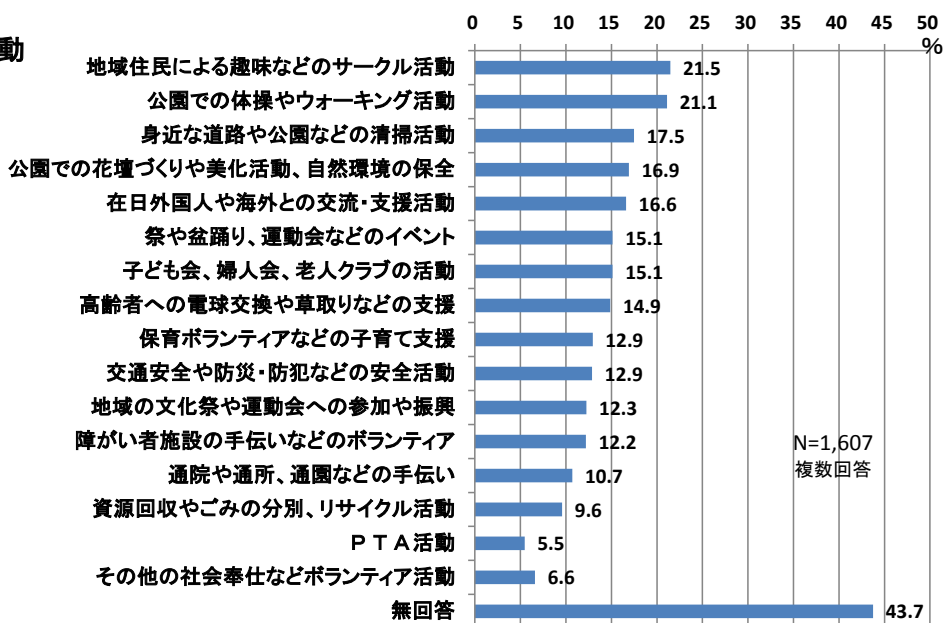
### 問 23 地域では様々な活動が行われていますが、現在参加している活動、今後参加してみたい活動はそれぞれどれですか？（それぞれについて、○はいくつでも）

- ・現在参加している活動は「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」が 19.1%で最も多く、以下「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(19.0%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(11.9%)、「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」(11.0%)、「地域の文化祭や運動会への参加や振興」(10.8%) が上位 5 位となっている。
- ・今後参加してみたい活動は「地域住民による趣味などのサークル活動」が 21.5%で最も多く、以下「公園での体操やウォーキング活動」(21.1%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(17.5%)、「公園での花壇づくりや美化活動、自然環境の保全」(16.9%)、「在日外国人や海外との交流・支援活動」(16.6%) が上位 5 位となっている。

#### 現在参加している活動



#### 今後参加してみたい活動



■ 男女別 現在参加している地域の活動、今後参加してみたい地域の活動（問23×問27）

- ・現在参加している活動は、男性は「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、女性は「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」が最も多くなっている。
- ・今後参加してみたい活動としては、男女とも「地域住民による趣味などのサークル活動」が最も多い。

図 男女別 現在参加している地域の活動

		合計	問23-1 現在参加している地域の活動																			
			子ども会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者への電球交換や草取りなどの支援	障がい者施設の手伝いなどのボランティア	通院や通所、通園などの手伝い	清掃活動	身近な道路や公園などの参加や振興	地域の文化祭や運動会への参加	公園での体操やウォーキング活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	化活動、自然環境の保全	公園での花壇づくりや美化活動	在日外国人や海外との交流・支援活動	P T A 活動	子育て支援	保育ボランティアなどの活動	交通安全や防災・防犯などの安全活動	地域住民による趣味などのサークル活動	その他の社会奉仕などボランティア活動	無回答
問27 性別	全体	1607	11.0	1.4	1.6	0.8	11.9	10.8	3.4	19.0	19.1	2.9	0.7	5.1	1.6	4.7	6.7	2.1	60.9			
	男性	697	6.9	2.0	1.3	0.9	12.3	11.2	4.4	13.2	18.1	3.4	0.7	3.3	0.6	5.6	5.6	1.9	62.7			
	女性	881	14.2	0.8	1.8	0.7	12.0	10.9	2.7	19.6	20.1	2.5	0.7	6.7	2.4	4.1	7.4	1.9	59.0			

図 男女別 今後参加してみたい地域の活動

		合計	問23-2 今後参加してみたい地域の活動																			
			子ども会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者への電球交換や草取りなどの支援	障がい者施設の手伝いなどのボランティア	通院や通所、通園などの手伝い	清掃活動	身近な道路や公園などの参加や振興	地域の文化祭や運動会への参加	公園での体操やウォーキング活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	化活動、自然環境の保全	公園での花壇づくりや美化活動	在日外国人や海外との交流・支援活動	P T A 活動	子育て支援	保育ボランティアなどの活動	交通安全や防災・防犯などの安全活動	地域住民による趣味などのサークル活動	その他の社会奉仕などボランティア活動	無回答
問27 性別	全体	1607	15.1	14.9	12.2	10.7	17.5	12.3	21.1	15.1	9.6	16.9	16.6	5.5	12.9	12.9	21.5	6.6	43.7			
	男性	697	13.5	15.2	10.2	9.6	19.2	13.3	19.4	15.9	8.8	17.8	17.5	5.6	7.5	14.2	19.8	6.0	46.2			
	女性	881	16.6	14.8	13.8	11.6	16.1	11.5	22.7	14.8	10.1	16.3	16.1	5.2	17.4	11.9	23.3	7.0	40.6			

## ■ 年齢別 現在参加している地域の活動、今後参加してみたい地域の活動（問 23×問 28）

- ・現在参加している活動は、10代、20代と50代、60代では「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」、30代、40代と70代では「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、80代以上では「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」が最も多くなっている。また、40代では「PTA活動」の数値が全体値に比べて高くなっており、世代による特徴が見られた。
- ・今後参加してみたい活動としては、10代から30代までの世代では「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、40代から60代までの世代では「地域住民による趣味などのサークル活動」、70代以上の世代では「公園での体操やウォーキング活動」が最も多く、世代による特徴が表れている。また、10代、20代ではその他にも全体値を10ポイント以上上回っている項目が多く、若い世代での地域活動への参加意欲がうかがわれる。

図 年齢別 現在参加している地域の活動

		問23-1 現在参加している地域の活動																					
		合計	子どもの会、婦人会、老人クラブの活動	取り手高障の などのボランティア	障がい者施設の手伝いなどのボランティア	手伝い、通所、通園などの通院や通所、通園などの清掃活動	身近な道路や公園などの参加や振興	地域の文化祭や運動会への参加や振興	公園での体操やウォーキング活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	リサイクル活動	資源回収やごみの分別、資源回収やごみの分別、	化活動、自然環境の保全	公園での花壇づくりや美化活動	流・支援活動	在日外国人や海外との交流・支援活動	P T A 活動	子育て支援	保育ボランティアなどの安全活動	交通安全や防災・防犯などの安全活動	地域の住民による趣味などのサークル活動	その他の社会奉仕などボランティア活動	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	11.0	1.4	1.6	0.8	11.9	10.8	3.4	19.0	19.1	2.9	0.7	5.1	1.6	4.7	6.7	2.1	60.9				
	10代	50	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0	8.0	2.0	18.0	24.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	4.0	0.0	68.0				
	20代	102	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	1.0	0.0	8.8	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.3				
	30代	223	11.7	0.0	0.4	0.9	8.1	12.1	0.9	23.3	21.1	0.9	1.3	10.3	3.6	2.2	2.7	0.4	58.7				
	40代	279	14.7	0.4	0.4	0.0	13.6	15.4	1.8	25.1	23.3	1.4	0.7	16.8	2.9	5.7	1.8	1.8	55.2				
	50代	237	8.4	0.8	2.1	0.4	11.4	8.9	0.8	18.1	21.1	3.0	0.4	4.6	0.9	5.1	7.2	2.5	61.6				
	60代	314	7.6	1.3	2.5	1.6	17.2	8.9	5.4	17.5	20.7	4.1	0.6	9.0	1.3	5.4	7.0	1.6	61.1				
	70代	277	17.0	4.7	2.5	1.1	14.4	15.5	9.0	20.2	17.3	6.1	0.7	0.4	1.1	6.9	16.2	4.3	52.3				
	80代以上	112	16.1	1.8	0.9	0.0	9.8	6.3	2.7	8.9	8.9	2.7	0.9	0.0	0.9	4.5	8.9	3.6	70.5				

図 年齢別 今後参加してみたい地域の活動

		合計	問23-2 今後参加してみたい地域の活動																								
			子どもの会、婦人会、老人クラブの活動	取手など高齢者のための支援活動や草	障がい者の施設の手伝いなど	手伝いや通所、通園などの	清掃活動	身近な道路や公園などの	の参加や振興	地域の文化祭や運動会への	公園での体操やウォーキング活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	リサイクル活動	資源回収やごみの分別、	化活動、自然環境の保全	公園での花壇づくりや美	流・支援活動	在日外国人や海外との交	P T A 活動	子育て支援	保育ボランティアなどの	交通安全や防災・防犯などの安全活動	のサークル活動	地域住民による趣味などの	ランディア活動	その他の社会奉仕など	無回答
問28 年齢（統合）	全体	1607	15.1	14.9	12.2	10.7	17.5	12.3	21.1	15.1	9.6	16.9	16.6	5.5	12.9	12.9	21.5	6.6	43.7								
	10代	50	24.0	32.0	32.0	20.0	34.0	30.0	30.0	44.0	18.0	32.0	38.0	20.0	26.0	22.0	30.0	22.0	20.0								
	20代	102	23.5	21.6	20.6	17.6	28.4	26.5	21.6	38.2	20.6	21.6	28.4	6.9	16.7	21.6	23.5	5.9	30.4								
	30代	223	22.9	15.2	15.7	11.2	22.4	18.8	20.2	28.3	8.5	17.0	21.5	8.1	21.5	15.2	22.4	5.4	31.8								
	40代	279	10.4	15.8	14.0	12.9	13.6	11.5	19.7	16.8	10.0	16.1	21.1	5.7	16.8	12.2	21.9	7.9	39.4								
	50代	237	10.5	13.5	10.5	8.9	16.5	8.0	17.3	9.7	11.8	14.8	18.1	3.8	10.1	10.5	21.5	5.1	44.3								
	60代	314	17.5	17.2	11.1	12.7	19.4	12.7	28.0	8.9	8.3	21.3	12.7	4.5	12.7	15.3	31.5	8.0	37.3								
	70代	277	13.4	10.8	7.9	6.5	14.1	5.8	20.6	5.8	6.5	14.8	8.7	4.0	5.8	9.7	14.1	5.4	59.6								
	80代以上	112	8.9	6.3	2.7	3.6	7.1	5.4	14.3	4.5	4.5	7.1	4.5	2.7	2.7	5.4	5.4	2.7	72.3								



## ■ 愛着度別 現在参加している地域の活動、今後参加してみたい地域の活動（問 23×問 38）

- ・現在参加している活動は、愛着度を「感じている」では「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、「分らない」では「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」と「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が同率、それ以外では「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」が最も多くなっている。
- ・今後参加してみたい活動としては、愛着度を「感じている」「どちらともいえない」では「公園での体操やウォーキング活動」、「やや感じている」「あまり感じていない」では「地域住民による趣味などのサークル活動」、「全く感じていない」では「在日外国人や海外との交流・支援活動」、「分らない」では「身近な道路や公園などの清掃活動」と「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が同率となっている。

図 愛着度別 現在参加している地域の活動

		合計	問23-1 現在参加している地域の活動																			
			子ども会、婦人会、老人クラブの活動	取組などの支援	高齢者への電球交換や草	障がい者施設の手伝いなどのボランティア	通伝や通所、通園などの手伝い	清掃活動や公園などの身近な道路や公園などの活動	地域の文化祭や運動会への参加や振興	公園での体操やウォーキング活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	化活動、自然環境の保全	公園での花壇づくりや美化活動	在日外国人や海外との交流・支援活動	P T A 活動	子育て支援	保育ボランティアなどの交通安全や防災・防犯などの安全活動	地域の住民による趣味などのサークル活動	ランディア活動	その他の社会奉仕などボランティア活動	無回答
問38 戸塚区への愛着度	全体	1607	11.0	1.4	1.6	0.8	11.9	10.8	3.4	19.0	19.1	2.9	0.7	5.1	1.6	4.7	6.7	2.1	60.9			
	感じている	569	15.8	2.5	2.6	1.6	14.9	15.8	5.6	25.8	23.0	5.4	0.5	4.9	1.6	8.3	8.1	2.8	54.0			
	やや感じている	536	10.1	0.9	0.9	0.4	12.3	10.4	3.2	19.0	19.4	0.9	1.3	5.6	2.1	2.8	6.7	2.6	59.1			
	どちらともいえない	230	6.5	0.9	1.3	0.9	10.0	4.8	0.9	11.7	15.7	2.2	0.0	4.8	0.4	3.5	7.0	1.3	67.8			
	あまり感じていない	173	6.9	0.6	1.2	0.0	8.1	6.4	1.7	11.6	16.8	1.7	0.6	5.8	2.9	2.3	4.0	0.0	69.4			
	全く感じていない	35	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	5.7	0.0	8.6	14.3	0.0	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	74.3			
	分からない	32	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.8			

図 愛着度別 今後参加してみたい地域の活動

		合計	問23-2 今後参加してみたい地域の活動																						
			子ども会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者への電球交換や草取りなどの支援	障がい者施設の手伝いなどのボランティア	手伝いや通所、通園などの通信	清掃活動や公園などの身近な道路や公園などの参加や振興	地域の文化祭や運動会への参加	公園での体操やウォーキング活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	化活動、自然環境の保全	公園での花壇づくりや美化活動	在日外国人や海外との交流・支援活動	P T A 活動	子育て支援ボランティアなどの保育	交通安全や防災・防犯などの安全活動	地域住民による趣味などのサークル活動	その他の社会奉仕などボランティア活動	無回答					
問38 戸塚区への愛着度	全体	1607	15.1	14.9	12.2	10.7	17.5	12.3	21.1	15.1	9.6	16.9	16.6	5.5	12.9	12.9	21.5	6.6	43.7						
	感じている	569	18.6	19.2	13.7	13.2	19.9	14.2	25.8	16.7	12.3	21.1	18.3	6.3	15.3	15.6	23.4	8.6	40.2						
	やや感じている	536	15.3	13.4	11.4	9.9	17.0	13.4	22.6	16.8	10.4	16.8	17.9	6.2	13.1	11.9	25.4	6.2	38.2						
	どちらともいえない	230	13.0	12.6	10.0	8.3	14.8	10.4	17.0	13.0	5.7	13.5	12.6	3.9	10.0	11.3	15.2	3.5	50.9						
	あまり感じていない	173	6.9	12.1	15.6	11.0	16.2	7.5	12.7	9.2	4.6	12.7	16.8	4.0	11.6	11.0	17.3	6.4	52.0						
	全く感じていない	35	8.6	5.7	8.6	5.7	11.4	11.4	5.7	11.4	8.6	5.7	17.1	2.9	14.3	8.6	5.7	5.7	62.9						
	分からない	32	12.5	12.5	9.4	9.4	15.6	6.3	12.5	15.6	6.3	9.4	3.1	3.1	6.3	9.4	9.4	3.1	65.6						

## ■ 居住意向別 現在参加している地域の活動、今後参加してみたい地域の活動（問 23×問 39）

- ・現在参加している活動は、「住み続ける」では「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、それ以外では「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」が最も多くなっている。
- ・今後参加してみたい活動としては、「住み続ける」では「公園での体操やウォーキング活動」、「たぶん住み続ける」「分らない」では「地域住民による趣味などのサークル活動」、「たぶん移転する」では「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、「移転する」では「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」「祭や盆踊り、運動会などのイベント」「在日外国人や海外との交流・支援活動」が同率となっている。

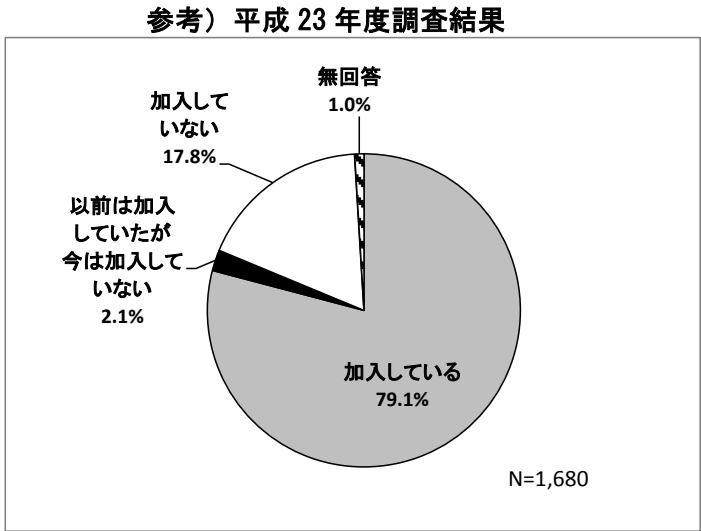
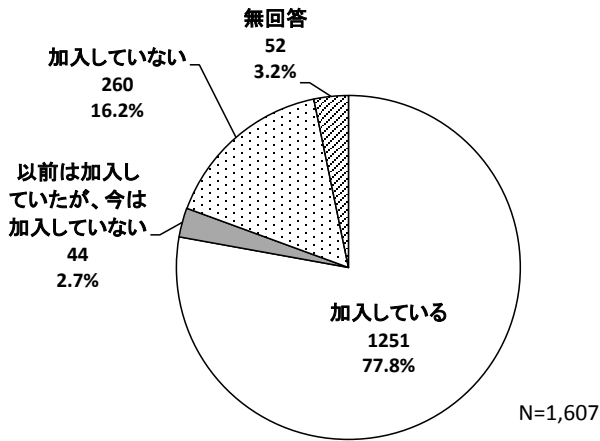
図 居住意向別 現在参加している地域の活動

		合計	問23-1 現在参加している地域の活動																									無回答	
			子ども会、 婦人会、 老人 クラブの活動	取り 手などの 支援	高 齢者への 電球交換や 草	障 がい者 施設の手伝 い	手 伝い	通 院や通所、 通園などの	清 掃活動	身 近な道路や 公園などの	地 域の文化祭 や運動会へ の参加や振 興	公 園での体操 やウォーキ ング活動	祭 や盆踊り、 運動会など のイベント	リ サイクル活動	資 源回収やご みの分別、	化 園での自然 環境の保全	公 園での花壇 づくりや美	流・支 援活動	在 日外国人や 海外との交	P T A活動	子 育て支援	保 育ボランテ ィアなどの	ど の安全活動	交 通安全や防 災・防犯な	のサ ークル活動	地 域住民によ る趣味など	ラン ディア活動		そ の他の社会 奉仕などポ
問39 居住意向	全体	1607	11.0	1.4	1.6	0.8	11.9	10.8	3.4	19.0	19.1	2.9	0.7	5.1	1.6	4.7	6.7	2.1	60.9										
	住み続ける	626	16.0	1.9	2.9	1.6	15.2	15.3	6.2	24.8	20.3	4.2	0.8	5.0	1.6	7.0	8.5	3.5	54.0										
	たぶん住み続ける	626	10.1	1.3	1.1	0.5	11.8	8.6	1.4	17.6	19.2	2.6	0.6	5.6	1.6	3.5	6.4	1.6	61.7										
	たぶん移転する	92	1.1	0.0	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	7.6	16.3	2.2	1.1	7.6	2.2	3.3	2.2	1.1	70.7										
	移転する 分からない	213	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	3.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9										

		合計	問23-2 今後参加してみたい地域の活動																									無回答	
			子ども会、 婦人会、 老人 クラブの活動	取り 手などの 支援	高 齢者への 電球交換や 草	障 がい者 施設の手伝 い	手 伝い	通 院や通所、 通園などの	清 掃活動	身 近な道路や 公園などの	地 域の文化祭 や運動会へ の参加や振 興	公 園での体操 やウォーキ ング活動	祭 や盆踊り、 運動会など のイベント	リ サイクル活動	資 源回収やご みの分別、	化 園での自然 環境の保全	公 園での花壇 づくりや美	流・支 援活動	在 日外国人や 海外との交	P T A活動	子 育て支援	保 育ボランテ ィアなどの	ど の安全活動	交 通安全や防 災・防犯な	のサ ークル活動	地 域住民によ る趣味など	ラン ディア活動		そ の他の社会 奉仕などポ
問39 居住意向	全体	1607	15.1	14.9	12.2	10.7	17.5	12.3	21.1	15.1	9.6	16.9	16.6	5.5	12.9	12.9	21.5	6.6	43.7										
	住み続ける	626	17.1	17.1	11.2	10.5	16.8	11.8	23.6	13.3	9.1	16.8	15.8	6.4	11.5	13.1	20.0	6.7	46.0										
	たぶん住み続ける	626	14.4	14.7	14.7	12.1	19.3	12.5	21.9	15.0	10.2	19.2	17.4	5.8	15.0	13.4	23.3	7.2	40.9										
	たぶん移転する	92	13.0	13.0	10.9	8.7	18.5	18.5	15.2	23.9	13.0	15.2	19.6	4.3	12.0	13.0	21.7	5.4	41.3										
	移転する 分からない	213	22.2	7.4	7.4	3.7	14.8	11.1	14.8	22.2	11.1	7.4	22.2	0.0	11.1	3.7	14.8	3.7	40.7										

**問 24 あなたは自治会町内会に加入していますか。(○は1つ)**

- ・「加入している」が77.8%で最も多く、全体の4分の3以上が自治会町内会に加入している。「以前は加入していたが、今は加入していない」は2.7%、「加入していない」は16.2%となっている。
- ・平成23年度調査と比較しても、傾向にほとんど変化が見られない。



**■ 年齢別 自治会町内会への加入について (問24×問28)**

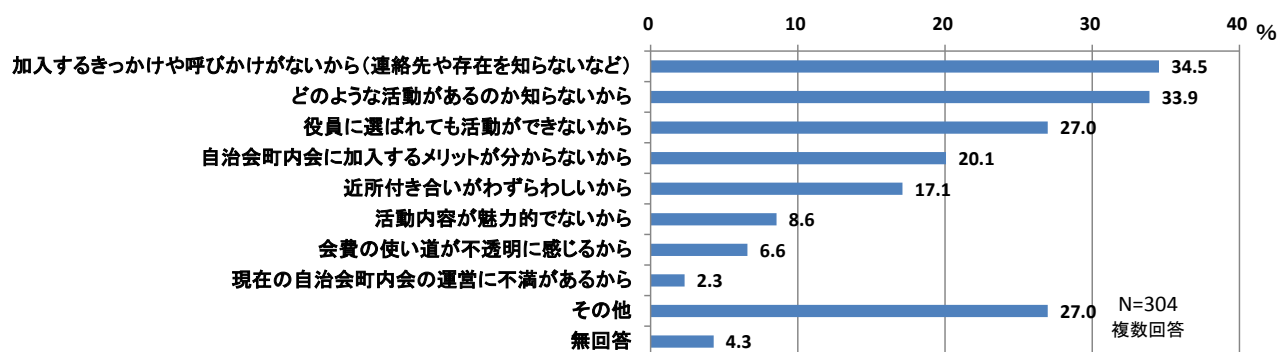
- ・いずれも「加入している」が最も多く、特に高齢世代での数値が高くなっており、60代より上の世代では8割を超えている。一方10代から30代では「加入していない」の数値が全体値に比べて高く、特に10代、20代では3割を超えている。

**図 年齢別 自治会町内会への加入について**

		合計	問24 自治会町内会に加入			
			加入している	以前は加入していたが、今は加入していない	加入していない	無回答
全体		1607	77.8	2.7	16.2	3.2
問28 年齢 (続合)	10代	50	60.0	2.0	36.0	2.0
	20代	102	59.8	1.0	36.3	2.9
	30代	223	67.7	0.4	28.3	3.6
	40代	279	75.6	3.2	17.9	3.2
	50代	237	78.5	4.2	15.6	1.7
	60代	314	88.2	1.6	8.9	1.3
	70代	277	86.3	4.7	5.8	3.2
	80代以上	112	80.4	3.6	8.0	8.0

## 問 25 自治会町内会に加入していない理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

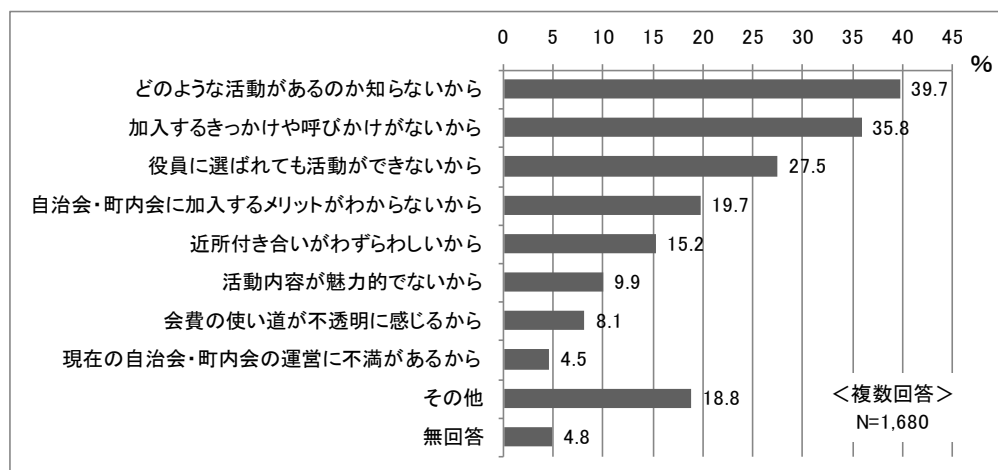
- ・「加入するきっかけや呼びかけがないから(連絡先や存在を知らないなど)」が最も多く 34.5%、次いで「どのような活動があるのか知らないから」が僅差の 33.9%で続いている。以下「役員に選ばれても活動ができないから」(27.0%)、「自治会町内会に加入するメリットが分からないから」(20.1%)、「近所付き合いがわずらわしいから」(17.1%) などと続く。
- ・その他は 27.0%となっており、このうち具体的な記述があったのは 86 件である。最も多かったのは「マンションだから(マンションの管理組合に加入している、マンションが自治会に加入していないなど)」の 35 件である。
- ・平成 23 年度調査と比較すると、前回 1 位だった「どのような活動があるのか知らないから」は 5.8 ポイント減少して 2 位に後退し、「加入するきっかけや呼びかけがないから」が 1 位となった。3 位以降の順位に変動は見られない。



### その他

分類	件数
マンションだから	35
学生、未成年、親が加入しているから	11
健康上の理由で	8
多忙だから、時間がないから	7
自治会がないから	5
入居間もないため	5
自治会の運営に疑問があるから	3
転勤・転居するから	3
関わりたくない、わずらわしい	2
一人暮らしだから	1
申込みを忘れた	1
世帯主ではないから	1
知り合いがいないから	1
入れてもらえなかった	1
必要がない	1
特になし	1
総計	86

### 参考) 平成 23 年度調査結果



■ 年齢別 自治会町内会に加入していない理由（問 25×問 28）

- ・10代では「どのような活動があるのか知らないから」「その他」が同率、20代では「どのような活動があるのか知らないから」、30代と50代では「加入するきっかけや呼びかけがないから（連絡先や存在を知らないなど）」、40代では「役員に選ばれても活動ができないから」、60代は「その他」、70代では「役員に選ばれても活動ができないから」「近所付き合いがわずらわしいから」が同率、80代以上では「活動内容が魅力的でないから」が最も多く、世代で回答が分散した。

図 年齢別 自治会町内会に加入していない理由

		合計	問25 自治会町内会に加入していない理由									
			どのような活動があるのか知らないから	近所付き合いがわずらわしいから	自治会町内会に加入しないから	メリットが分からないなど	加入するきっかけや呼びかけがないから（連絡先や存在を知らないなど）	活動内容が魅力的でないから	役員に選ばれても活動ができないから	会費の使い道が不透明に感じるから	現在の自治会町内会の運営に不満があるから	その他
問28 年齢（統合）	全体	304	33.9	17.1	20.1	34.5	8.6	27.0	6.6	2.3	27.0	4.3
	10代	19	47.4	5.3	10.5	42.1	5.3	15.8	0.0	0.0	47.4	5.3
	20代	38	47.4	15.8	21.1	36.8	5.3	21.1	2.6	0.0	21.1	5.3
	30代	64	46.9	18.8	18.8	48.4	6.3	37.5	10.9	0.0	23.4	0.0
	40代	59	28.8	16.9	25.4	27.1	15.3	30.5	5.1	3.4	27.1	1.7
	50代	47	27.7	19.1	19.1	38.3	4.3	25.5	8.5	8.5	23.4	4.3
	60代	33	33.3	15.2	21.2	27.3	6.1	24.2	9.1	0.0	36.4	3.0
	70代	29	10.3	27.6	20.7	24.1	10.3	27.6	6.9	3.4	24.1	10.3
	80代以上	13	15.4	7.7	15.4	15.4	23.1	7.7	0.0	0.0	15.4	23.1

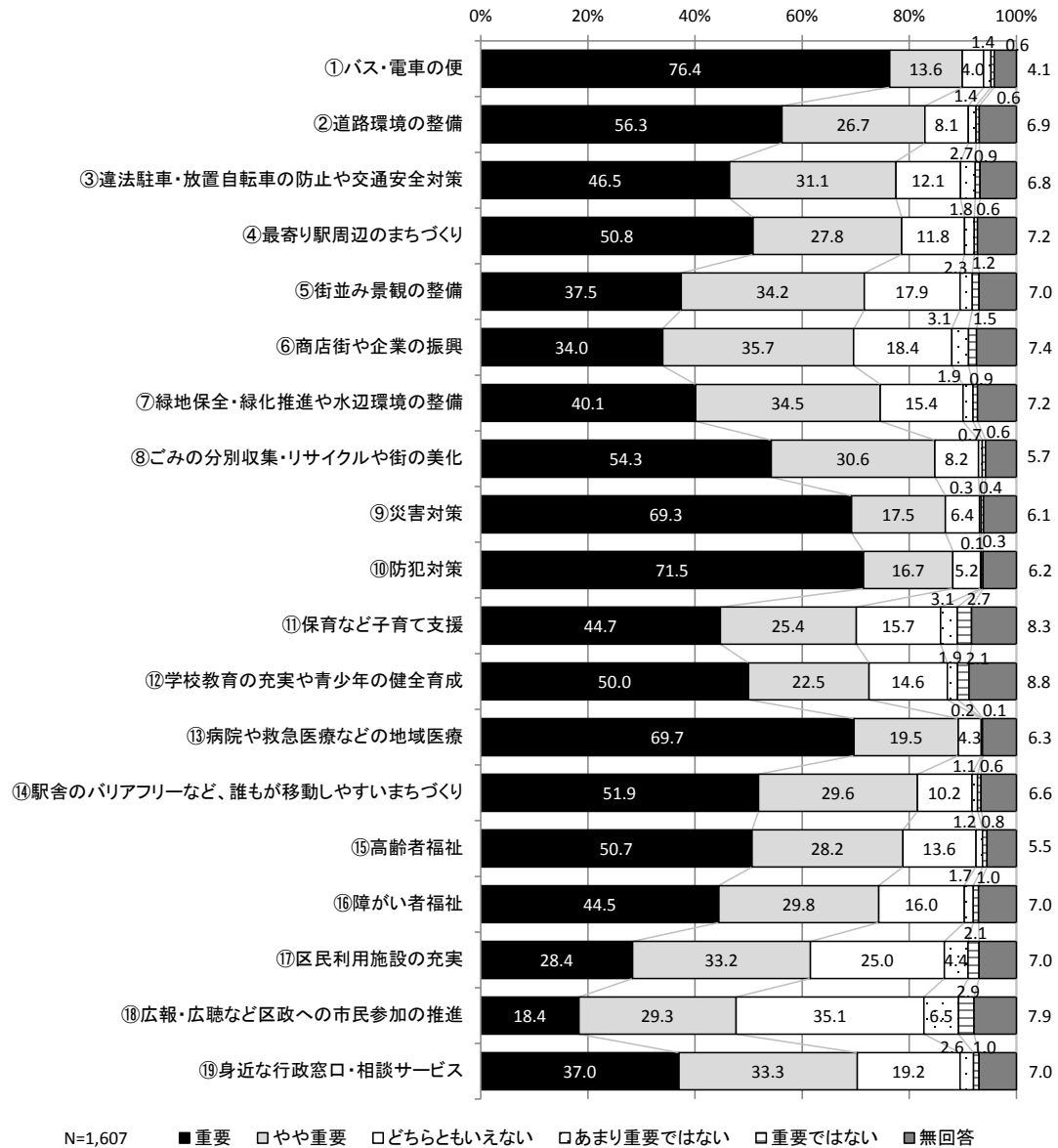
## 10. 生活環境全般に対する重要度・満足度について

問 26 あなたは次（①～⑳）の事柄について、

【1】あなたにとって、どの程度重要だと思いますか。

- ・「⑥商店街や企業の振興」「⑰区民利用施設の充実」では「やや重要」、「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」では「どちらともいえない」が最も多くなっているが、それ以外の項目ではいずれも「重要」が最も多く、特に「①バス・電車の便」「⑨災害対策」「⑩防犯対策」「⑬病院や救急医療などの地域医療」では7割前後の高い数値となっている。
- ・それぞれの項目について、重要とやや重要を合わせて重要度を見てみると、「道路・交通」に関する「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の3項目では、「①バス・電車の便」が約9割となっており全19項目中で最も高い数値を示しているほか、②、③も7～8割台で、重要度は高くなっている。
- ・「まちづくり」に関する2つの項目「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」を見ると、いずれも7割台となっている。
- ・「産業」に関する項目である「⑥商店街や企業の振興」については、7割弱となっている。
- ・「環境」に関する2つの項目をみると、「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」は7割台、「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」は、8割台となっている。
- ・「防犯・防災」に関する「⑨災害対策」「⑩防犯対策」の2項目では、ともに8割台後半の高い数値を示している。
- ・「教育・福祉・医療」に関する6項目については、「⑬病院や救急医療などの地域医療」で9割弱の高い数値を示している。また、「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」で8割台、「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑮高齢者福祉」「⑯障がい者福祉」は7割台となっている。
- ・「行政」に関する3つの項目では、「⑰区民利用施設の充実」では6割台、「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」で5割弱、「⑲身近な行政窓口・相談サービス」は約7割である。

## 生活環境全般に対する重要度

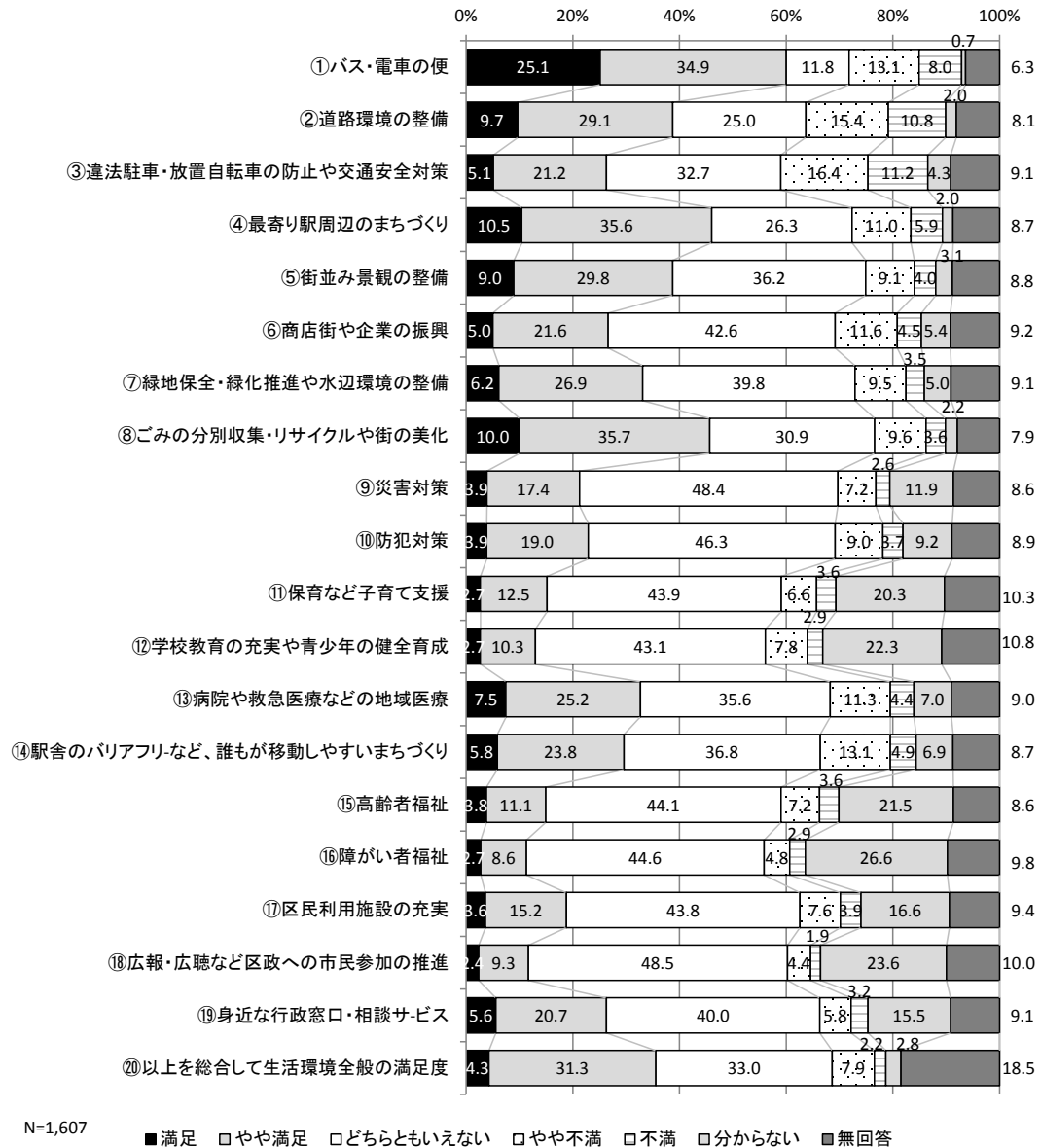


## 【2】現在、どの程度満足していますか。(それぞれについて○は1つ)

- ・「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の4項目で「やや満足」が最も多くなっている以外は、いずれも「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・それぞれの項目について、満足とやや重要を合わせて満足度、不満とやや不満を合わせて不満度を見てみると、「道路・交通」に関する3項目のうち「①バス・電車の便」では満足度が6割に達し、全項目を通じて最も高いほか、「②道路環境の整備」でも満足度が4割弱となっている。一方「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」では不満度が3割弱で、わずかながら満足度を上回っているが、満足度より不満度が高いのは全項目を通して③のみである。
- ・「まちづくり」に関する2つの項目を見ると、「④最寄り駅周辺のまちづくり」では満足度が4割台、「⑤街並み景観の整備」では4割弱と高く、不満度はともに1割台である。
- ・「産業」に関する項目である「⑥商店街や企業の振興」については、満足度が2割台半ば、不満度は1割台半ばとなっている。
- ・「環境」に関する項目では、「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」では満足度が3割台、「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」は、満足度が4割台半ばで、不満度はともに1割台となっている。
- ・「防犯・防災」に関する「⑨ 災害対策」「⑩防犯対策」の2項目では、ともに満足度が2割強、不満度は1割前後となっている。
- ・「教育・福祉・医療」に関する6項目については、「⑬病院や救急医療などの地域医療」では満足度が3割台、「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」で3割弱と比較的高く、不満度は1割台半ばとなっている。「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑮ 高齢者福祉」の3項目では、いずれも満足度が1割台半ば、不満度は約1割である。「⑯障がい者福祉」については満足度が1割強、不満度が1割弱である。
- ・「行政」に関する3つの項目では、「⑰身近な行政窓口・相談サービス」は満足度2割台半ばで不満度は1割弱、「⑱区民利用施設の充実」では満足度が2割弱で不満度は1割強、「⑲広報・広聴など区政への市民参加の推進」は満足度が1割強で不満度は1割弱となっている。
- ・「⑳以上を総合して、生活環境全般の満足度」については、満足度が35.6%、不満度が10.1%と、満足度が不満度を大きく上回っている



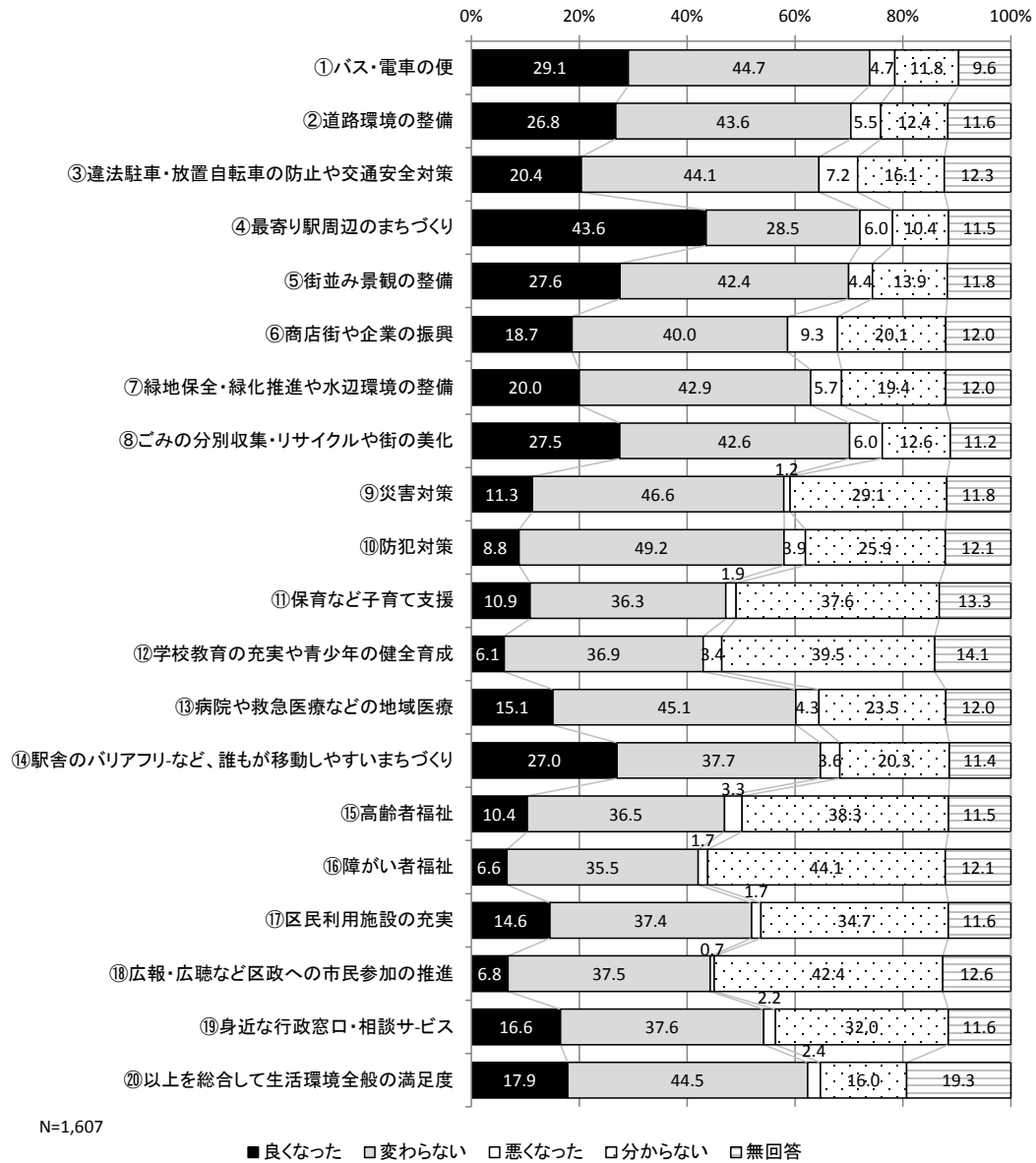
## 生活環境全般に対する満足度



**【3】また、以前に比べてどのように変化していると思いますか。**

- ・「道路・交通」に関する3つの項目では、いずれも「変わらない」が4割台半ばで最も多くなっているが、「①バス・電車の便」では約3割、「②道路環境の整備」では全体の4分の1強、「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」では約2割が「良くなった」としている。
- ・「まちづくり」に関する2つの項目では、「④最寄り駅周辺のまちづくり」で「良くなった」が4割を超える高い数値となっており、全項目を通して「良くなった」が最も多いのは④のみである。「⑤街並み景観の整備」では「変わらない」が最も多く4割強、ついで「良くなった」が3割弱となっている。
- ・「産業」に関する項目である「⑥商店街や企業の振興」については、「変わらない」が4割で最も多い。次いで「分からない」「良くなった」「悪くなった」の順となっている。
- ・「環境」に関する2つの項目では、共に「変わらない」が4割強を占め最も多く、次いで「良くなった」が2～3割となっている。
- ・「防犯・防災」に関する2つの項目は、「⑨ 災害対策」「⑩ 防犯対策」とともに「変わらない」が5割弱を占め最も多く、次いで「分からない」が3割弱を占める。
- ・「教育・福祉・医療」に関する6項目では、「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」では「変わらない」がそれぞれ4割台半ばと3割台半ばで最も多く、それ以外の項目では「分からない」が3割台後半～4割台前半で最も多くなっている。なお「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」については「良くなった」の数値が3割近くに達している。
- ・「行政」に関する3つの項目では、「⑰区民利用施設の充実」「⑱身近な行政窓口・相談サービス」では「変わらない」が共に3割台後半、「⑲広報・広聴など区政への市民参加の推進」では「分からない」が4割台で最も多くなっている。
- ・「⑳以上を総合して、生活環境全般の満足度」の変化については、「変わらない」が44.5%で全体の半分弱を占める。次いで「良くなった」17.9%、「分からない」16.0%、「悪くなった」2.4%の順である。

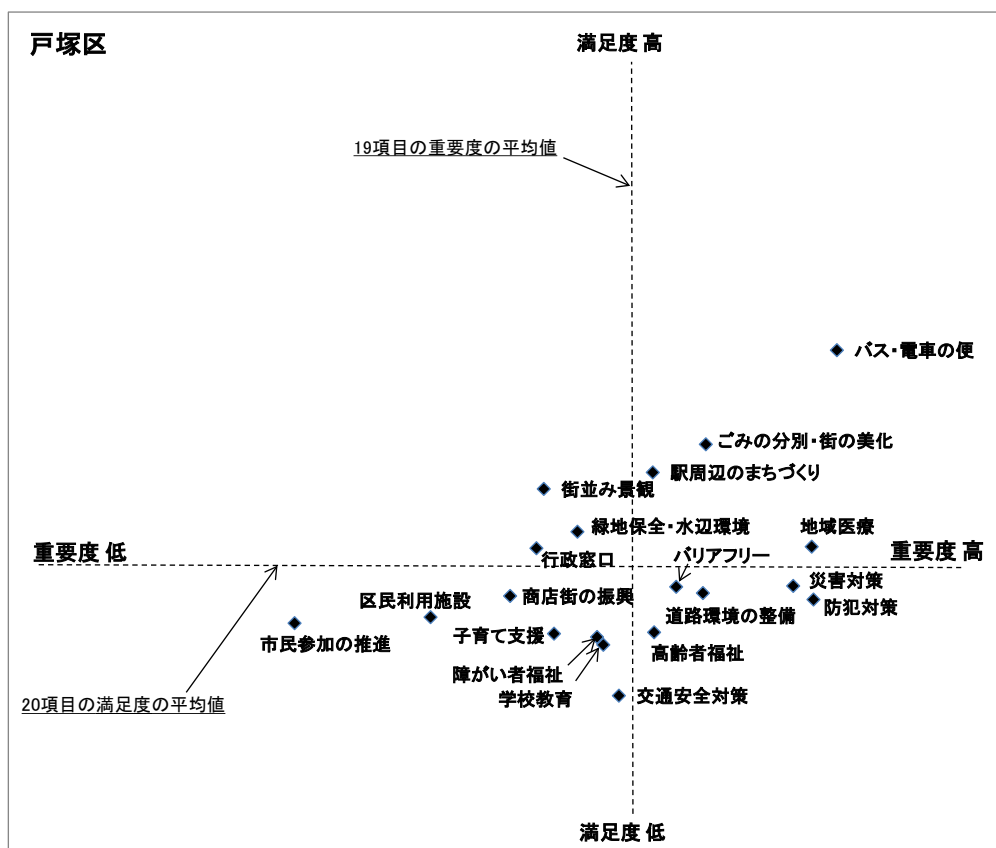
## 以前との比較



## 項目の重要度と満足度の関係

- ・戸塚区民の19項目の指標に関する重要度と満足度を、全19項目の平均値（満足度については全20項目の平均値）を中心にしてその分布を見たものが下図である（満足・重要+2点、やや満足・やや重要+1点、やや不満・あまり重要ではない-1点、不満・重要ではない-2点として項目ごとに重要度、満足度の得点を算出し、重要度、満足度の全項目の平均値を軸に項目間の比較をしたものである）。
- ・グラフ右上のブロックは、重要度も満足度もそれぞれ全項目の平均より高かった項目、すなわち、満足はしているがさらに向上が必要とされている項目で、「①バス、電車の便」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の4項目であった。
- ・グラフ右下のブロックは、満足度は比較的強く重要度の比較的高い項目、すなわち、不満に感じていて向上が期待されている項目で、「⑨災害対策」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「②道路環境の整備」「⑩防犯対策」「⑮高齢者福祉」の5指標であった。
- ・グラフ左上のブロックは、満足度は平均より高いが重要度は平均より低かった項目、すなわち、比較的満足しており向上を図る必要性は他の項目よりも低いとされている項目で、「⑤街並み景観の整備」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑯身近な行政窓口・相談サービス」の3項目であった。
- ・グラフ左下のブロックは、満足度は比較的強く、重要度も比較的低かった項目、すなわち、満足はしていないが、向上がそれほど期待されていない項目で、「⑥商店街や企業の振興」「⑰区民利用施設の充実」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑪保育など子育て支援」「⑫障がい者福祉」「⑬学校教育の充実や青少年の健全育成」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の7項目であった。

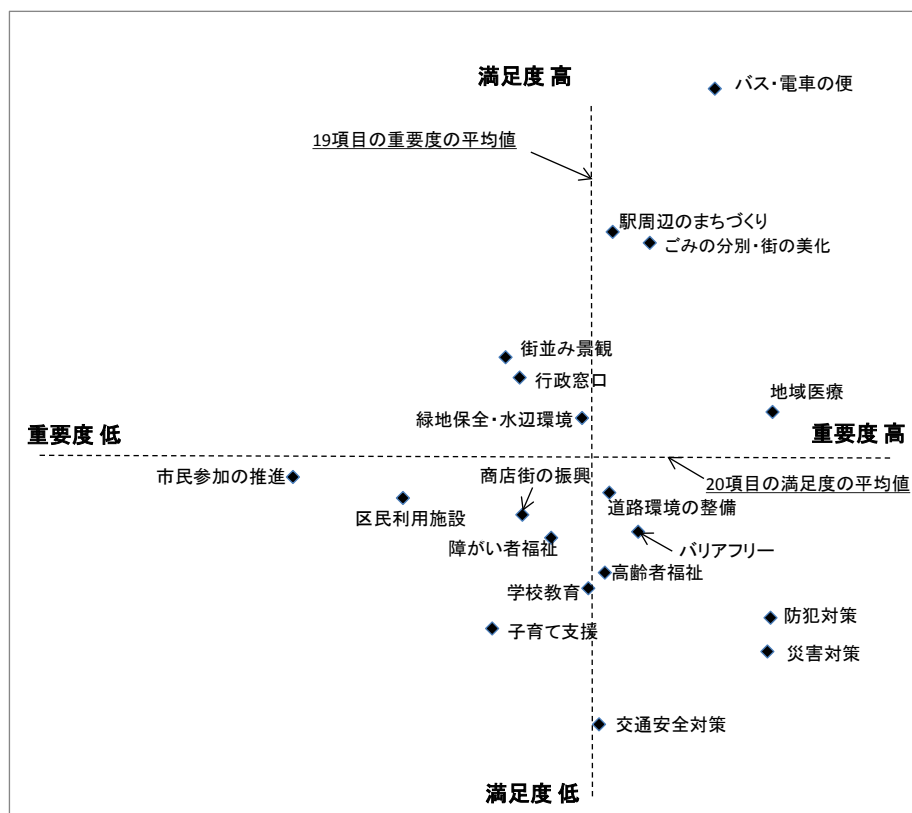
図 施策の重要度【1】と満足度【2】



## ■ 平成 23 年度調査との比較（満足度・重要度）

- ・平成 23 年度調査と今回の調査の結果を比較すると、23 年度調査では、満足度・重要度が共に区全体の平均値よりも高い数値となっているのは、今回と同様「①バス・電車の便」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の 4 項目である。
- ・一方、満足度・重要度が共に区全体の平均値よりも低い数値となっているのは、23 年度調査では「⑥商店街や企業の振興」「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑯障がい者福祉」「⑰区民利用施設の充実」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」の 6 項目であったが、今年度調査ではこれに「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」が加わり 7 項目に変化している。
- ・個別に見ると、23 年度に比べて満足度・重要度共に向上したのは「②道路環境の整備」「⑪保育など子育て支援」「⑮高齢者福祉」「⑯障がい者福祉」「⑰区民利用施設の充実」である。
- ・満足度のみ向上し、重要度は後退したものは「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「⑥商店街や企業の振興」「⑨災害対策」「⑩防犯対策」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」である。
- ・重要度が向上し、満足度は後退したものは「①バス・電車の便」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」である。
- ・満足度・重要度共に後退したものは「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑲身近な行政窓口・相談サービス」である。

図 施策の重要度【1】と満足度【2】(平成 23 年度調査結果)



## ■ 男女・年齢層別 項目の重要度と満足度の関係

### <男女別>

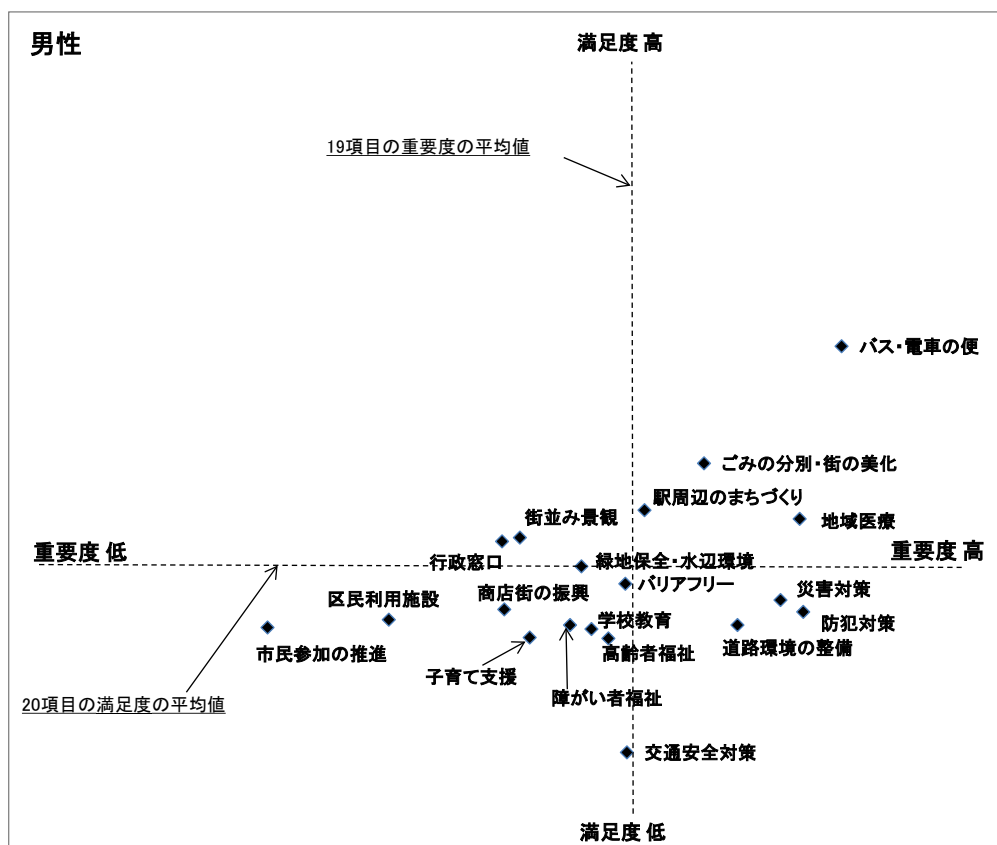
- ・「男性」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の4項目である。
- ・「女性」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の5項目である。

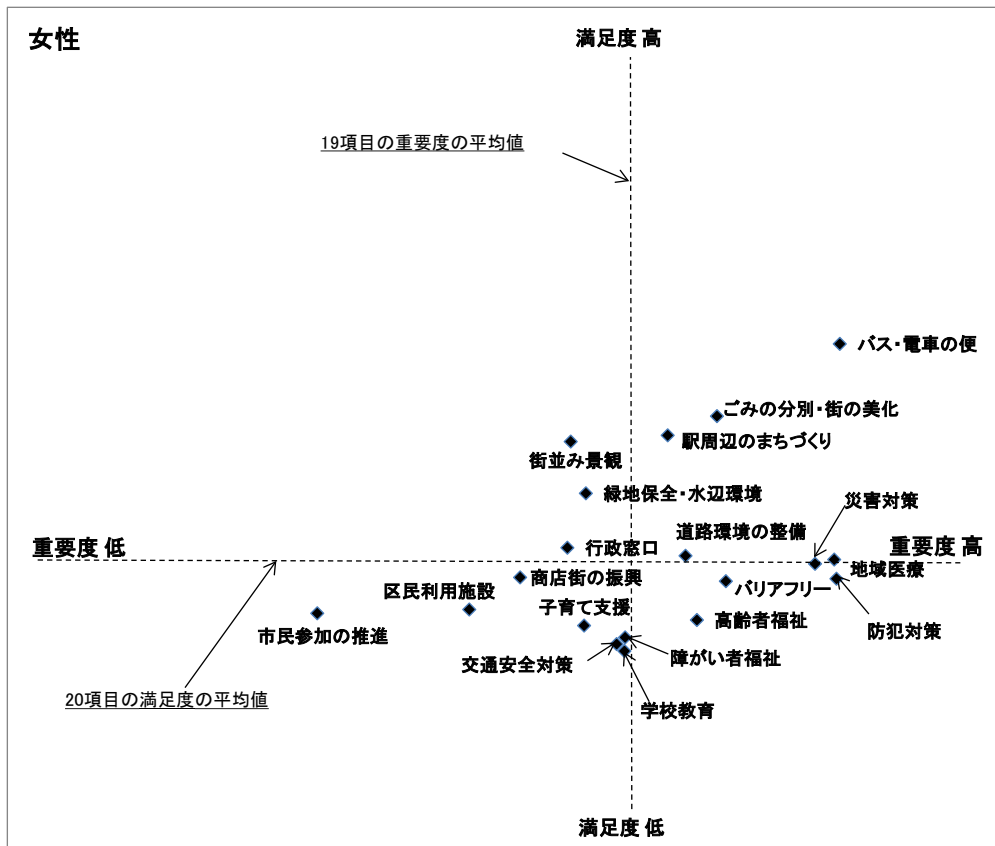
### <年齢層別>

- ・「若年層」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の3項目である。他の年齢層に比べて「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」の重要度が低くなっている。
- ・「中年層」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の3項目である。
- ・「高年層」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑨災害対策」「⑩防犯対策」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の7項目で、他の年齢層に比べて項目数が多いほか、「①バス・電車の便」の満足度が非常に高い。

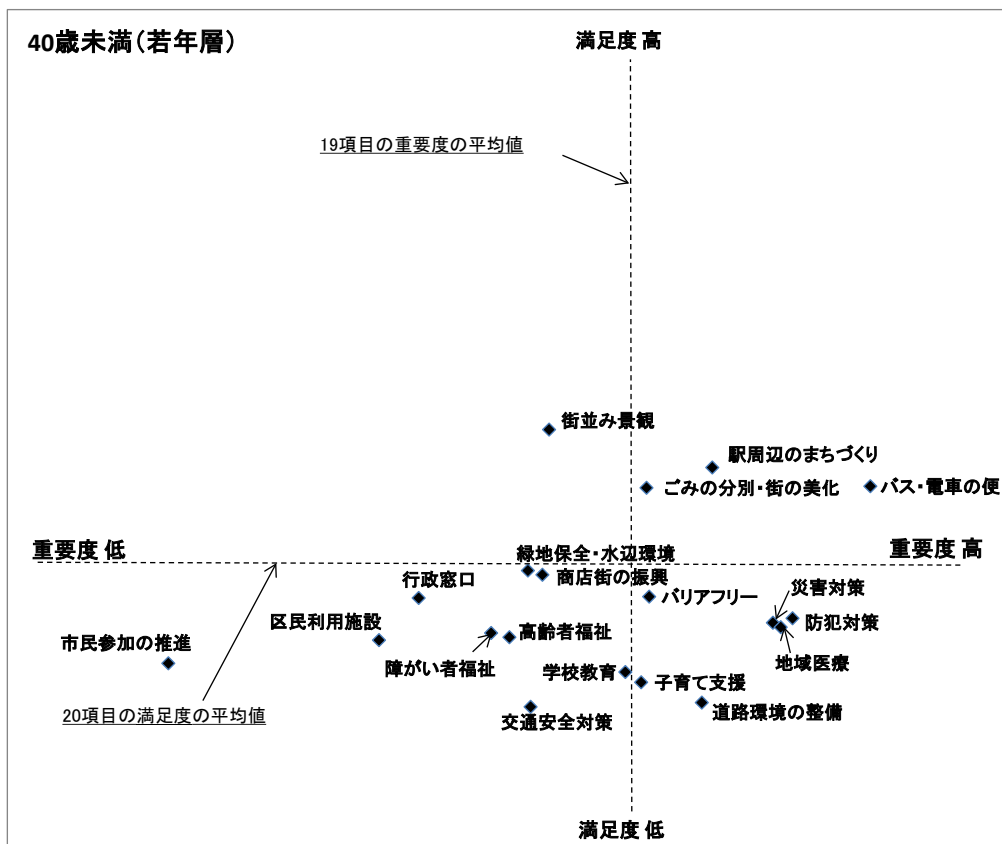
図 男女・年齢層別 項目の重要度と満足度の関係

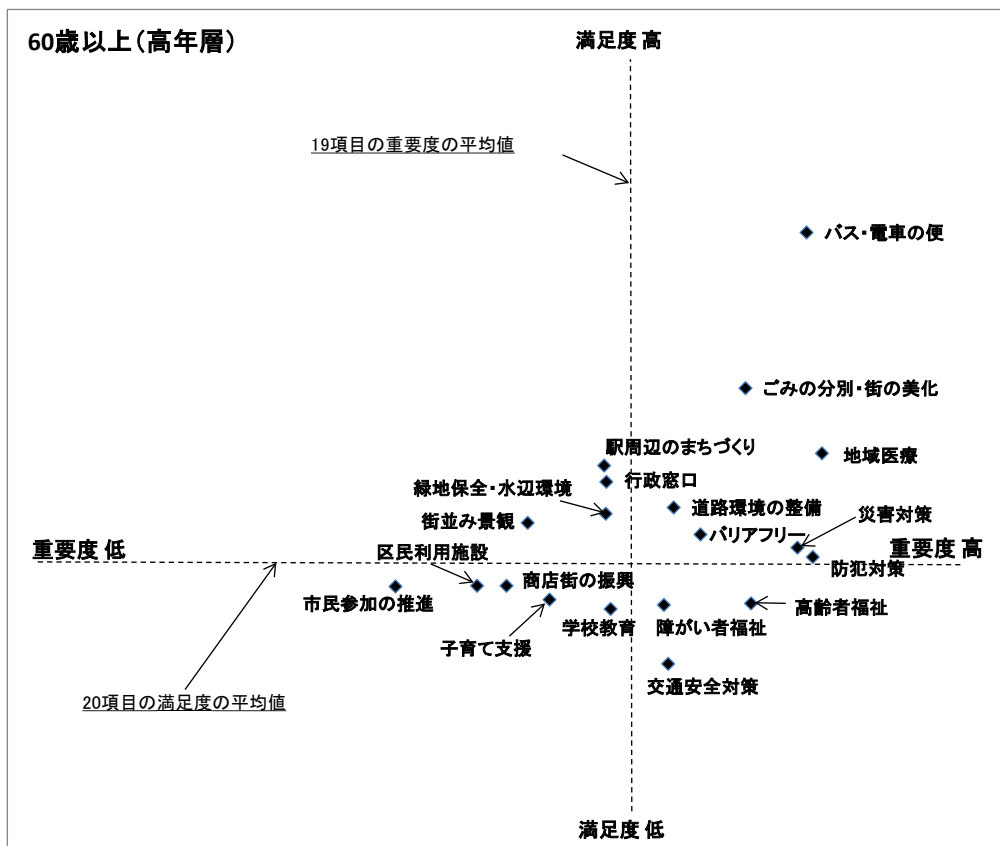
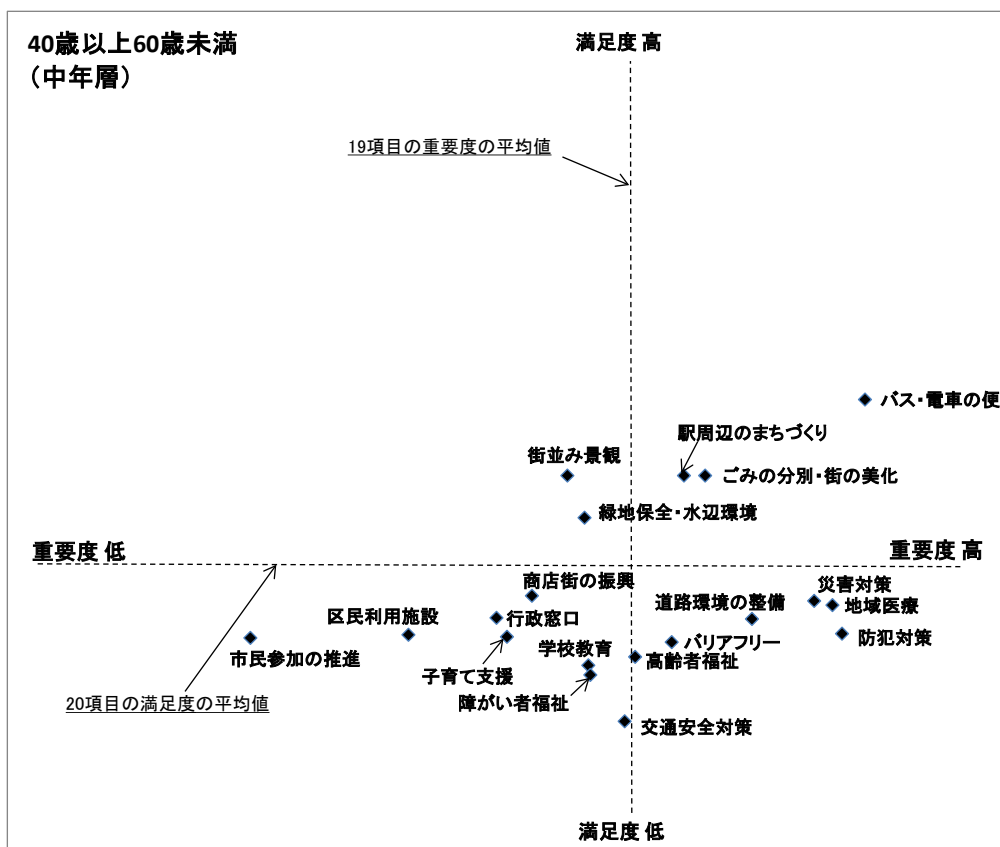
### <男女別>





### <年齢層別>



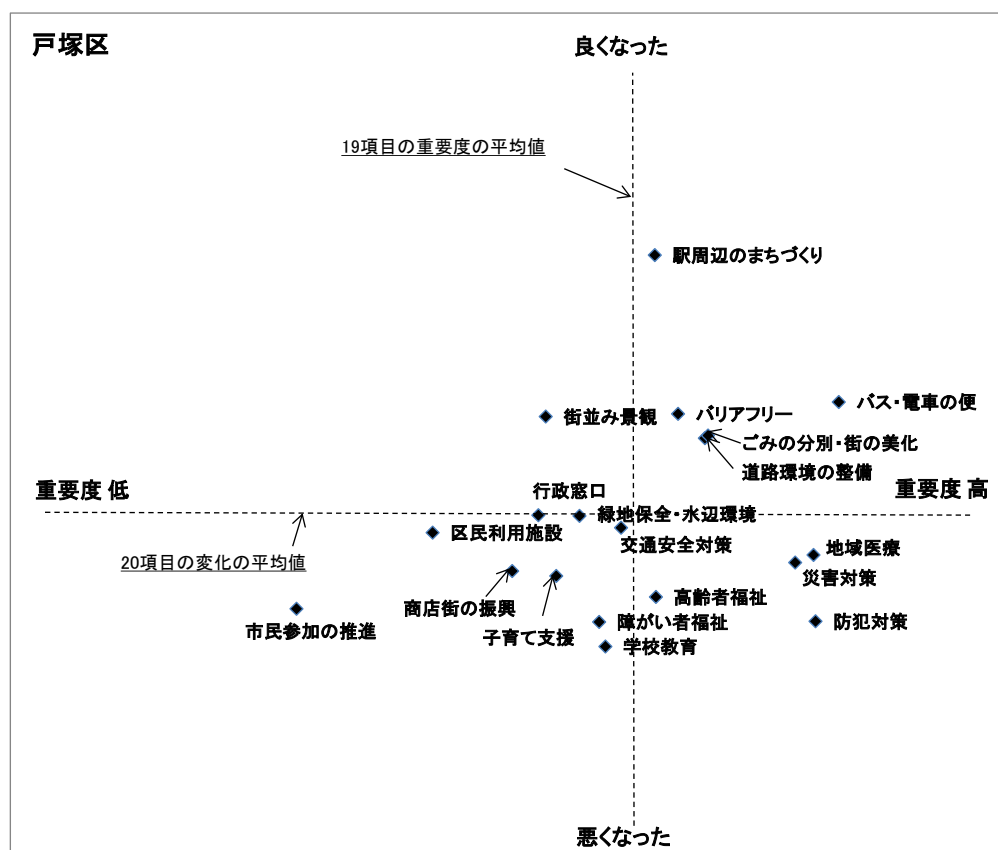




## 項目の重要度と以前に比べた変化との関係

- ・ 戸塚区民の 19 項目の指標に関する重要度と以前に比べた変化を、全 19 項目の平均値（変化については全 20 項目の平均値）を中心にその分布を見たものが下図である（重要+2 点、やや重要+1 点、あまり重要ではない-1 点、重要ではない-2 点、また、良くなった+1 点、悪くなった-1 点として項目ごとに重要度、変化の得点を算出し、重要度、変化の全項目の平均値を軸に項目間の比較をしたものである）。
- ・ 重要度も変化の数値もそれぞれ全項目の平均より高かった項目、すなわち、比較的向上が期待されており、経過も良いとされている項目は、「④最寄り駅周辺のまちづくり」「①バス、電車の便」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「②道路環境の整備」の 5 項目であった
- ・ 変化の数値は比較的低く、重要度の比較的高い項目、すなわち、向上が期待されているにもかかわらず状況があまり好転していない項目は「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑨災害対策」「⑮高齢者福祉」「⑩防犯対策」の 4 項目であった。
- ・ 変化の数値は平均より高いが、重要度は平均より低かった項目、すなわち、状況が好転しているが、向上を図る必要性は他の項目よりも低いとされている項目は、「⑤街並み景観の整備」のみであった。
- ・ 変化の数値は比較的低く、重要度も比較的低かった項目、すなわち、状況は好転していないが、向上がそれほど期待されていない項目は、「⑰身近な行政窓口・相談サービス」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「⑰区民利用施設の充実」「⑥商店街や企業の振興」「⑪保育など子育て支援」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑫障がい者福祉」「⑬学校教育の充実や青少年の健全育成」の 9 項目であった。

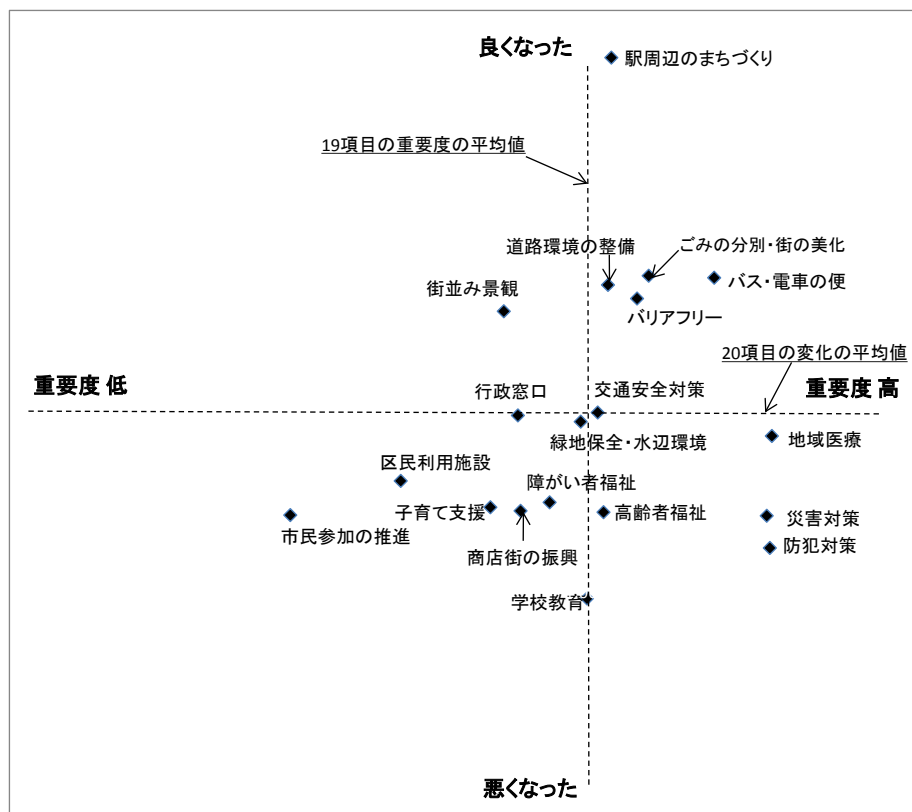
図 施策の重要度【1】と以前に比べた変化【3】



## ■ 平成 23 年度調査との比較（重要度・以前に比べた変化）

- ・ 平成 23 年度調査と今回の調査の結果を比較すると、23 年度調査では、重要度と変化の数値が共に区全体の平均値よりも高い数値となっているのは「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「①バス、電車の便」「②道路環境の整備」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の 6 指標であったが、今年度調査ではこれから「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」がなくなり、5 指標となった。
- ・ 一方、重要度・変化の数値が共に区全体の平均値よりも低い数値となっているのは、23 年度調査では、「⑨身近な行政窓口・相談サービス」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑰区民利用施設の充実」「⑥商店街や企業の振興」「⑪保育など子育て支援」「⑩障がい者福祉」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑬学校教育の充実や青少年の健全育成」の 8 項目であったが、今回はこれに「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」が加わり、9 項目に変化している。
- ・ 個別に見ていくと、23 年度に比べて重要度が向上し、変化の数値も上がったものは「⑪保育など子育て支援」「⑮高齢者福祉」「⑰区民利用施設の充実」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑨身近な行政窓口・相談サービス」である。
- ・ 変化の数値は上がったが重要度は後退したものは「⑥商店街や企業の振興」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑨災害対策」「⑩防犯対策」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」である。
- ・ 重要度が向上し、変化の数値が低下したものは「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑯障がい者福祉」である。
- ・ 重要度が後退し、変化の数値も低下したものは「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」である。

図 施策の重要度【1】と以前に比べた変化【2】(平成 23 年度調査結果)



## ■ 男女・年齢層別 重要度と以前に比べた変化との関係

### <男女別>

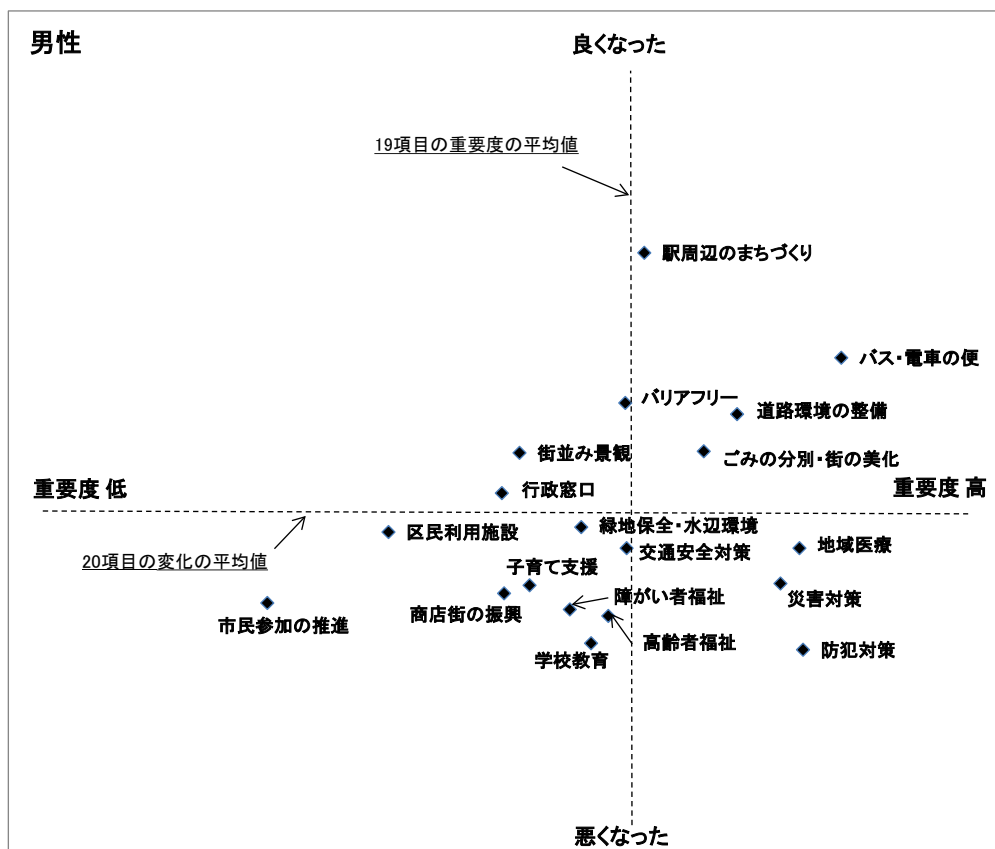
- ・ 「**男性**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の4項目である。
- ・ 「**女性**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の5項目である。

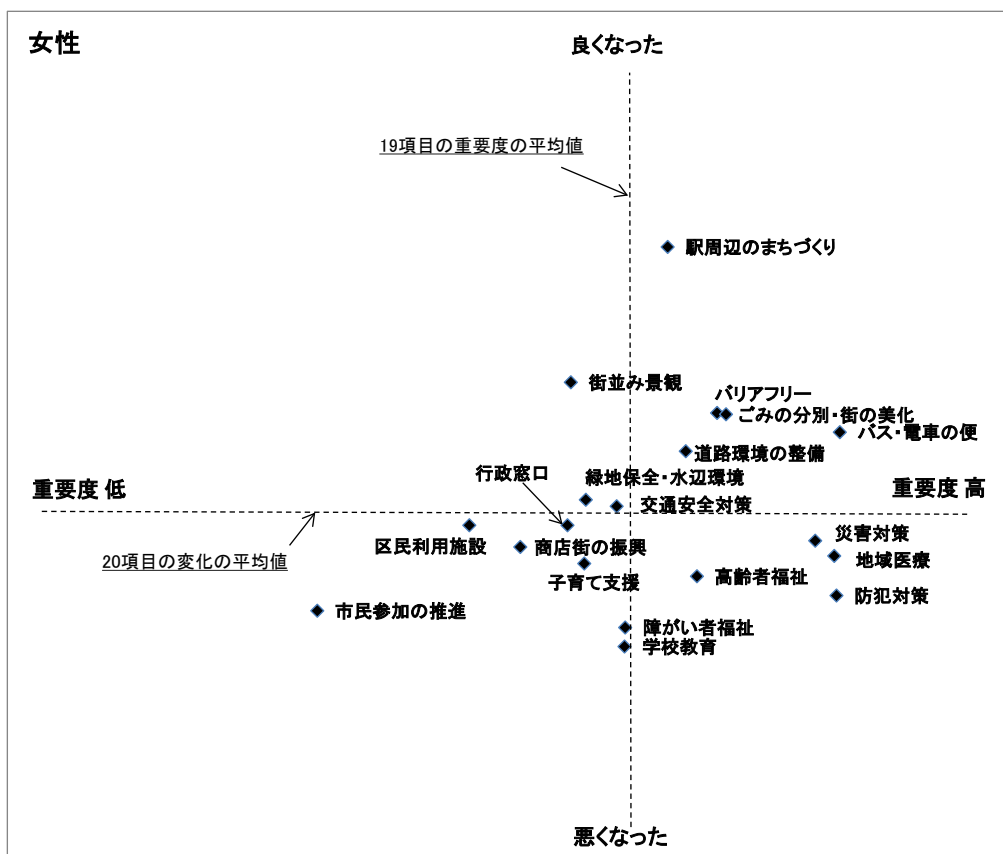
### <年齢層別>

- ・ 「**若年層**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の3項目である。
- ・ 「**中年層**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の5項目である。
- ・ 「**高年層**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の5項目である。

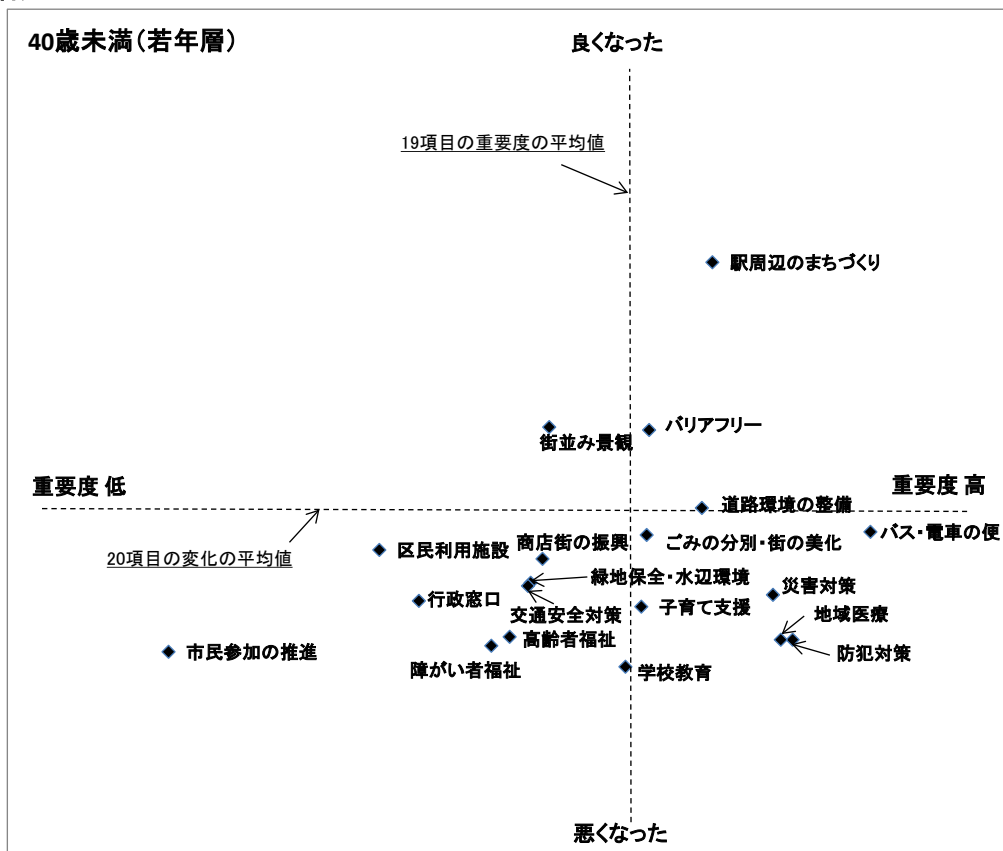
図 男女・年齢層別 項目の重要度と変化の関係

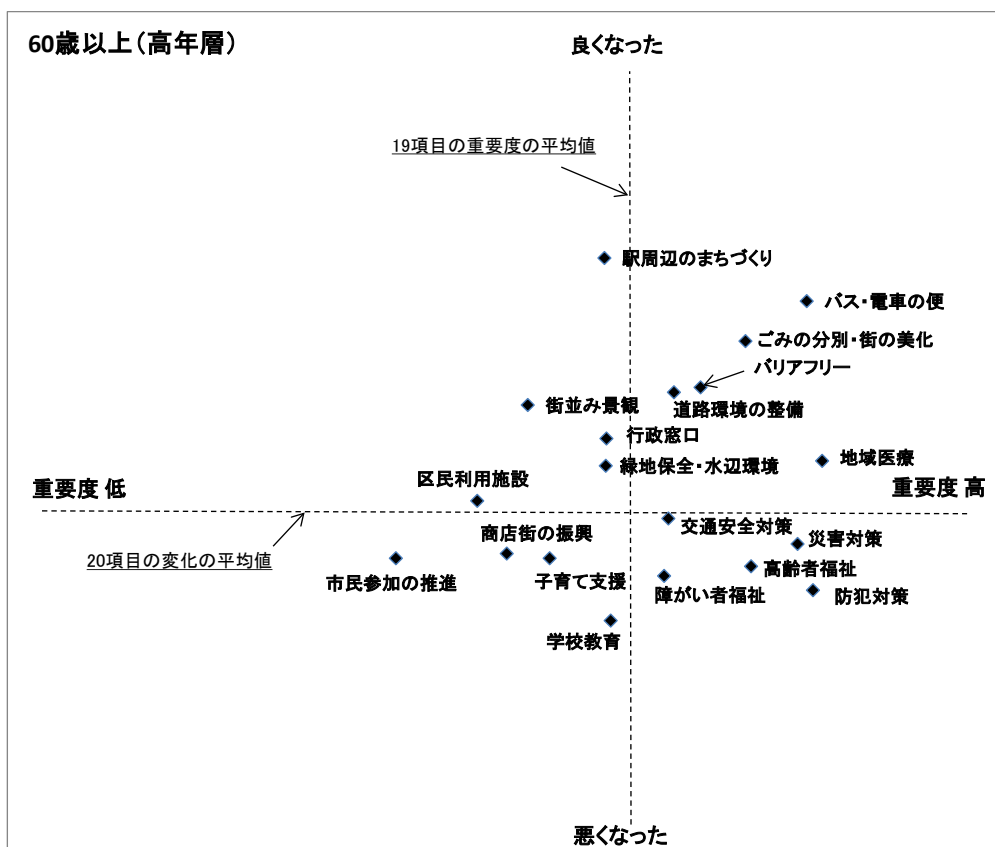
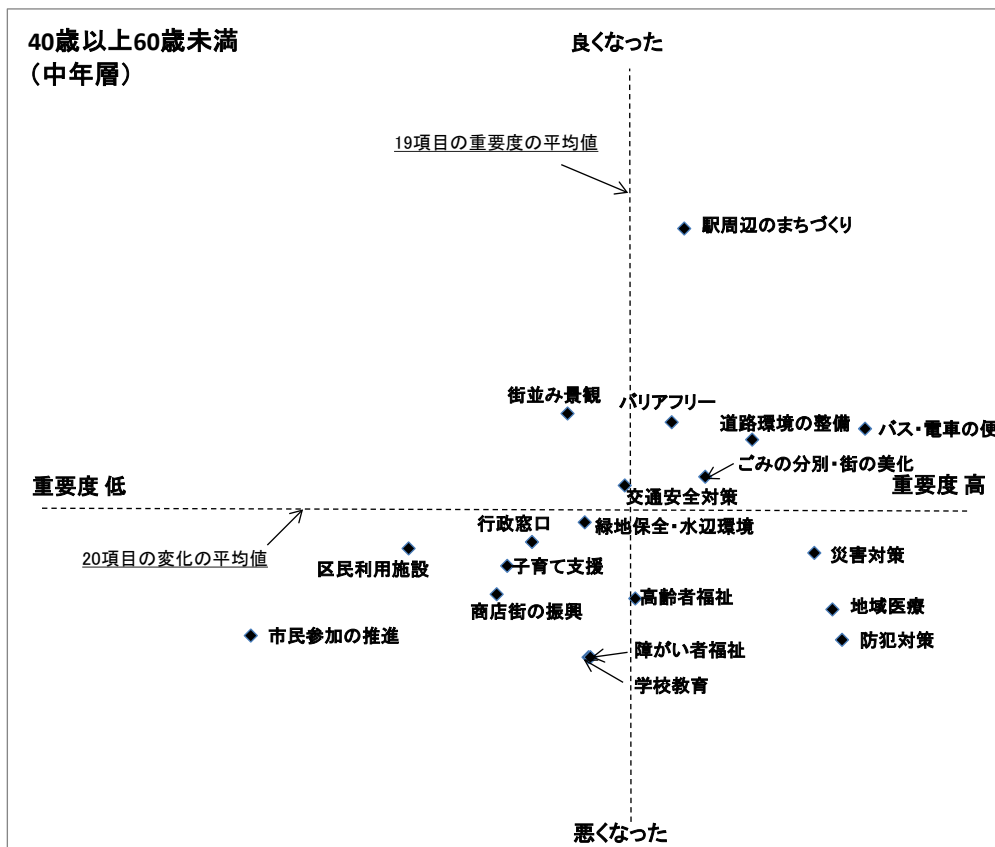
### <男女別>





### <年齢層別>

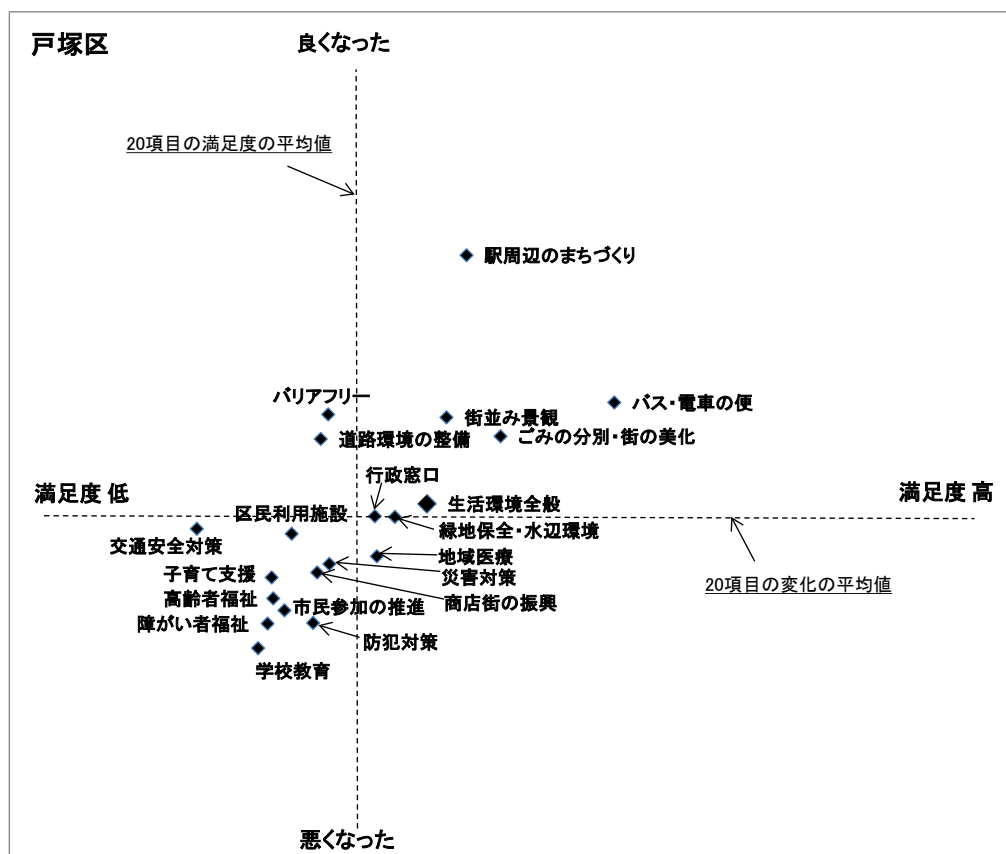




## 項目の満足度と以前に比べた変化との関係

- ・ 戸塚区民の 20 項目の指標に関する満足度と以前に比べた変化を、全 20 項目の平均値を中心のその分布を見たものが下図である（満足+2 点、やや満足+1 点、やや不満-1 点、不満-2 点、また、良くなった+1 点、悪くなった-1 点として項目ごとに満足度、変化の得点を算出し、満足度、変化の全項目の平均値を軸に項目間の比較をしたものである）。
- ・ 満足度も変化の数値もそれぞれ全項目の平均より高かった項目、すなわち、比較的満足しており、経過も良いとされている項目は、「④最寄り駅周辺のまちづくり」「①バス、電車の便」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の 4 項目であった。なお、「②⑩生活環境全般」についてもここにあてはまる。
- ・ 変化の数値は比較的低く、満足度の比較的高い項目、すなわち、比較的満足しているが、状況はあまり好転していない項目は「⑨身近な行政窓口・相談サービス」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の 3 項目であった。
- ・ 変化の数値は平均より高いが、満足度は平均より低かった項目、すなわち、状況が好転しているが、まだ不満に感じている項目は、「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「②道路環境の整備」の 3 項目であった。
- ・ 変化の数値は比較的低く、満足度も比較的低かった項目、すなわち、まだ満足していないが、状況も好転していない項目は、「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「⑭区民利用施設の充実」「⑨災害対策」「⑥商店街や企業の振興」「⑪保育など子育て支援」「⑮高齢者福祉」「⑮広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑩防犯対策」「⑯障がい者福祉」「⑬学校教育の充実や青少年の健全育成」の 10 項目であった。

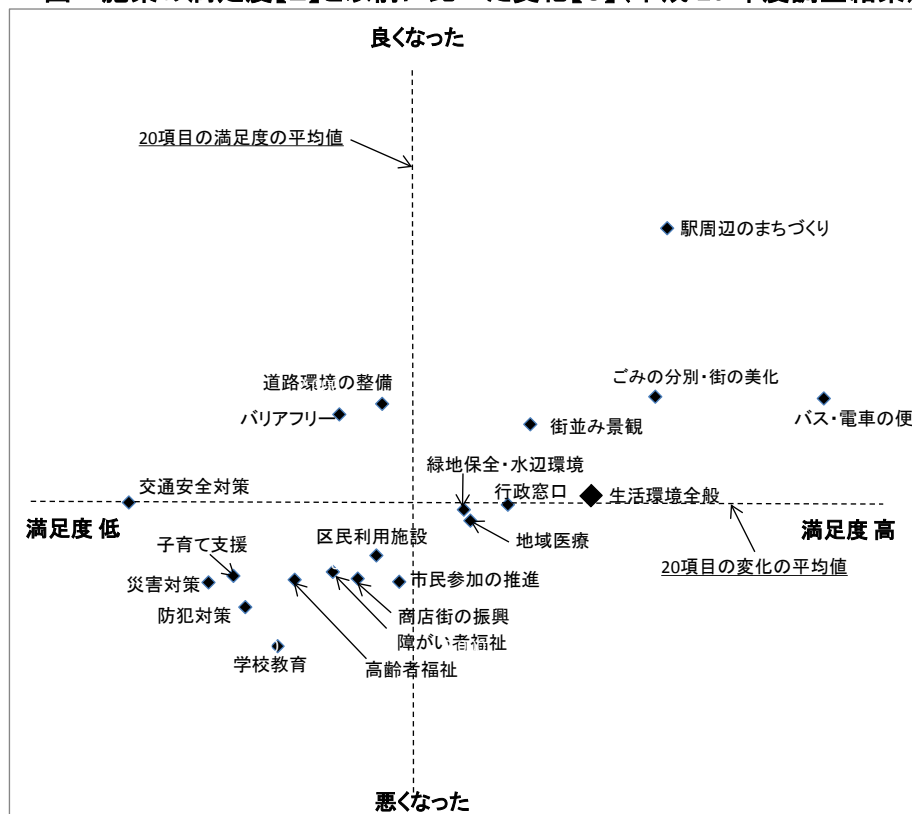
図 施策の満足度【2】と以前に比べた変化【3】



## ■ 平成 23 年度調査との比較（満足度・以前に比べた変化）

- ・ 平成 23 年度調査と今回の調査の結果を比較すると、23 年度調査では、満足度と変化の数値が共に区全体の平均値よりも高い数値となっているのは、今回調査と同様、「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「①バス、電車の便」「⑤街並み景観の整備」の 4 項目であった。
- ・ 一方、満足度・変化の数値が共に区全体の平均値よりも低い数値となっているのは、23 年度調査では「⑥商店街や企業の振興」「⑨災害対策」「⑩防犯対策」「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑬障がい者福祉」「⑮高齢者福祉」「⑰区民利用施設の充実」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」の 9 項目であったが、今年度はこれに「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」が加わり 10 項目に変化している。
- ・ 個別に見ていくと、23 年度に比べて満足度が向上し、変化も好転したものは「⑥商店街や企業の振興」「⑨災害対策」「⑩防犯対策」「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑮高齢者福祉」「⑰区民利用施設の充実」である。
- ・ 変化は好転したが満足度は後退したものは「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑲身近な行政窓口・相談サービス」である。なお、「⑳生活環境全般」についてもここにあてはまる。
- ・ 満足度が向上し、変化が下がったものは「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「⑯障がい者福祉」である。
- ・ 満足度が後退し、変化も悪くなったものは「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」である。

図 施策の満足度【2】と以前に比べた変化【3】(平成 23 年度調査結果)





## ■ 男女・年齢層別 項目の満足度と以前に比べた変化との関係

### <男女別>

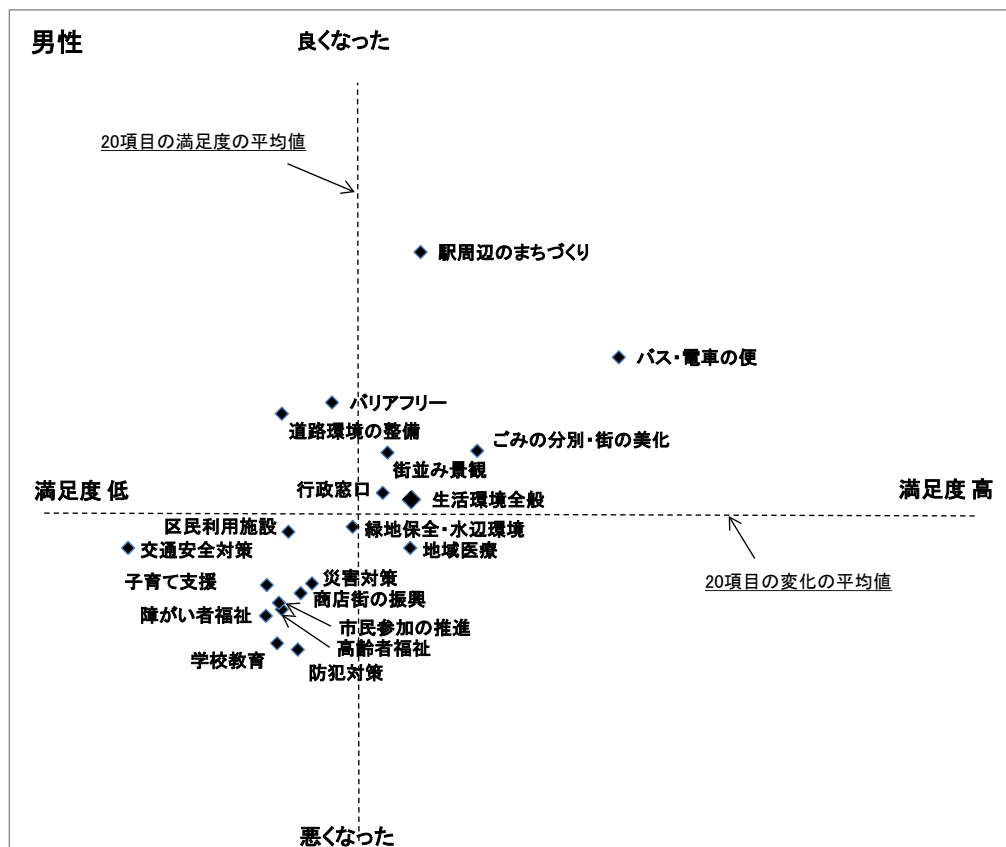
- ・ 「**男性**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑯身近な行政窓口・相談サービス」の5項目である。
- ・ 「**女性**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の6項目である。

### <年齢層別>

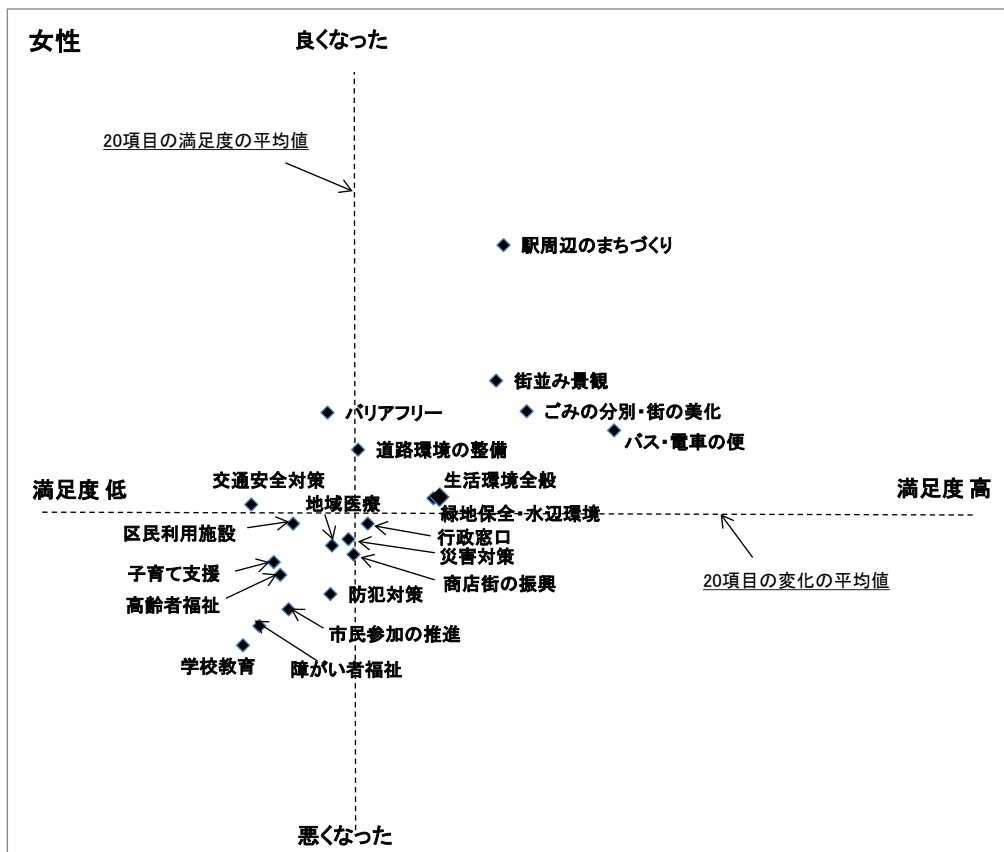
- ・ 「**若年層**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」の2項目のみである。また、満足度も変化の数値も区全体の平均値に達していない項目が13項目に及ぶ。
- ・ 「**中年層**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の4項目である。
- ・ 「**高年層**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「⑯身近な行政窓口・相談サービス」の9項目で、他世代に比べて満足度・変化共に高い位置に分布している。

図 男女・年齢層別 項目の満足度と変化の関係

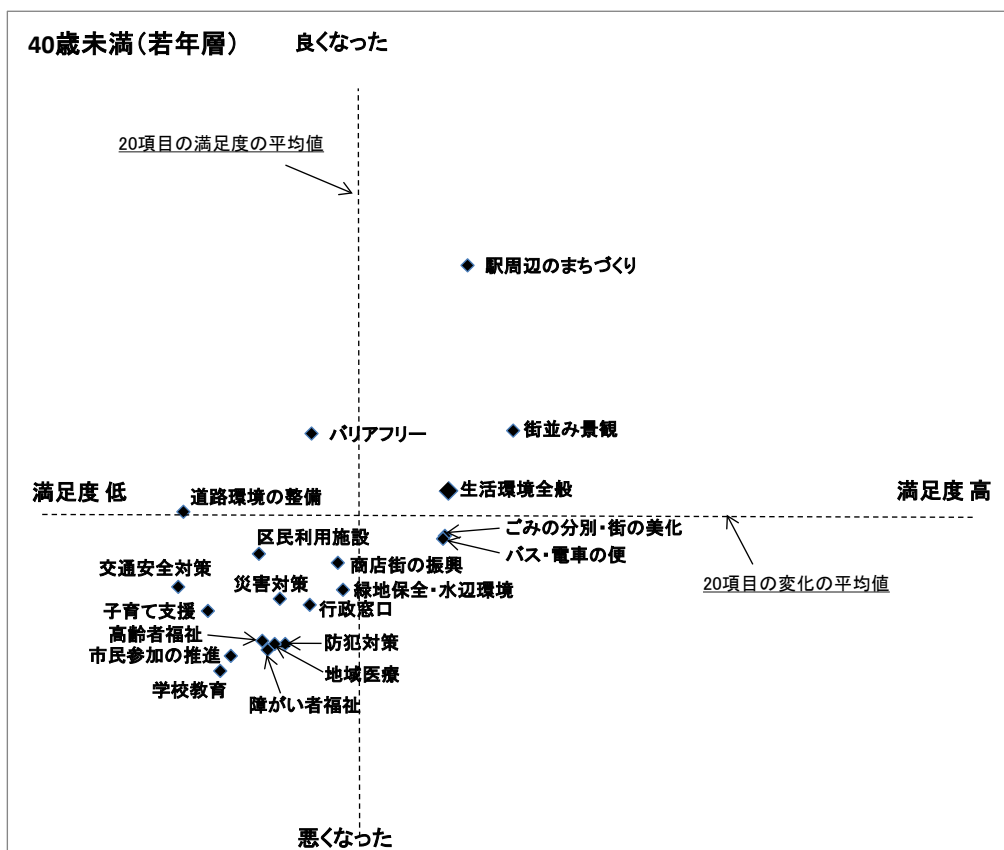
### <男女別>

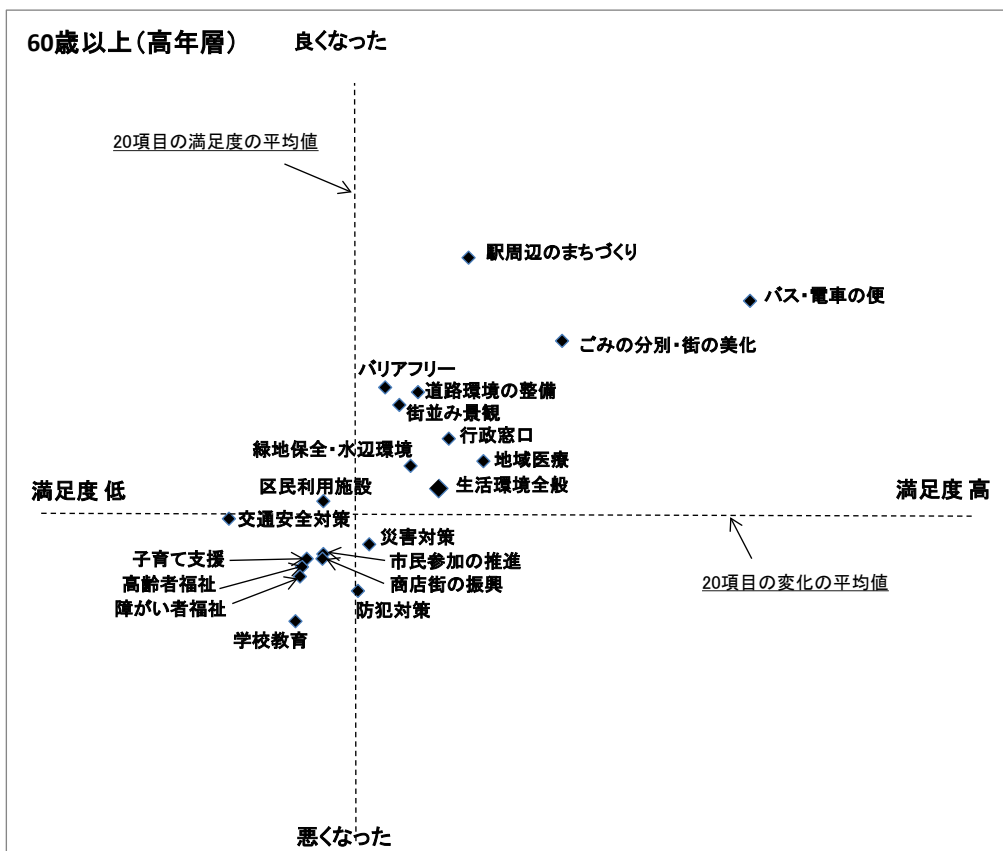
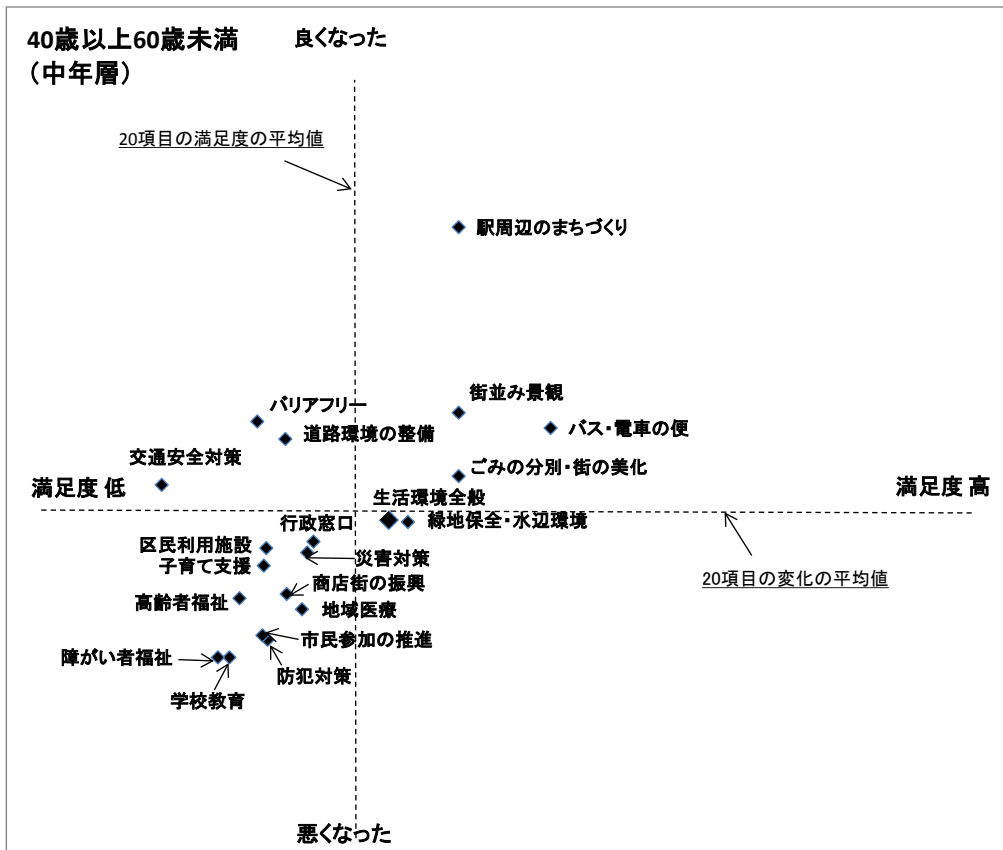






### <年齢層別>

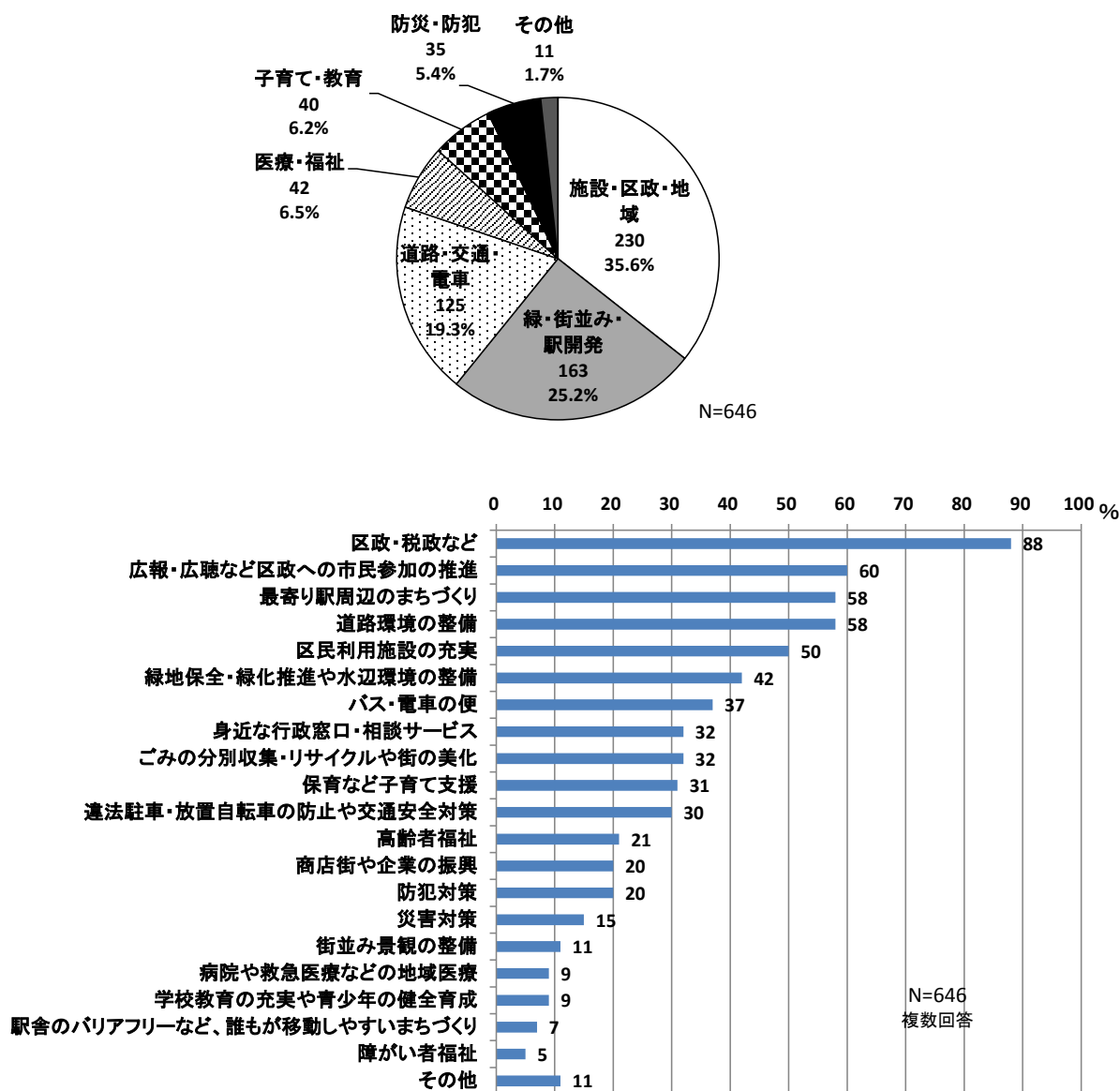




## 11. 戸塚区政について（自由記入）

問 40 戸塚区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

- ・戸塚区についての意見や提案として、421 件の具体的な記述があり、計 646 件の意見が出された。
- ・大分類別の内訳としては、「施設・区政・地域」230 件、「緑・街並み・駅開発」163 件、「道路・交通・電車」125 件、「医療・福祉」42 件、「子育て・教育」40 件、「防災・防犯」35 件となっており、施設・区政・地域に対する意見が最も多かった。
- ・中分類を見ると、「施設・区政・地域」の「区政・税政など」88 件が最も多かった。同じく「施設・区政・地域」の「広報・広聴など区政への市民参加の推進」60 件、「区民利用施設の充実」50 件、「緑・街並み・駅開発」の「最寄り駅周辺のまちづくり」58 件、「道路・交通・電車」の「道路環境の整備」58 件なども多くなっている。
- ・さらに個別に小分類の内容を見ると、最も多く出されていたのは「区政・まちづくり」58 件（「施設・区政・地域-区政・税政など」）、「戸塚駅、トツカーナ、サクラス」（「緑・街並み・駅開発-最寄り駅周辺のまちづくり」）38 件などとなっている（次ページ表を参照）。



戸塚区についての意見・提案（一覧）

大分類	中分類	小分類	大分類	中分類	小分類	
施設・区政・地域 230	区政・税政など 88	区政・まちづくり	道路・交通・電車 125	道路環境の整備 58	道路	27
		財政関係、税金			歩道	10
		アンケート			渋滞緩和	10
		行政改革			信号	6
		議員			自転車道路	5
	広報・広聴など区政への 市民参加の推進 60	広報活動の充実・見直し		バス・電車の便 37	バス・ミニバス	21
		マスコット			東戸塚駅	9
		地域コミュニティ			電車	5
		イベント			交通利便性の改善	1
		市民活動			新駅	1
	区民利用施設の充実 50	区役所		違法駐車・放置自転車の防止や 交通安全対策 30	駐輪場	8
		図書館			駐車場	5
		映画館			取り締まり強化	5
		運動施設			違法駐車	4
		文化活動・文化施設			危ない車	4
		ホール			放置自転車	2
		地区センター			危ない自転車	1
		ハローワーク			歩行者のマナー	1
		プール			高齢者福祉	17
		トイレ			施設の充実	3
身近な行政窓口・相談サービス 32	区職員対応	病院や救急医療などの地域医療 9	福祉一般	1		
	利便性の向上		健康診断	4		
	行政サービス		病院不足	3		
	相談機能の強化		その他	2		
	戸塚駅、トツカーナ、サクラス		バリアフリー	5		
最寄り駅周辺のまちづくり 58	駅周辺環境の改善	駅舎のバリアフリーなど、 誰もが移動しやすいまちづくり 7	エレベーター・エスカレーター	2		
	駅周辺開発		障がい者福祉	5		
	東戸塚駅		保育園・幼稚園・幼児教育	9		
	緑地保全・緑化推進		児童公園・遊び場	8		
	草木の剪定		子育て支援	8		
緑・街並み・駅開発 163	緑地保全・緑化推進や 水辺環境の整備 42	公園	保育など子育て支援 31	学童保育・放課後キッズクラブ	2	
		河川環境		小児医療費	2	
		跡地利用		乳幼児健診	1	
		柏尾川		不妊治療・周産期医療	1	
		ごみ収集・分別		学校環境	5	
	ごみの分別収集・リサイクルや 街の美化 32	路上禁煙・ポイ捨て	学校教育の充実や青少年の 健全育成 9	学校給食	4	
		街の美化		治安の維持	9	
		ペット、野良猫対策		街路灯	3	
		商店街		子どもの安全確保	2	
		スーパー、コンビニ		暴走族の取り締まり	2	
	商店街や企業の振興 20	雇用	防犯対策 35	バトロール	2	
		街並み整備		交番・警察署	2	
		マンション乱立		災害対策	13	
	街並み景観の整備 11	住環境の改善	災害対策 15	情報発信、ハザードマップ	2	
				その他	11	
			その他 11	その他 11	その他	11
			総意見数			646

## 調査票

# 平成 26 年度 戸塚区区民意識アンケート調査票

## 自助・共助による減災行動について伺います

問1 地震などの大規模災害に備えて、次の対策について取り組んでいますか。(○はいくつでも)

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1 3日分の非常用食料や水の備蓄をしている | 5 家族内で連絡方法を決めている  |
| 2 建物の耐震対策をしている        | 6 家族内で避難場所を確認している |
| 3 感震ブレーカーを設置している      | 7 家具の転倒防止対策をしている  |
| 4 住宅用火災警報器を設置している     |                   |

問2 地域の防災訓練、地域防災拠点訓練に参加したことがありますか。(○は1つ)

- |             |                   |              |
|-------------|-------------------|--------------|
| 1 参加したことがある | 2 参加したいが参加したことはない | 3 参加するつもりはない |
|-------------|-------------------|--------------|

問3 あなたは自分の住んでいる地域の次の避難場所を知っていますか。(①～③でそれぞれに○は1つ)

避難場所の種類	1 行ったことがある	2 行ったことはないが知っている	3 聞いたことがある	4 知らない
①いっとき避難場所	1	2	3	4
②地域防災拠点	1	2	3	4
③広域避難場所	1	2	3	4

## 広報について伺います

問4 戸塚区の情報(事業、行事、防災、防犯など)をどのようなものから得ていますか。(○はいくつでも)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1 広報よこはま戸塚区版         | 6 コミュニティFM(エフエム戸塚)     |
| 2 戸塚区のウェブサイト(ホームページ) | 7 自治会町内会の回覧板・掲示板       |
| 3 戸塚区のツイッター          | 8 区役所で配架している印刷物(ちらしなど) |
| 4 戸塚区犯罪・防犯情報メール      | 9 新聞・テレビ(ケーブルテレビ以外)    |
| 5 ケーブルテレビ            | 10 その他(具体的に) _____     |

## まちづくりについて伺います

問5 戸塚区の魅力とを感じるものは何ですか。(○はいくつでも)

- |               |                  |                     |
|---------------|------------------|---------------------|
| 1 戸塚駅周辺の商業施設  | 4 柏尾川沿いの景観       | 7 舞岡公園などの公園・緑地      |
| 2 東戸塚駅周辺の商業施設 | 5 野菜・梨・ハムなどの農畜産物 | 8 工場や研究所などが集積する企業立地 |
| 3 旧東海道などの歴史資産 | 6 商店街などの地元商業     | 9 その他(具体的に) _____   |

問6 これからの区のまちづくり(交通、自然環境、土地活用など)に関して、ご意見を自由にお書きください。

--

## 区内の商店街について伺います

問7 よく利用する商店街はどこですか。(〇はいくつでも)

1 近所(最寄の商店街)	4 東戸塚駅(東口)の商店街	7 戸塚区内の大型店など
2 戸塚駅(東口)の商店街	5 東戸塚駅(西口)の商店街	8 戸塚区以外の横浜市内の商店街など
3 戸塚駅(西口)の商店街	6 その他、区内の商店街	9 横浜市以外の商業施設

問8 区内の商店街を利用する頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

1 ほぼ毎日	2 1週間に数回	3 月に数回	4 年に数回	5 利用しない
--------	----------	--------	--------	---------

問9 区内の商店街への主な移動手段はどれですか。(〇は1つ)

1 徒歩	2 二輪車	3 自動車	4 バス	5 鉄道	6 その他
------	-------	-------	------	------	-------

## 健康について伺います

問10 あなたは過去1年間に一般的な健康診断を受診されましたか。(〇は1つ)

1 受診した	2 受診していない
--------	-----------

問11 健康診断を受診されなかった場合、その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 心配な時やいつでも医療機関を受診するから	5 検査や結果に不安があるから	9 医療機関に入院や通院をしているから
2 費用が安いから	6 自覚症状がなかったから	10 近くに実施医療機関がないから
3 必要性を感じなかったから	7 健康診断について知らなかったから	11 特に理由はない
4 面倒だから	8 時間がなかったから	12 その他(具体的に)

問12 健康診断を受ける上で必要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

1 住まいや職場近くで受けられる	5 短時間で実施できる
2 行きつけの医療機関で受けられる	6 費用が安い
3 土日に受けられる	7 予約がとりやすい
4 他の健康診断(がん検診など)と同時に受けられる	8 その他(具体的に)

問13 同居の家族や友人、知人と一緒に食事することは、どれくらいありますか。(朝食・昼食・夕食ごとに〇は1つ)

	1 ほぼ毎日一緒	2 週に2～3日一緒	3 ほとんど一人	4 食べない
朝食	1	2	3	4
昼食	1	2	3	4
夕食	1	2	3	4

## とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)について伺います

問14 あなたは、とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)を知っていますか。(〇は1つ)

1 知っている	2 聞いたことはあるが内容はよく知らない	3 知らない
---------	----------------------	--------

問 15 あなたは、次の各取組についてどの程度実践していますか。(①～⑩でそれぞれに○は1つ)

とつかハートプラン 個人の取組	1 実践している	2 どちらかといえ ば実践している	3 心掛けてい るが機会が ない	4 実践してい ない
①日常的な地域活動に積極的に参加して、地域の知りあい・仲間を増やす	1	2	3	4
②学校・地区センター・コミュニティハウスなど地域の公共施設を活用する	1	2	3	4
③広報、回覧、掲示物などのお知らせを見る	1	2	3	4
④日頃から非常時に備えて準備し、いざという時に慌てないように備える	1	2	3	4
⑤災害時、安全に避難できるよう、地域の防災訓練に積極的に参加する	1	2	3	4
⑥日頃から地域で声かけ・子どもの見守りをする	1	2	3	4
⑦フォーラムや講演会などに参加し、障がいへの理解を深める	1	2	3	4
⑧健康づくりの基本となる毎日の食生活を大切にする	1	2	3	4
⑨地域の健康教室などに参加し、仲間と介護予防や健康づくりに取り組む	1	2	3	4
⑩趣味活動の経験を生かして、地域活動に参加する	1	2	3	4

## 認知症について伺います

問 16 あなたは、認知症について次のことを知っていますか。(○はいくつでも)

- 1 認知症は、若くてもかかることがある病気である
- 2 認知症は、早期に発見することが大切である
- 3 認知症は、治療によって症状の進行を抑えたり、改善することもある
- 4 身近なところでは、見聞きしないのでよく分からない
- 5 上記以外のこと (具体的に) \_\_\_\_\_

問 17 あなたは、認知症の人とご家族を地域で支えるために、どんな手助けができると思いますか。(○はいくつでも)

- 1 日常的な挨拶など日頃の関係づくり
- 2 本人が困っている様子を見たら、声をかけるなど助ける
- 3 ご家族の話を聴くなどし、相談相手となる
- 4 相談機関を紹介する
- 5 認知症の理解や対応を学ぶ機会を持つ (認知症サポーター養成講座の参加など)
- 6 その他 (具体的に) \_\_\_\_\_
- 7 分からない

問 18 区役所や包括支援センター(地域ケアプラザ)が認知症の理解や対応のために行っている次の取組を知っていますか。(○はいくつでも)

- |                                  |                             |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1 認知症キャラバンメイトによる<br>認知症サポーター養成講座 | 4 みつけてネット (徘徊高齢者情報提供ネットワーク) |
| 2 認知症フォーラム in とつか                | 5 認知症や介護に関する相談              |
| 3 介護者のつどい                        | 6 その他 (具体的に) _____          |



問 19 あなたは、認知症のどのようなことに関心がありますか。(○はいくつでも)

- |                     |                                |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 認知症の正しい理解         | 5 認知症の兆候を早期に発見する方法             |
| 2 認知症の人の介護の仕方       | 6 認知症の治療に関する情報                 |
| 3 認知症の予防に効果的な方法     | 7 認知症の人の権利や財産を守る方法<br>(後見制度など) |
| 4 認知症の人や家族を支える地域の活動 | 8 その他(具体的に) _____              |

## 児童虐待について伺います

問 20 最近保護者による児童虐待が問題となっています。この事をどのように思いますか。(○はいくつでも)

- |                              |
|------------------------------|
| 1 子どもの心や体の成長を傷つける重大な問題だと思う   |
| 2 保護者の子育てに対する意識が低下しているのではないか |
| 3 保護者も孤立し支援を求めているのではないか      |
| 4 子どもを虐待する人は一部の特別な人である       |
| 5 親権を認めないなどの厳しい対応が必要だと思う     |
| 6 子育て中の保護者には、誰でも起こりうる問題だと思う  |
| 7 身近な所では見聞きしないのでピンとこない       |
| 8 その他(具体的に) _____            |
| 9 分からない                      |

問 21 あなたは、児童虐待を見たり感じたりした時にどのように対応しましたか。又は、どう対応しますか。  
(○はいくつでも) (1と回答した場合、A～Cの中から選択して回答—複数選択可)

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 1 専門機関に連絡 ⇒                       | A 南部児童相談所(831-4735)に連絡<br>B よこはま子ども虐待ホットライン<br>(0120-805-240)に連絡<br>C 戸塚区役所こども家庭支援課(866-8472)に連絡 |
| 2 地域の役員(民生委員・児童委員、主任児童委員)に連絡      |  |
| 3 警察に相談                           |  |
| 4 知り合いに相談                         |  |
| 5 虐待されている子どもが通っている保育園や幼稚園、小中学校に相談 |  |
| 6 自分で子どもに声をかけ相談に乗った(乗る)           |  |
| 7 自分で子どもの親に声をかけ相談に乗った(乗る)         |  |
| 8 虐待かどうか不確かなので何もしない               |  |
| 9 何か手助けをしてあげたいが何もできない             |  |
| 10 その他(具体的に) _____                |  |
| 11 分からない                          |  |

問 22 あなたは、児童虐待についてどのようなことを知りたいですか。(○はいくつでも)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 虐待の定義や種類              |
| 2 虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか |
| 3 虐待が疑われる親への働きかけ方       |
| 4 虐待の疑いのある子どもへの対応       |
| 5 子育て(虐待)の相談窓口          |
| 6 子育てに関する知識の普及          |
| 7 その他(具体的に) _____       |
| 8 分からない                 |

## 地域活動について伺います

問 23 地域では様々な活動が行われていますが、現在参加している活動、今後参加してみたい活動はそれぞれどれですか？（それぞれについて、○はいくつでも）

地域で行われている活動	1 現在、参加して いる活動	2 今後、参加して みたい活動
① 子ども会、婦人会、老人クラブの活動	1	2
② 高齢者への電球交換や草取りなどの支援	1	2
③ 障がい者施設の手伝いなどのボランティア	1	2
④ 通院や通所、通園などの手伝い	1	2
⑤ 身近な道路や公園などの清掃活動	1	2
⑥ 地域の文化祭や運動会への参加や振興	1	2
⑦ 公園での体操やウォーキング活動	1	2
⑧ 祭や盆踊り、運動会などのイベント	1	2
⑨ 資源回収やごみの分別、リサイクル活動	1	2
⑩ 公園での花壇づくりや美化活動、自然環境の保全	1	2
⑪ 在日外国人や海外との交流・支援活動	1	2
⑫ P T A 活動	1	2
⑬ 保育ボランティアなどの子育て支援	1	2
⑭ 交通安全や防災・防犯などの安全活動	1	2
⑮ 地域住民による趣味などのサークル活動	1	2
⑯ その他の社会奉仕などボランティア活動 (具体的に) _____	1	2

問 24 あなたは自治会町内会に加入していますか。(○は1つ)

- 1 加入している ⇨ 問 26 へ
- 2 以前は加入していたが、今は加入していない ⇨ 問 25 へ
- 3 加入していない ⇨ 問 25 へ

問 25 自治会町内会に加入していない理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

- 1 どのような活動があるのか知らないから
- 2 近所付き合いがわずらわしいから
- 3 自治会町内会に加入するメリットが分からないから
- 4 加入するきっかけや呼びかけがないから（連絡先や存在を知らないなど）
- 5 活動内容が魅力的でないから
- 6 役員に選ばれても活動ができないから
- 7 会費の使い道が不透明に感じるから
- 8 現在の自治会町内会の運営に不満があるから
- 9 その他（具体的に） \_\_\_\_\_

## 生活環境全般に対する重要度・満足度について伺います

問 26 あなたは次（①～⑳）の事柄について、

【1】あなたにとって、どの程度重要だと思いますか。

【2】現在、どの程度満足していますか。

【3】また、以前に比べてどのように変化していると思いますか。

（それぞれについて○は1つ）

	【1】重要度					【2】現在の満足度						【3】以前に比べて			
	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要 ではない	重要ではない	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	分からない	良くなった	変わらない	悪くなった	分からない
① バス・電車の便	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
② 道路環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
③ 違法駐車・放置自転車の 防止や交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
④ 最寄り駅周辺のまち づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑤ 街並み景観の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑥ 商店街や企業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑦ 緑地保全・緑化推進や 水辺環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑧ ごみの分別収集・リサ イクルや街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑨ 災害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑩ 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑪ 保育など子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑫ 学校教育の充実や青 少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑬ 病院や救急医療など の地域医療	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑭ 駅舎のバリアフリー など、誰もが移動しや すいまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑮ 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑯ 障がい者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑰ 区民利用施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑱ 広報・広聴など区政へ の市民参加の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑲ 身近な行政窓口・相談 サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑳ 以上を総合して、 生活環境全般の満足度						1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

## あなた自身について伺います

問 27 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 28 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- |           |            |            |
|-----------|------------|------------|
| 1 16～19 歳 | 6 40～44 歳  | 11 65～69 歳 |
| 2 20～24 歳 | 7 45～49 歳  | 12 70～74 歳 |
| 3 25～29 歳 | 8 50～54 歳  | 13 75～79 歳 |
| 4 30～34 歳 | 9 55～59 歳  | 14 80 歳以上  |
| 5 35～39 歳 | 10 60～64 歳 |            |

問29 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

- |             |           |      |
|-------------|-----------|------|
| 1 既婚（配偶者あり） | 2 既婚（離死別） | 3 未婚 |
|-------------|-----------|------|

問30 あなたは夫婦共働きをしていますか。(○は1つ)

- |            |             |         |
|------------|-------------|---------|
| 1 フルタイム共働き | 2 パートタイム共働き | 3 していない |
|------------|-------------|---------|

問 31 あなたのご家族(同居されている方)の構成をお選びください。(○は 1 つ)

- |          |                 |       |
|----------|-----------------|-------|
| 1 ひとり暮らし | 3 親と子（2 世代）     | 5 その他 |
| 2 夫婦のみ   | 4 祖父母と親と子（3 世代） |       |

問32 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

- |          |                 |
|----------|-----------------|
| 1 小学校入学前 | 4 義務教育終了～20 歳未満 |
| 2 小学校在学中 | 5 20 歳以上        |
| 3 中学校在学中 | 6 子どもはいない       |

問 33 あなたの居住している町名をお答えください。(○は1つ)

- |           |             |            |
|-----------|-------------|------------|
| 1 平戸町     | 11 南舞岡一～四丁目 | 21 戸塚町     |
| 2 平戸一～五丁目 | 12 柏尾町      | 22 深谷町     |
| 3 品濃町     | 13 上柏尾町     | 23 俣野町     |
| 4 上品濃     | 14 汲沢町      | 24 原宿一～五丁目 |
| 5 川上町     | 15 汲沢一～八丁目  | 25 小雀町     |
| 6 前田町     | 16 矢部町      | 26 東俣野町    |
| 7 秋葉町     | 17 鳥が丘      | 27 影取町     |
| 8 名瀬町     | 18 吉田町      |            |
| 9 上矢部町    | 19 上倉田町     |            |
| 10 舞岡町    | 20 下倉田町     |            |

問 34 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主及び家族従業者） |
| 2 企業等勤務（官公庁、団体職員、病院等含む）             |
| 3 専業主婦・主夫                           |
| 4 学 生                               |
| 5 無 職                               |
| 6 その他（具体的に） _____                   |

(問34で「2」と答えた方にお聞きします)

問35 あなたの現在のご職業の雇用形態は何ですか。(○は1つ)

- 1 正社員・正規職員
- 2 アルバイト・パート
- 3 派遣社員

- 4 契約社員・嘱託社員
- 5 その他(具体的に) \_\_\_\_\_

問36 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- 1 持家(一戸建て)
- 2 持家(マンション・共同住宅)
- 3 借家(一戸建て)
- 4 借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)
- 5 その他

問37 現在のお住まいでの居住年数はどのくらいですか。

約 \_\_\_\_\_ 年 ※1年未満の場合は「1」年と記入してください。

問38 あなたは、戸塚という「まち」に対して、愛着や誇りを感じていますか。(○は1つ)

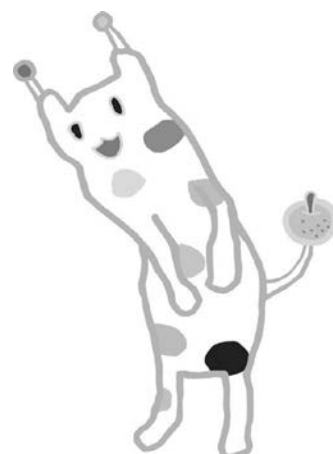
- 1 感じている
- 2 やや感じている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり感じていない
- 5 全く感じていない
- 6 分からない

問39 あなたは、これからもずっと今の地域に住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

- 1 住み続ける
- 2 たぶん住み続ける
- 3 たぶん移転する
- 4 移転する
- 5 分からない

## 戸塚区政についてご意見をお寄せください

問40 戸塚区政について、具体的なお意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。



戸塚区のマスコット ウナシー

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、**7月10日(木)**までにご投函ください。

## 平成 26 年度戸塚区区民意識調査報告書（詳細版）

平成 26 年 12 月

発

行：戸塚区役所 区政推進課 企画調整係

〒244-0003

横浜市戸塚区戸塚町 16-17

電 話 0 4 5 （ 8 6 6 ） 8 3 2 7

F a x 0 4 5 （ 8 6 2 ） 3 0 5 4